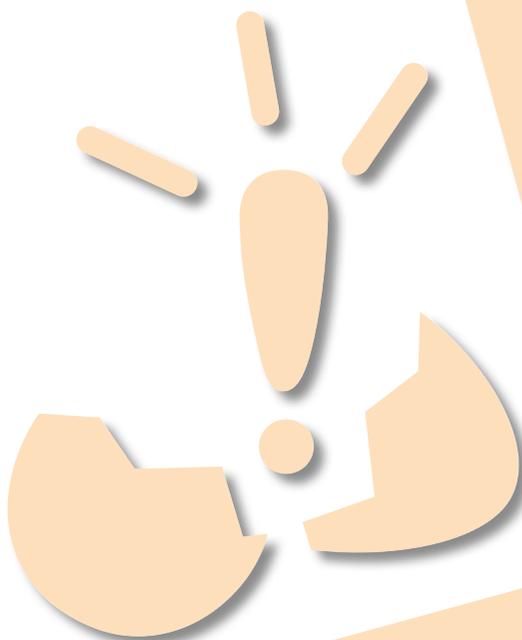


SHARP®

メビウスQ&A

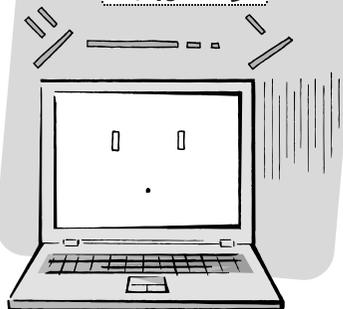
困ったときはこれで解決



使えない・おかしい・わからない! に答える一冊
あなたの悩みを適切なアドバイスですばやく解決
トラブらないコツをつかんで、目指せ! 快適パソコンライフ

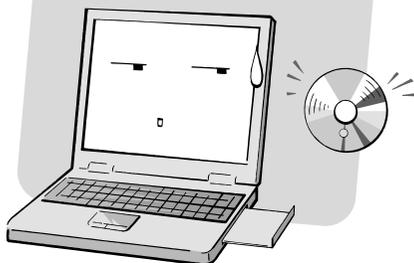
パソコンが正常に
起動/終了できない

☎ 19ページ



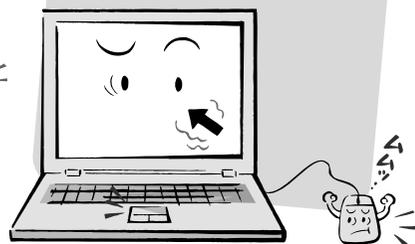
フロッピーディスク/
CD/DVDに
問題がある

☎ 83ページ



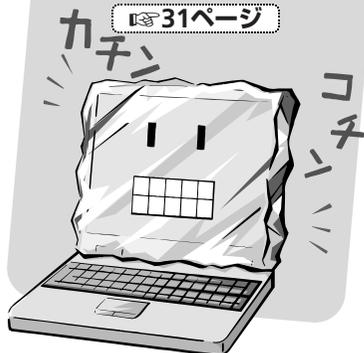
マウスポインタが
動かみにくい

☎ 105ページ



使用中に
操作できなくなった

☎ 31ページ



周辺機器が使えない

☎ 89ページ



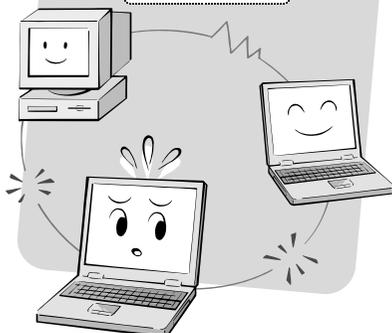
パソコン本体について
困っている

☎ 41ページ



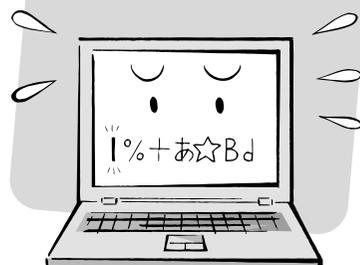
ネットワークが
使えない

☎ 100ページ



文字の表示や入力が
うまくできない

☎ 110ページ



パソコンが正常に
起動／終了できない

使用中に操作できなくなった

パソコン本体について
困っている

フロッピーディスク／CD／
DVDに問題がある

周辺機器が使えない

ネットワークが使えない

マウスポインタが
動かしにくい

文字の表示や入力が
うまくできない

インターネット接続に
問題がある

メールのやり取りができない

タスクバーが正常に
表示されない

アプリケーションソフト
について困っている

ファイルの扱いがわからない

とにかく困った

インターネット接続に
問題がある

127ページ



アプリケーション
ソフトについて
困っている

167ページ



メールのやり取りが
できない

148ページ



ファイルの扱いが
わからない

177ページ



タスクバーが正常に
表示されない

156ページ



とにかく困った

191ページ



困ったときの解決ポイント

1 あわてず原因を見つけましょう

・トラブルの原因を考えましょう

いきなり電源を切ったり、むやみにキーボードを押したり、マウスをクリックしないでください。まずは落ち着いて、「誤った操作をしなかったか?」「何をしたときにトラブルが起こったか?」など、原因を考えてみましょう。

新しいアプリケーションをインストールしませんでしたか?

新しい周辺機器を接続しませんでしたか?

コントロールパネルなどの設定を変更しませんでしたか?

・画面の表示をよく確認しましょう

Windowsやアプリケーションソフトが現在の状況を知らせるためにメッセージを表示することがよくあります。画面に表示されたメッセージは必ずしもエラーではありません。よく読んで画面の指示に従って操作しましょう。

同じアプリケーションを起動するたびに、エラーメッセージが表示される場合は、そのアプリケーションのみを削除し、再インストールすれば、問題が解決することがあります。



2 説明書で確認しましょう

・アプリケーションソフトの説明書などを確認してみましょう

アプリケーションソフトの仕様が、トラブルや故障と感じられることもあります。アプリケーションソフトの説明書や、オンラインヘルプの動作条件、使用上のご注意などの説明を確認してみましょう。

また、Readme(お読みください)ファイルの内容も確認してみましょう。アプリケーションソフトの使い方や、操作がわからない場合は、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。

(付属のアプリケーションソフトの問い合わせ先については、商品に同梱のお客様サポートシステムのご案内(別冊)を参照してください。)

・周辺機器の説明書を確認してみましょう

パソコンと組み合わせて使用している周辺機器の仕様が、トラブルや故障と感じられることもあります。周辺機器の説明書の動作条件、使用上のご注意などの説明を確認してみましょう。周辺機器の使用時にトラブルが発生する場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

- 本書のQ&Aに該当する症状があるか探してみましょう
「Questionから探す」(☞10ページ)や「キーワードから探す」(☞14ページ)から疑問点や問題点を探して、問題が解決するかどうか確認してみましょう。
- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を確認してみましょう
パソコン本体の取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらを確認してみましょう。また、調子がおかしい部分に関連する説明も調べてみましょう。



③ インターネットやヘルプなどで情報を入手して確認しましょう

- 「メビウスサポートページ」の情報を確認してみましょう
インターネットをご利用できるお客様は、「メビウスサポートページ」で確認してみましょう。
<http://support.sharp.co.jp/mebius/>

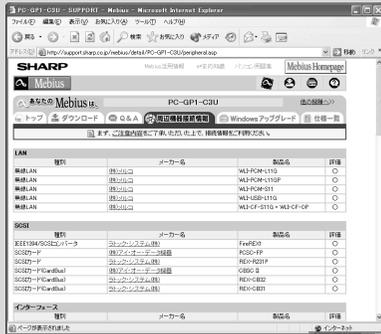


- ドライバを確認する
メビウスサポートページでは、お使いの機種種のメビウスに更新されたドライバがある場合、ドライバをダウンロードして更新することができます。ドライバを更新することによって、トラブルが解決することがあります。



・使用できる周辺機器を確認する

お使いの機種でのメビウスで動作確認が完了した周辺機器の情報をご提供しています。ホームページに掲載されていない周辺機器の動作については、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。



・「ヘルプとサポートセンター」で確認しましょう

[スタート]をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示される「ヘルプとサポートセンター」を使って、確認しましょう。サポート情報を得たり、Windows XPニュースグループで情報を探したりできます。



・マイクロソフトのホームページで確認してみましょう

インターネットをご利用できるお客様は、マイクロソフト株式会社のホームページでサポート情報を確認してみましょう。

<http://support.microsoft.com/>



上記のURL以外にもマイクロソフト株式会社では、情報を提供しています。詳しくは、マイクロソフト株式会社のホームページのトップページを参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/>

また、雑誌などにもURLが紹介されていることがあります。

・WindowsやWord、Excelなどの操作については、市販の雑誌や解説書を確認しましょう

WindowsやWord、Excelなどのソフトウェアについては、市販の雑誌や解説書が数多く出版されています。その他のソフトウェアについても、市販されている解説書にも、わかりやすいものがたくさんあります。



4 上記のすべてを確認しても問題が解決しなかったときは

- ・パソコンお客様サポートセンターにお電話でお問い合わせください
電話番号は、商品に同梱のお客様サポートシステムのご案内(別冊)を参照してください。
また、電話をする前に巻末の「Mebius 診断シート」を記入しておくこと、より解決が早くなります。

本書について

本書は、シャープパーソナルコンピュータ(以下パソコンと表記します)を使っていて、「おかしいな?」「故障かな?」「こんなことはできるかな?」などと感じたときに、問題解決のための手助けとなるものです。

本書の説明をよく読んで、問題解決のための道案内としてお使いください。



本書の使いかた

- 1) 「**Questionから探す**」(☞10ページ)と「**キーワードから探す**」(☞14ページ)から、お客様のトラブルと同じものがないか、似たものがないか探します。見つけたら、そのページを開きます。
- 2)  は、解決方法です。実際に操作して、トラブルが解決するか、確認してください。
- 3)  によっては、複数の  が解決方法として記載されています。解決方法は、簡単にできる対処→少し手間のかかる対処の順に並んでいます。上から試してみて、それでも問題が解決しないときは、次の  に進むようにしてください。



本書の記載内容についてのご注意

- 本書に記載の手順やメッセージは、機種によって多少異なることがあります。
- 本書に記載の画面は、機種によって多少異なることがあります。
- 本書の内容は、Windows XP Home EditionとWindows XP ProfessionalのService Pack 1適用版について記載しています。
- 本書は、2002年12月時点での情報に基づいて作成しています。



その他のご注意

- CD-ROM ドライブやモデムなどについては、パソコン本体に標準で搭載されているものについて記載しています。標準装備、または専用の別売品以外の装置を接続して使用する場合は、本書の記載内容で問題解決ができないことがあります。



本書で使用する記号について

ご注意

操作や取り扱い上、してはいけないことや注意していただきたいことを説明しています。この表示を無視して使用されると、パソコンが故障したり、データが損失する可能性があります。

ご参考

操作や取り扱い上、参考にしていただきたいことや知っておくと便利なことを説明しています。

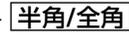
キーマークについて

キーボードのキーを押す箇所は、枠で囲んで示しています。

ひとつのキーに複数の文字があるときは、代表的なもの(そのキーだけを押したときの機能)を表記しています。また、複数のキーを同時に押すときは、「+」でつないで表記しています。

表記例

 キー :  を押します。

 +  (漢字)キー :  を押しながら、 を押します。

ボタンについて

画面に表示されるボタンは、[]で囲んで示しています。

表記例

[OK] :  をクリックします。

[キャンセル] :  をクリックします。

商標、登録商標

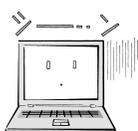
- Microsoft、Windows、MS-DOS、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
- CompactFlash(コンパクトフラッシュ)、CFは、米国 SanDisk Corporationの商標です。
- その他、製品名などの固有名称は、各社の商標、または登録商標です。

ご使用前のおことわり

- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転載、改変、あるいは複製することはお断りします。
- 本書は改良のため予告なく変更することがあります。

困ったときの解決ポイント	4
本書について	8
Questionから探す	10
キーワードから探す	14

パソコンが正常に起動／終了できない



- Windowsが終了できない・電源が切れない 19
- 電源を入れても電源／バッテリー状態ランプが点灯しない 25
- フロッピーディスクから起動できない 26
- 起動中に「Invalid system disk」または、「Replace the disk, and then press any key」と表示された 27
- パソコンの起動時にアプリケーションソフトが自動的に起動してしまう 28
- パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される 29
- スタンバイ／休止状態にならない 30
- Windows XPをSafe mode(セーフモード)で起動したい 31

使用中に操作できなくなった



- 使用中に動かなくなってしまった・マウスポイントが砂時計に変わったまま、操作できなくなってしまった 31
- ひんぱんに画面が動かなくなったり、ブルー画面(エラー画面)が表示されるときは 34
- キーボードのキーを押しても反応しない 38
- 使用中に操作できなくなることを事前に防ぎたい 39
- ウィンドウが画面からはみ出してしまって操作できない 40

パソコン本体について困っている



- パソコンの動作が不安定になった・パソコンの調子がどうもおかしい 41
- 「システムの復元」に失敗してWindowsが起動しなくなった 41
- チェックディスクが終了しない・チェックディスクに時間がかかりすぎる 43
- システムのプロパティに表示されるCPUクロック周波数が製品カタログと異なる 44
- ハードディスクにアクセスする時間が長くなった・ファイルを開くのにかかる時間がかかる 45
- ハードディスクの空き容量がわからない 47
- ファイルを保存していないのに、ハードディスクの容量が減っていく 48
- パソコンから「カリカリ」、または「カチャカチャ」音がしているが大丈夫? 51
- ハードディスクへのデータの書き込みや読み取りができない 52
- 何もしていないのにハードディスクのアクセスランプが点灯する 52
- ディスプレイに何も表示されない 53
- 内蔵ディスプレイから外部ディスプレイに画面表示先を切り替えたい 55
- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる 56
- ディスプレイ(モニタ)やハードディスクの電源を切るまでの時間を変更したい 58
- 画面の表示や色がおかしい 59
- デスクトップやスタートメニューの表示がおかしい 60
- 表示されるハードディスクの容量が、カタログや取扱説明書の表記より小さい 61
- 画面の文字が小さくて見にくいので大きくしたい 62
- 長時間使用していると、パソコン本体が熱くなる 64
- 冷却ファンの音が大きい・電源を切ってもファンが回っている 65
- バッテリーの使用時間が以前より短くなった・バッテリー残量表示と実際のとの差が大きい 66
- 使用しないときはACアダプタを抜き、バッテリーパックを取り外したほうがいい? 67

パソコン本体について困っている (つづき)



- 音が出ない・音が大きすぎる 68
- Windowsの起動音を消したい／変えたい／小さくしたい 72
- スピーカから「キーン」という音がする(ハウリング) 73
- 定期的に「デスクトップクリーンアップウィザード」画面が表示される 75
- パソコンの動作が遅いように感じる・もっと快適にパソコンを動かしたい 77
- 新しいコントロールパネルが使いにくいので表示を変更したい 79
- 新しいスタートメニューが使いにくいので表示を変更したい 80
- 新しい画面のテーマが使いにくいので表示を変更したい 82

フロッピーディスク／CD／DVDに問題がある



- フロッピーディスクに保存できない・[マイコンピュータ]の3.5インチFDをクリックしても、ディスクの内容が表示されない . . . 83
- CD・DVDドライブでのデータの読み取りやファイルの再生ができない／CD-R/RWに書き込めない . . . 85
- CDやDVDをセットしても自動再生しない 86
- DVDビデオディスクを再生できない 87
- CD-R/RWディスクはどのようなものを購入すればいい? 87
- CD-R/RWドライブで作成した音楽CDが、自宅や車のCDプレーヤーで再生できない . . . 87
- CDやDVDが取り出せなくなった 88

周辺機器が使えない



- 増設機器や周辺機器の機能が動かない 89
- 接続した通信機器が正常に動作しない 90
- プリンタから印刷できない 91
- 正しく印刷できない・プリンタから意味不明の文字が印字される 93
- 今まで使っていた周辺機器をWindows XPでも使用できますか? 96
- USBコネクタに接続した周辺機器が動作しない 96
- デジタルカメラの画像をパソコンで読みとりたい 98
- 外部ディスプレイに何も表示されない／表示される画面が乱れる 99

ネットワークが使えない



- ネットワーク(LAN)に接続できない 100

マウスポインタが動かしにくい



- マウスポインタが思いどおりに動かない・マウスポインタの感度がよすぎる . . . 105
- 文字を入力していると、突然カーソルが移動してしまう 107
- ダブルクリックしにくい 108
- マウスポインタの動きが遅い／速い 109

文字の表示や入力がうまくできない



- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けられない . . 110
- 変な文字が表示されたり、文字の向きがおかしい 111
- 画面の文字が小さくて見にくいので大きくしたい 111
- キーボードで押したとおりの文字が入力できない(刻印されているのとは異なる文字が表示される) . . 112
- 記号や絵文字を入力したい 118
- メールでよく使われる顔文字「(^_^;)」を入力したい 121
- ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない 122

文字の表示や入力がうまくできない (つづき)



- 難しい漢字を入力したい 123
- よく使う単語を簡単に入力したい 125
- パソコンにない文字を入力したい 126

インターネット接続に問題がある



- インターネットに接続中、いきなり接続が切断されてしまう 127
- 内蔵モデムで通信ができない 130
- 内蔵モデムでの通信速度が遅い 134
- 「モデム(またはほかの接続デバイス)は既に使用中か、正しく構成されていません。」と表示された . . . 134
- 「電話回線はビジーです。」と表示された 135
- 「リモートコンピュータが応答しませんでした。」と表示された 136
- 「発信音がありませんでした。」と表示された 141
- 「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした。」と表示された . . . 142
- 「電話帳のエントリに接続できません。」と表示された 143
- 「リモートコンピュータのモデム(またはほかの接続デバイス)が壊れているため、接続できませんでした。」と表示された . . . 143
- 「モデムが見つからないか、またはモデムがビジー状態であったため、リモートコンピュータへの接続を確立できませんでした。」と表示された . . . 144
- USBコネクタに接続したターミナルアダプタ(TA)が動作しない 145
- スタートメニューの「インターネット」をクリックしても、接続画面が表示されない . . . 146

メールのやり取りができない



- メールを受信できない 148
- メールを送信できない 149
- MAILER-DAEMONというアドレスからメールが届いた 149
- メールが文字化けしている 150
- メールに添付する画像ファイルを圧縮して送りたい 153
- 「HTMLメールはやめて」といわれたが、どうすればいい? 155

タスクバーが正常に表示されない



- [スタート]ボタンやタスクバーが表示されない 156
- タスクバーの位置を変えたい・タスクバーを移動してしまった 158
- タスクバーにスピーカのインジケータ(小さいアイコン)が表示されない 159
- タスクバーにPCカードのインジケータ(小さいアイコン)が表示されない 160
- タスクバーにバッテリー/AC電源のインジケータ(小さいアイコン)が表示されない . . . 160
- タスクバーのインジケータ(小さいアイコン)が消えてしまった 162
- 日本語入力システム(MS-IME)の言語バーが表示されなくなった 163
- 日付や時刻が正しく表示されない 165

アプリケーションソフトについて困っている



- アプリケーションソフトをインストールできない 167
- アプリケーションソフトでデータを保存できない 168
- アプリケーションソフトが起動しない 169
- 画像ファイルをダブルクリックしたら、知らないソフトが起動して編集できない 171
- アプリケーションソフトの動作が遅い 173
- インストールしたアプリケーションソフトを削除したい 174
- ファイルをダブルクリックすると、前とは違うアプリケーションソフトが起動するようになった 175
- Microsoft Word使用中にメニューバーやタイトルバーがなくなってしまった 176
- Windows Media Playerで保存した音楽が他のパソコンでは聞けない 176

ファイルの扱いがわからない

- 必要なファイルを消してしまった 177
- ファイルが見つからない 178
- ファイルをハードディスクに保存できない 179
- ファイルをどこに保存したらいいのかわからない 180
- 長いファイル名を付けられない／表示できない 180
- ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない 181
- ごみ箱の中のファイルやフォルダを元の位置へ戻したい 183
- ファイル名の後ろに付く「.txt」「.bmp」などの文字は何ですか？ 184
- バックアップが必要なデータはどれですか？ 187
- ショートカットアイコンが使いえなくなった 190



とにかく困った

- 取扱説明書を新たに購入できますか？ 191
- Mebiusを海外で使えますか？ 191
- Windowsを更新(アップデート)したい 192
- ライセンス認証(プロダクトアクティベーション)は、必要ですか 194
- 古いパソコンからデータを移したい 195



- トラブルを事前に防ぐには 199

アルファベット

3.5インチFD	83
ACアダプタ	66
CD/DVD	
書き込みや読み取りができない	85
CD-R/RWディスク	87
作成した音楽CDが再生できない	87
自動再生しない	86
取り出せない	88
HTMLメール	155
LAN(ネットワーク)	
接続できない	100
LANカード	100
LANケーブル	100
Microsoft Outlook Express	
アカウントの設定を確認する	148
自動的に切断する設定を解除する	129
文字化けしている	150
Microsoft Word	
メニューバーやタイトルバーがなくなった ...	176
MS-IME	
押したとおりの文字が入力できない ...	112
記号や絵文字を入力する	118
言語バーが表示されない	163
刻印通りの文字が入力できない	112
入力モードを確認する	112
ひらがなや漢字の入力ができない	122
部首から探す	124
難しい漢字を入力する	123
よく使う単語を簡単に入力する	125
PCカード	160
TA(ターミナルアダプタ)	145
USBコネクタ	96
接続した周辺機器が動作しない	96
Windows	
異常終了が繰り返し起こる	34
更新(アップデート)したい	192
終了できない	19
Windows Media Player	68,71,176
他のパソコンで聞けない	176
Windows キー	156
Windows タスクマネージャ	19, 38

あ行

圧縮	
メールに添付する画像を圧縮したい ...	153
アプリケーションソフト	
アプリケーションが動かない	31
アプリケーションソフトを終了する	19
インストールできない	167
起動しない	169
削除したい	174
自動起動アプリケーションソフトを解除する ...	28
データが保存できない	168
動作が遅い	173
印刷	
意味不明の文字が印字される	93
印刷できない	91,93
印刷を中止する	95
テスト印刷する	93
用紙サイズが選択できない	94
インターネット	
アクセスポイントの電話番号を確認する ...	135
エラーメッセージ	134~144
外線発信番号を設定する	138
接続画面が表示されない	146
ターミナルアダプタ(TA)が動作しない ...	145
ダイヤルアップの設定内容を確認する ...	136
ダイヤル先のコンピュータが応答しない ...	136
電話回線の種類の設定を確認する	135
発信音が聞こえない	141
モデムの設定を確認する	130
インターネット時刻	166
ウィンドウ表示方法	40
絵文字	118
エラー画面	134~144
エラーメッセージ	134~144
応答なし	31
音量	
音が出ない・音が大きすぎる	68
音量アイコン	159
音量調節	68
音量調節つまみ	68
カリカリ音がしている	51
起動音を消したい/変えたい/小さくしたい ...	72

か行

カーソル 105, 107
 海外での使用 191
 外線発信番号 138
 外部ディスプレイ 53
 顔文字 121
 書き込み禁止 83
 隠しファイル 185
 拡張子(.txt、.docなど) 184
 画像
 デジタルカメラの画像をパソコンで読みとりたい 98
 メールに添付して送りたい 153
 画面
 ウィンドウが画面からはみ出して操作できない ... 40
 動かなくなってしまった 34
 画面のテーマを変更したい 82
 「デスクトップクリーンアップウィザード」画面が表示される ... 75
 デスクトップやスタートメニューの表示がおかしい ... 60
 電源を入れてしばらくすると、真っ暗になる ... 56
 何も表示されない 53, 56
 表示や色がおかしい 59
 ブルー画面(エラー画面)が表示される ... 34
 文字が小さくて見にくい 62
 関連づけ 175
 キーボード
 押したとおりの文字が入力できない ... 112
 キーボードの種類を設定する 113
 キーを押しても反応しない 38
 刻印通りの文字が入力できない 112
 記号 118
 起動
 CD/DVD 27
 アプリケーションが自動起動する 28
 起動音 72
 起動しない 27, 41
 起動中に「Booting from Removable Media」「NTLDR is missing」「Press any key to restart」と表示された ... 27
 起動中に「Invalid system disk」「Replace the disk, and then press any key」と表示された ... 27
 フロッピーディスク 27
 休止状態 30
 強制終了 19, 31
 検索 178
 言語バー 163
 ごみ箱 181, 183
 コントロールパネル
 カテゴリの表示 80
 クラシック表示 79

使いにくい 79

さ行

再生ソフト 68, 71, 176
 サウンド
 サウンドドライバ 70
 Windowsの起動音を消したい/変えたい/小さくしたい ... 72
 音が出ない・大きすぎる 68
 削除 177
 時刻 165
 システム
 「システムの復元」機能を停止する 50
 「システムの復元」に失敗して起動しない ... 41
 「システムの復元」に使用するディスク容量を減らす ... 49
 システムを復元する 35
 システムファイル 185
 自動再生 86
 周辺機器
 接続した周辺機器が動作しない 91~97
 終了
 Windows 19
 終了できない 19
 アプリケーションソフト 19
 消音設定 73
 省電力機能 22, 56
 ショートカットアイコン 75, 190
 ショートカットエラー 190
 初期化
 バッテリー 67
 フロッピーディスク 83
 スクリーンセーバー 21
 スタートアップ
 スタートアップフォルダから削除する ... 28
 スタートボタン
 表示されない 156
 スタートメニュー
 表示がおかしい 60
 表示を変更したい 80
 スタンバイ 30
 砂時計表示 31
 スピーカ
 インジケータ(小さいアイコン)が表示されない .. 159
 音が出ない 68
 「キーン」という音がする 73
 制限付アカウント 167
 セーフモード 31
 接続ケーブル 91, 98, 100
 外付けテンキーボード 117

た行

ターミナルアダプタ(TA)	145
ダイヤルアップ接続の設定を確認する	136
タスクバー	
PCカードのインジケータ(小さいアイコン) ..	160
位置を変えたい、移動してしまった	158
スピーカのインジケータ(小さいアイコン) ..	159
バッテリー/AC電源のインジケータ(小さいアイコン) ..	160
幅を変更する	157
表示されない	156
タッピング機能	107
ダブルクリック	108
単語登録	125
チェックディスク	23
効率よく実行する	43
時間がかかりすぎる	43
終了しない	43
調節	
音量を調節する	68
ポインタの速度を調節する	109
ディスククリーンアップ	48
ディスクデフラグ	45
ディスプレイ	53, 56
画面表示先を切り替える	55
電源を切るまでの時間を変更する	58
何も表示されない	53
デスクトップ	
デスクトップやスタートメニューの表示がおかしい...	60
デジタルカメラ	98
デフラグ	45
電源が切れない	19
電子メール	
HTMLメール	155
MAILER DAEMONからメールが届いた ...	149
受信できない	148
送信できない	149
文字化けしている	150
ドライバ	
サウンドドライバを確認する	70
周辺機器のドライバ	96
プリンタドライバを確認する	92
取扱説明書を購入したい	191

な行

内蔵ディスプレイ	
何も表示されない	53
内蔵モデム	
通信ができない	130
通信速度が遅い	134
日本語入力システム(MS-IME)	
押したとおりの文字が入力できない ...	112
記号や絵文字を入力する	118
言語バーが表示されない	163
刻印通りの文字が入力できない	112
入力モードを確認する	112
ひらがなや漢字の入力ができない	122
部首から探す	124
難しい漢字を入力する	123
よく使う単語を簡単に入力する	125
ネットワーク(LAN)	
接続できない	100
ネットワークセットアップウィザード ...	102

は行

ハードディスク	
Dドライブにフォルダを作成する	188
空き容量を確認する	47
アクセスする時間が長くなった	45
「カリカリ」、または「カチャカチャ」音がしている ...	51
書き込みや読み取りができない	52
ごみ箱に入れても空き容量が増えない ...	181
ファイルを開くのにかかると時間がかかる	45
ファイルを保存していないのに容量が減っていく ..	48
保存できない	168
ハウリング	73
パスワード	
「間違っています」と表示される	29
パソコン本体	
動かなくなった	31
カリカリ音がしている	51
「システムの復元」に失敗して起動しない ...	41
終了できない	19
使用中に操作できなくなることを事前に防ぎたい ...	39, 199
スタンバイ/休止状態にならない・復帰しない ..	30
長時間使用していると熱くなる	64
電源が切れない	19
電源を切ってもファンが回っている	65
パソコンの動作が不安定になった	41
パソコンの調子がおかしい	41
冷却ファンの音が大きい	65

バックアップ 187

バッテリー
 残量を確認する 66
 初期化する 67
 タスクバーにバッテリーインジケータが表示されない... 160

パッド型ポインティングデバイス 105, 107

パフォーマンス 77

ハングアップ 31

日付や時刻 165

ファイル
 関連づけ 175
 どこに保存したらいいのかわからない... 180
 長いファイル名を付けられない 180
 長いファイル名を表示できない 180
 ハードディスクに保存できない 179
 必要なファイルを消してしまった 177
 開くのに時間がかかる 45
 ファイル名の後ろに付く文字 184
 見つからない 178

ファン 65

フォーマット 83

フォントサイズ 62

復元ポイント 36

付属品 191

フリーズ 31

プリンタ
 意味不明の文字が印字される 93
 印刷できない 91
 印刷を中止する 95
 テスト印刷する 93

プリンタコネクタ 92

ブルー画面 34

フロッピーディスク
 書き込みや読み取りができない 83
 初期化 83
 ディスクの内容が表示できない 83
 保存できない 83

ヘッドホン 68, 71

ヘルプとサポートセンター 6

ポインタ
 動きが遅い／速い 109

ポインティングデバイス
 思いどおりに動かない 105
 突然カーソルが移動する 107
 ポインティングデバイスを無効にする... 106

保存
 アプリケーションソフトのデータを保存できない.. 168

ハードディスクに保存できない 179

ファイルをどこに保存したらいいのかわからない... 180

フロッピーディスクに保存できない 83

ま行

マイク 73

マイクロソフト 7

マイコンピュータ 47

マウス
 ダブルクリックしにくい 108

マウスポインタ
 動きが遅い／速い 109
 思いどおり動かない 105
 砂時計に変わったまま、操作できない... 31
 突然カーソルが移動する 107

マルチユーザー機能 61

ミュート 74

メール
 HTMLメール 155
 MAILER-DAEMONというアドレスからメールが届いた... 149
 画像ファイルを圧縮して送る 153
 受信できない 148
 送信できない 149
 文字化けする 150

メモリ不足 39

メモリカード 98

文字入力
 顔文字「(^_^;)」を入力したい 121
 キーボードで押したとおりに入力できない... 112
 記号や絵文字を入力する 118
 刻印通りの文字が入力できない 112
 ひらがなや漢字の入力ができない 122
 部首から探す 124
 難しい漢字を入力する 123
 文字一覧 118, 123
 文字入力中突然カーソルが移動してしまう... 107
 よく使う単語を簡単に入力する 125

文字化け
 印字の文字化け 93
 メール文字化け 150, 155

モデム
 モデムの設定を確認する 130

や行

ユーザーアカウント	60
用紙サイズ	94
容量	
ごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない ...	181
ハードディスクの空き容量がわからない ...	47
容量が増えない	181
容量が減っていく	48

ら行

ライセンス認証	194
ライトプロテクト	83
リセット	20
冷却ファン	65
ログオフ	60
ログオン	60



- Windowsが終了できない
- 電源が切れない



アプリケーションソフトを終了してください

Windows XPに対応していないアプリケーションソフトを使用すると、Windowsが不安定になったり、電源が切れないなどの不具合の原因になります。アプリケーションソフトを終了して、アプリケーションソフトが原因の場合があります(※次ページ)を参照してください。

- 1** システムの状態を監視するようなアプリケーションソフトを使用している場合は、そのアプリケーションソフトを終了します。
詳しくは、アプリケーションソフトの説明書やヘルプを参照してください。
- 2** ウイルスチェックのアプリケーションソフトを使用している場合は、そのアプリケーションソフトを終了します。
詳しくは、アプリケーションソフトの説明書やヘルプを参照してください。
- 3** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押します。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
- 4** 終了させたいアプリケーションソフトを選択し、**[タスクの終了]**をクリックします。
問題の発生しているアプリケーションソフトには**応答なし**と表示されていることがあります。



- 5** 画面右上の **×** をクリックして「Windowsタスクマネージャ」画面を閉じます。



電源ボタンか、リセットスイッチを押してください

ハードディスクランプが点灯していないことを確認し、電源ボタンを4秒以上押し続けて、電源を切ってください。

この操作で電源が切れない場合、お使いのパソコンにリセットスイッチがあるときは、リセットスイッチを押して電源を切ってください。

強制的に電源を切る方法は、お使いのパソコンによって異なります

詳しくは、取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらにあるキーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブルを参照してください。

ご注意

- 通常は、電源ボタンやリセットスイッチで電源を切らないでください。
- 強制的に電源を切ったあとパソコンを起動すると、英語メッセージの青い画面が表示されて、Windowsは自動的にハードディスクのエラー検査を行います。検査の結果、問題がなければ、Windowsがそのまま起動します。

電源ボタンやリセットスイッチで電源は切れますが、同じ症状がひんばんに起こるときは、以下の  を順に確認してください。



アプリケーションソフトが原因の場合があります

あるアプリケーションソフトを使用した後、電源が切れないなどの症状が繰り返し起こる場合は、そのアプリケーションソフトが原因で、パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。

アプリケーションソフトを再インストールしてください

ご購入時にパソコンにプリインストールされていたアプリケーションソフト以外に、新しくアプリケーションソフトをインストールしたときに、正しくインストールされていない場合があります。また、正しくインストールされていても、使用しているうちにプログラムが破損した可能性があります。

アプリケーションソフトを最新のバージョンに更新してください

アプリケーションソフトのメーカーのホームページでは、エラーを修正するプログラムを提供している場合があります。そのプログラムをダウンロードして実行し、最新のバージョンに更新してください。



マイクロソフトのホームページで確認してください

マイクロソフト株式会社のホームページのサポート技術情報にも、トラブルシューティングの情報が記載されています。現在の問題が解決された後、早い機会にご参照いただくことをお勧めします。(137ページ)



スクリーンセーバーと省電力機能をオフにしてください

スクリーンセーバーや省電力機能が原因の場合があります。以下の手順でスクリーンセーバーと省電力機能をオフにしてください。

スクリーンセーバーをオフにする

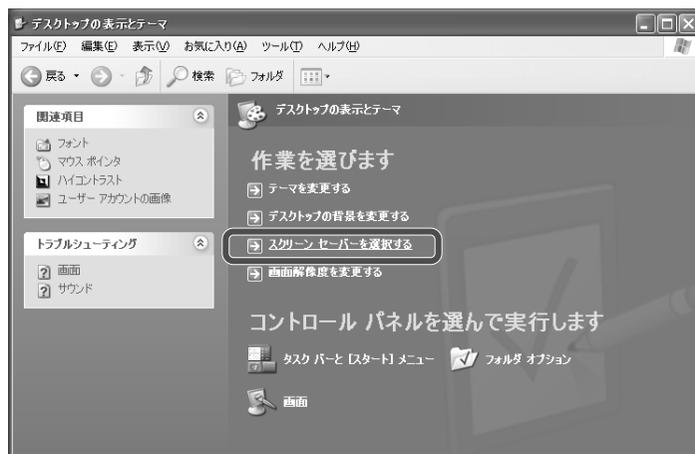
1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。

「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「スクリーンセーバーを選択する」をクリックします。



4 「スクリーンセーバー」から「(なし)」を選択します。



省電力機能をオフにする

5 手順4の画面で、「モニタ電源」の[電源]をクリックします。



「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

6 「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」、「システム休止状態」のそれぞれで「なし」を選択します。



7 [OK]をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。

8 [OK]をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

9 画面右上の  をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。



チェックディスクを実行してください

チェックディスクでは、ハードディスクのエラーを検査し、修復します。

チェックディスクは、オプションの「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」を選択すると、次のパソコン起動時に、自動的に実行されます。選択しなかったときは、すぐにチェックディスクが始まります。

ご注意

チェックディスクの実行中は、パソコンを操作しないでください。

チェックディスクが終了しない場合や、時間がかかりすぎる場合は、チェックディスクが終了しない・チェックディスクに時間がかかりすぎる(☞43ページ)を参照してください。

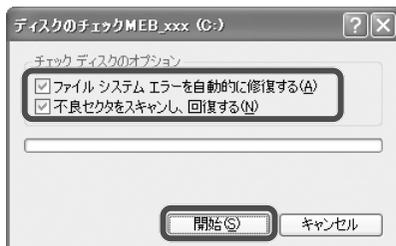
- 1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
「マイコンピュータ」画面が表示されます。
- 2 ハードディスク(C:)のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
ハードディスクのプロパティ画面が表示されます。
- 3 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の[チェックする]をクリックします。



(WindowsXP Professionalの場合は、画面が異なります。)

- 4 「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」をクリックしてチェックマークを付け、[開始]をクリックします。

「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」を選択しないでチェックディスクを実行するときは、起動中のアプリケーションソフトや常駐アプリケーションソフトを終了してください。



「ディスク検査のユーティリティは.....。次のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか?」と表示されます。

5 [はい]をクリックします。

6 [OK]をクリックしてハードディスクのプロパティ画面を閉じます。

7 画面右上の  をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。

8 パソコンを再起動します。

起動途中で、英語メッセージの青い画面が表示されて、自動的にチェックディスクが実行されます。

ご注意

チェックディスクを実行しても症状が改善されないときや、重大な問題があるという意味のメッセージが表示されたときは、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す必要があります。

取扱説明書(別冊)を参照し、付属のプロダクトリカバリCD-ROMを使って、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻してください。(再インストール)それでも修復しない場合は、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。

ご参考

オプションの「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」を選択しないでチェックディスクを実行したときは、チェック終了後、結果レポートが表示されます。内容を確認し、[OK]をクリックしてください。



周辺機器を外してください

パソコンに接続している周辺機器を外して、再起動してください。再起動後すぐWindowsを終了して正常に終了した場合は、周辺機器に問題がある可能性があります。

- 周辺機器のメーカーのホームページから周辺機器用のドライバ・ユーティリティをダウンロードし、ドライバ・ユーティリティを最新のバージョンに更新してください。
- 周辺機器の説明書を参照し、正しく接続されているか、使い方が間違っていないかなどを確認してください。

それでも原因がわからない場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。



電源を入れても電源／バッテリー状態ランプが点灯しない



ACアダプタが正しく接続されているか確認してください

電源コードが抜けていないかをもう一度、確認してみましょう。



電源コンセントは、通電しているか確認してください

別の電気機器を電源コンセントに接続し、電源コンセントに電気がきているか確認してください。



バッテリーパックの充電状態を確認してください

バッテリーパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。

バッテリーパックが充電不足の場合は、十分に充電してから使用するかACアダプタを接続してください。



パソコンをリセットしてください

上記すべての操作をしてもだめなときは、パソコンをリセットしてください。

詳しくは、取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらにあるキーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けないを参照してください。



フロッピーディスクから起動できない



フロッピーディスクドライブの接続を確認してください

外付けのフロッピーディスクドライブを使用している場合は、パソコンに正しく接続されているか確認してください。

正しい接続方法については、周辺機器の説明書を参照してください。



起動用ディスクかどうか確認してください

フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用ディスクかどうか確認してください。

起動用ディスク以外のフロッピーディスクでは、Windowsを起動することができません。



セットアップユーティリティの設定を確認してください

パソコンが起動するときに読み込むドライブの順番は、「セットアップユーティリティ」で設定することができます。

フロッピーディスクドライブがハードディスクドライブより優先して起動する設定になっているか確認してください。セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



起動中に「Invalid system disk」または「Replace the disk, and then press any key」と表示された

機種によっては、「Booting from Removable Media」、または「NTLDR is missing」、「Press any key to restart」と表示される場合もありますが、解決方法は同じです。



フロッピーディスクドライブ／CD(DVD)ドライブに、ディスクが挿入されていないか確認してください

フロッピーディスクドライブ／CD(DVD)ドライブに、ディスクが挿入されていると、そのディスクから起動しようとして失敗してしまいます。

ドライブからディスクを取り出して、キーボードのいずれかのキーを押し、ハードディスクから起動してください。



ハードディスクを最優先にして、システムを起動してください

セットアップユーティリティで、起動するドライブの優先順位を変更することができます。この設定でフロッピーディスクドライブやCD-ROMが最優先になっていると、起動できない場合があります。ハードディスクを最優先にして起動してください。セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



セットアップユーティリティのすべての設定を初期値に戻してください

セットアップユーティリティの設定を初期値へ戻すことで正常に起動できる場合があります。セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



周辺機器を外してください

パソコンに接続している周辺機器を外して、再起動してください。周辺機器に問題がある可能性があります。



システムファイルの破損が原因の場合があります

取扱説明書(別冊)を参照し、付属のプロダクトリカバリCD-ROMを使って、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻してください。(再インストール)

それでも修復しない場合は、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。点検・修理をご依頼ください。



パソコンの起動時にアプリケーションソフトが自動的に起動してしまう



スタートアップフォルダから、自動的に起動させたくないアプリケーションソフトを削除してください

1 [スタート]を右クリックし、「開く」をクリックします。



「スタートメニュー」画面が表示されます。

2 「プログラム」フォルダをダブルクリックします。

「プログラム」画面が表示されます。

3 「スタートアップ」フォルダをダブルクリックします。

「スタートアップ」画面が表示されます。

4 自動的に起動させたくないアプリケーションのアイコンを右クリックし、「削除」をクリックします。



5 確認画面で、「はい」をクリックします。

6 画面右上の  をクリックして「スタートアップ」画面を閉じます。

7 パソコンを再起動します。

手順4で選んだアプリケーションソフトは、自動的に起動しないようになります。



パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



間違ったパスワードを入力していないか確認してください

登録しているパスワードを間違えて入力している可能性があります。パスワードを入力するときは、ユーザー名を確認して、パスワードを間違いなく入力してください。



パスワードによっては、半角/全角や小文字/大文字を判別するものもあります

パスワードを入力しても、画面には「*****」と表示され確認できません。



Caps LockランプやNum Lockランプが点灯していないか、キーボードの状態を確認して、正しく文字を入力してください。(☞112ページ)



スタンバイ／休止状態にならない



電話回線を使用するアプリケーションソフトを終了してから、もう一度設定し直してください

電話回線を使用するアプリケーションソフトが電話回線を使用しているときは、電話回線を切ってからスタンバイ／休止状態にしてください。スタンバイ／休止状態の設定については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



アプリケーションソフトや周辺機器によって、スタンバイ／休止状態に対応していないことがあります

アプリケーションソフトや周辺機器によっては、省電力機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度パソコン本体の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。

また、このようなアプリケーションソフトや周辺機器を使うときは、自動的にスタンバイ／休止状態に入らないように設定してください。スタンバイ／休止状態の設定については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



スタンバイ／休止状態は、ACアダプタ接続時とバッテリー使用時でそれぞれ別に設定できます

「電源オプションのプロパティ」画面で、設定してください。詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。





Windows XP を Safe mode(セーフモード)で起動したい



セーフモードで起動したいときは

セーフモードとは、トラブルなどが原因で通常に起動できないときに使用する起動方法です。セーフモードで起動して、問題のあるドライバやソフトウェアを削除すれば、次回より正しく起動できる場合があります。

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 ログ画面が表示されたら、**[F8]** キーを押し続けます。
- 3 「セーフモード」を選び、**[↵]** キーを押します。
- 4 「Microsoft Windows XP Home Edition」、または「Microsoft Windows XP Professional」が選ばれているのを確かめ、**[↵]** キーを押します。
- 5 ユーザ名をクリックし、「デスクトップ」画面で**[はい]**をクリックします。
Windows がセーフモードで起動します。



・使用中に動かなくなってしまった ・マウスポインタが砂時計に変わったまま、操作できなくなってしまった



アプリケーションソフトを終了してください



ご注意

強制終了したアプリケーションソフトの保存していないデータはすべて失われます。

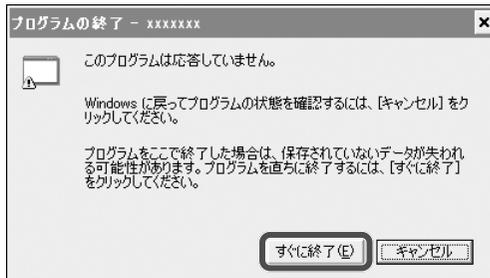
以下の操作で問題の発生しているアプリケーションソフトを終了してください。

- 1 **[Ctrl] + [Alt] + [Delete]** キーを押します。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。

- 2** 問題の発生しているアプリケーションソフトを選択し、[タスクの終了]をクリックします。
- 問題の発生しているアプリケーションソフトには応答なしと表示されていることがあります。



- 3** 「このプログラムは応答していません…」というメッセージが表示されたときは、[すぐに終了]をクリックします。



問題のあるアプリケーションソフトが終了します。



アプリケーションソフトを終了しても、画面が動かなくなって電源が切れないときは

Windowsを再起動してください。



起動しているアプリケーションソフトも含めて、保存していないデータはすべて失われます。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押します。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。



- 2** メニューバーの「シャットダウン」をクリックし、「再起動」をクリックします。



パソコンが再起動します。

この方法で再起動できないときは

ハードディスクランプが点灯していないことを確認し、電源ボタンを4秒以上押し続けて、電源を切ってください。

この操作で電源が切れない場合、お使いのパソコンにリセットスイッチがあるときは、リセットスイッチを押して電源を切ってください。

なお、強制的に電源を切る方法は、お使いのパソコンによって異なります。詳しくは、取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらにあるキーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブルを参照してください。

参考

- 万が一に備えて、大切なファイルは、作業中も保存しましょう。また、ファイルやデータはCD-R/RWやフロッピーディスクなどの外部記憶媒体にコピー(バックアップ)しておくことをお勧めします。
- 強制的に電源を切ったあとパソコンを起動すると、英語メッセージの青い画面が表示されて、Windowsは自動的にハードディスクのエラー検査を行います。検査の結果、問題がなければ、Windowsがそのまま起動します。



ひんぱんに画面が動かなくなったり、ブルー画面(エラー画面)が表示されるときは



アプリケーションソフトを終了してください

詳しくは、アプリケーションソフトを終了してください(☞31ページ)を参照してください。



アプリケーションソフトを終了しても、画面が動かなくなっても電源が切れないときは

パソコンを再起動すると正しく動作するようになります。詳しくは、アプリケーションソフトを終了しても、画面が動かなくなっても電源が切れないときは(☞32ページ)を参照してください。



チェックディスクを実行してください

ハードディスクにエラーがある場合は、チェックディスクを実行することで正しく動作するようになる場合があります。詳しくは、チェックディスクを実行してください(☞23ページ)を参照してください。



アプリケーションソフトが原因の場合があります

使用していたアプリケーションソフトがWindowsXPでの動作に対応していることを販売店や製造元に確認してください。また、以下の項目についても確認してください。

アプリケーションソフトを再インストールしてください

ご購入時にパソコンにプリインストールされていたアプリケーションソフト以外に、新しくアプリケーションソフトをインストールしたときに、正しくインストールされていない場合があります。また、正しくインストールされていても、使用しているうちにプログラムが破損した可能性があります。

アプリケーションソフトを最新のバージョンに更新してください

アプリケーションソフトのメーカーのホームページでは、エラーを修正するプログラムを提供している場合があります。そのプログラムをダウンロードして実行し、最新のバージョンに更新してください。



スクリーンセーバーと省電力機能をオフにしてください

詳しくは、スクリーンセーバーと省電力機能をオフにしてください(☞21ページ)を参照してください。



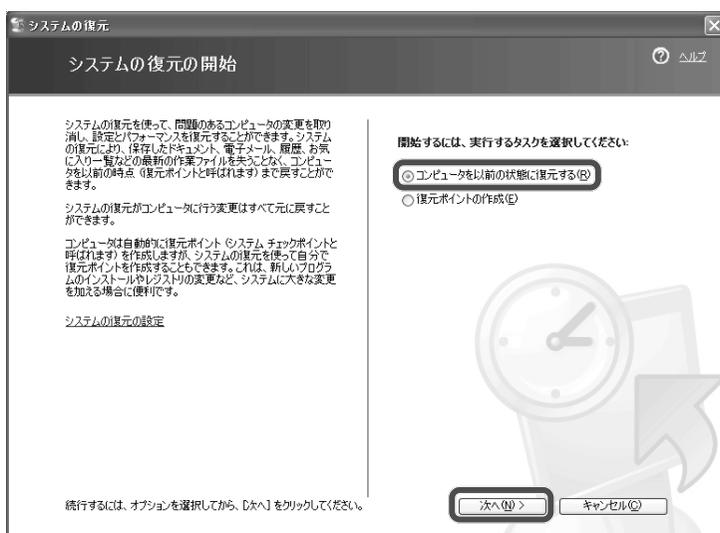
システムの復元を実行してください

Windowsには、トラブルが発生したときにシステムを復元できるように、自動的にバックアップファイルを作成する機能があります。これを「システムの復元」機能といいます。システムの復元を実行すると、パソコンが正常に動作していた頃の状態に戻すことができます。

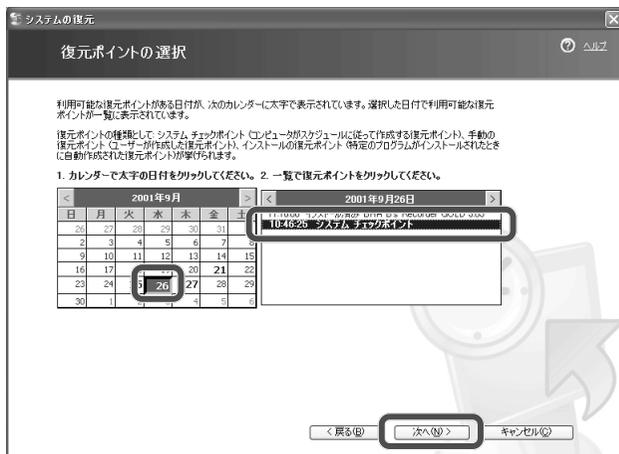
ご注意

システムの復元を実行すると、指定した日付(復元ポイント)以降にインストールしたアプリケーションソフトや自己解凍ファイルなどは削除されます。メールなどに添付されてきた自己解凍ファイルなどを削除されたくないときは、「マイドキュメント」フォルダに移動してください。

- 1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」をクリックします。
「システムの復元」画面が表示されます。
- 2 「コンピュータを以前の状態に復元する」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。



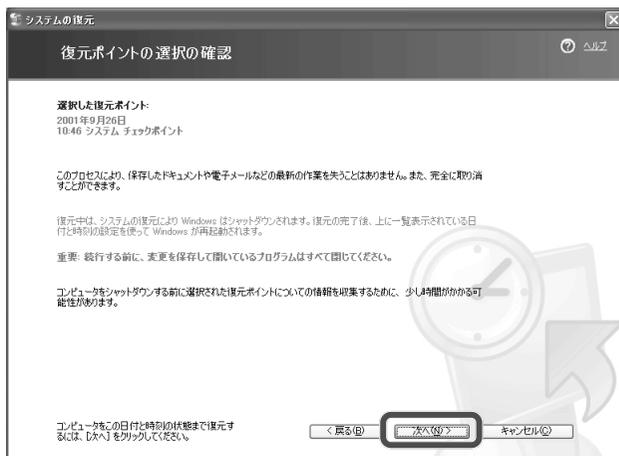
3 日付と一覧からいつの状態に戻すのか(復元ポイント)を選択し、[次へ]をクリックします。



💡ご参考

復元ポイントは、新しいアプリケーションソフトや周辺機器用ドライバ・ユーティリティをインストールしたときなどに、自動的に作成されています。

4 起動しているアプリケーションソフトや周辺機器用ドライバ・ユーティリティがあれば終了し、復元ポイントを確認して、[次へ]をクリックします。



システムの復元が実行されます。

およそ数分で復元が終わると、パソコンが自動的に再起動して「復元は完了しました」と表示されます。

🔔ご注意

復元中はパソコンの操作をしたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。

5 [OK]をクリックします。



復元ポイント以降にインストールしたアプリケーションソフトや周辺機器用ドライバ・ユーティリティなどは削除されるため、必要に応じて再インストールしてください。



周辺機器を外してください

パソコンに接続している周辺機器を外して、再起動してください。周辺機器に問題がある可能性があります。

- 周辺機器メーカーのホームページから周辺機器用のドライバ・ユーティリティをダウンロードし、ドライバ・ユーティリティを最新のバージョンに更新してください。
 - 周辺機器の説明書を参照し、正しく接続されているか、使い方が間違っていないかなどを確認してください。
- それでも原因がわからない場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。



システムファイルの破損が原因の場合があります

上記の方法をすべて行っても改善されない場合は、システムファイルの破損が原因の場合があります。

取扱説明書(別冊)を参照し、付属のプロダクトリカバリCD-ROMを使って、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻してください。(再インストール)それでも修復しない場合は、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。点検・修理をご依頼ください。



キーボードのキーを押しても反応しない



アプリケーションソフトが動かなくなったときは

アプリケーションソフトを強制終了してください。詳しくは、アプリケーションソフトを終了してください(☞31ページ)を参照してください。



Windowsを再起動してください

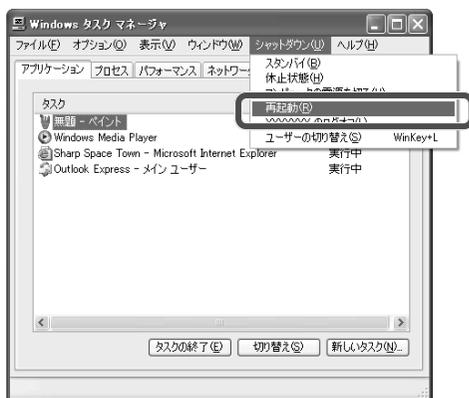


ご注意

起動しているアプリケーションも含めて、保存していないデータはすべて失われます。

1 **[Ctrl] + [Alt] + [Delete]** キーを押します。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。

2 メニューバーの「シャットダウン」をクリックし、「再起動」をクリックします。



パソコンが再起動します。



他のキーは反応するときは

押しているキーが、操作しているアプリケーションソフトで使用できないキーでないか確認してください。



キーボードのドライバを再インストールしてください

詳しくは、キーボードの種類が『日本語PS/2キーボード(106/109キー)』に設定されていない可能性があります(☞113ページ)を参照してください。



システムの復元を実行してください

詳しくは、システムの復元を実行してください(☞35ページ)を参照してください。



システムファイルの破損が原因の場合があります

上記の方法をすべて行っても改善されない場合は、システムファイルの破損が原因の場合があります。取扱説明書(別冊)を参照し、付属のプロダクトリカバリCD-ROMを使って、ご購入時の状態に戻してください。(再インストール)それでも修復しない場合は、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。



使用中に操作できなくなることを事前に防ぎたい



メモリ不足にならないようにしましょう

メモリが不足すると、「画面が動かない!」、「マウスカーソルが動かない!」といったトラブルが発生しやすくなります。

以下の方法でメモリの空きを確保してください。

常駐アプリケーションソフトを減らす

Windowsの起動と同時に自動起動し、タスクトレイに常駐するアプリケーションソフトの数を減らしてください。(P.28ページ)

同時に起動するアプリケーションソフトの数を減らす

使用していないアプリケーションソフトは、こまめに終了させてください。ウィンドウをたくさん開いているだけでもメモリを使います。

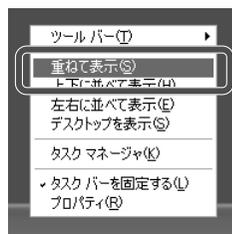


ウィンドウが画面からはみ出してしまって操作できない



ウィンドウの表示方法を変更してください

タスクバーの何もない場所で右クリックし、「重ねて表示」/「上下に並べて表示」/「左右に並べて表示」のいずれかをクリックします。



操作できる位置にウィンドウが表示されます。



Windowsを再起動してください

Windowsを再起動すると元の状態に戻ることがありますので、Windowsを再起動してください。詳しくは、Windowsを再起動してください(☞38ページ)を参照してください。



・パソコンの動作が不安定になった
・パソコンの調子がどうもおかしい



システムの復元を実行してください

詳しくは、システムの復元を実行してください(☎35ページ)を参照してください。



「システムの復元」に失敗してWindowsが起動しなくなった

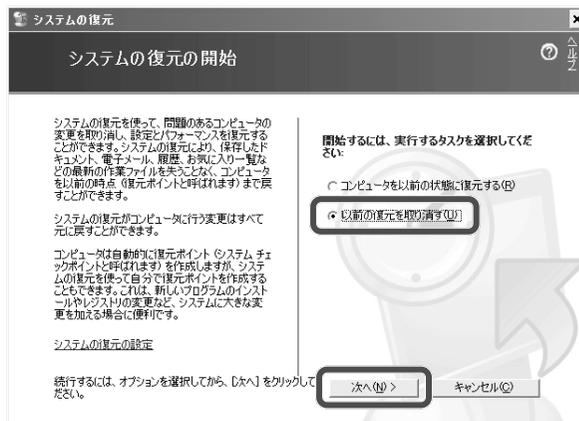


セーフモードで起動し、復元を取り消してください

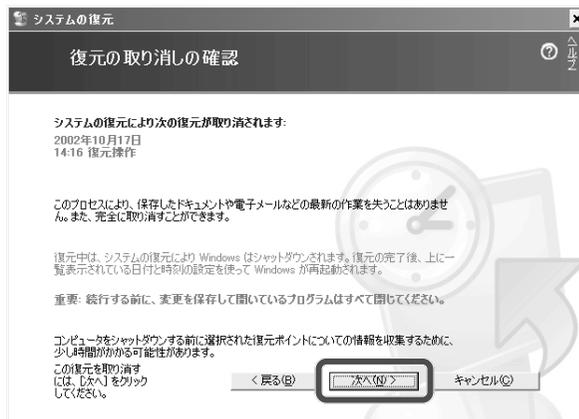
セーフモードとは、通常の起動方法とは異なるWindowsの起動方法です。「システムの復元」に失敗してWindowsが起動しなくなったときは、セーフモードで起動し、「システムの復元」を取り消してください。

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 ログ画面が表示されたら、**[F8]** キーを押し続けます。
- 3 「セーフモード」を選び、**[↵]** キーを押します。
- 4 「Microsoft Windows XP Home Edition」、または「Microsoft Windows XP Professional」が選ばれているのを確かめ、**[↵]** キーを押します。
Windowsがセーフモードで起動します。
- 5 ユーザー名をクリックし、「デスクトップ」画面で[はい]をクリックします。
- 6 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」をクリックします。

7 「以前の復元を取り消す」をクリックして選択し、「次へ」をクリックします。



8 起動しているアプリケーションソフトがあれば終了し、「次へ」をクリックします。



復元の取り消しが実行されます。

およそ数分～10分で取り消しが終わると、パソコンが自動的に通常モードで再起動し、「取り消し完了」と表示されます。



ご注意

取り消し中はパソコンの操作をしたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。

9 [OK]をクリックします。

これで、システムの復元が取り消されました。



- ・チェックディスクが終了しない
- ・チェックディスクに時間がかかりすぎる



チェックディスクの設定によって、必要な時間は変わってきます

チェックディスクを開始する前に、チェック方法をオプションで設定することができます。設定の内容や、チェックディスクを実行するハードディスクドライブの容量およびファイル数などによって、チェックディスクにかかる時間の長さは変わります。

時間の目安（ハードディスクの容量が約20GBの場合）

- ・オプションなし：数分～10分
- ・オプション「不良セクタをスキャンし、回復する」選択時：20～30分
- ・オプション「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」選択時：およそ1時間



ご注意

チェックディスクの進行がしばらく止まって見えることがありますが、ハードディスクランプが点灯中はチェックディスクを実行しています。しばらくお待ちください。



効率よくチェックディスクを実行するには

オプションの「不良セクタをスキャンし、回復する」だけを選択してチェックディスクを行うときは、以下の手順で実行すると効率的です。

1 すべてのアプリケーションソフトを終了します。

通常のアプリケーションソフトだけでなく、ウイルスチェックや常駐ソフト、システムの状態を監視するようなアプリケーションソフトもすべて終了してください。

アプリケーションソフトを操作したり、アプリケーションソフトが常駐しているだけで、チェックディスクに時間がかかることがあります。

詳しくは、アプリケーションソフトの説明書やヘルプを参照してください。

2 スクリーンセーバーと省電力機能をオフにします。(☞21ページ)

3 チェックディスクを実行します。(☞23ページ)



ご参考

オプションの「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」を選択してチェックディスクを実行すると、チェックディスクは次回のパソコン起動時、自動的に実行されます。このオプションを選択しているときは、上記のような準備を行う必要はありません。



周辺機器を外してください

パソコンに接続している周辺機器を外してから、チェックディスクを実行してください。周辺機器を操作していなくても、接続しているだけでチェックディスクに時間がかかったり、終了しないことがあります。



システムのプロパティに表示されるCPUクロック周波数が製品カタログと異なる



Windows XPの「システムのプロパティ」の「全般」タブに表示されているCPUクロック周波数は、CPUの最高周波数を表示しているわけではありません

Windows XPの「システムのプロパティ」の「全般」タブでは、このユーティリティを起動した時点のCPUクロック周波数を表示するようになっていますので、CPUが周波数切り替えを行っている場合には、最高周波数とは異なる値が表示されることがあります。

そのため、製品カタログなどに記載されているスペックとは若干の誤差が生じることもあります。



ご参考

上記については、マイクロソフト株式会社のホームページにも記載があります
「プロセッサの周波数情報が最高周波数以外の値で表示される」

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP418116>

他社のホームページのURLは、予告なく変更になる場合がありますので、ご注意ください。



・ハードディスクにアクセスする時間が長くなった ・ファイルを開くのに時間がかかる



ディスクデフラグを実行してください

ファイルが大きすぎて1か所に保存できない場合、ファイルは断片化され、ハードディスク上の任意の空き領域に保存されます。断片化されたファイルを使用することはできますが、ハードディスクのアクセス速度は遅くなってしまいます。

ディスクデフラグとは、断片化されたファイルとディスク上のファイル、空き領域を最適な位置に並べ直すことです。ディスクデフラグを実行すると、ハードディスクのアクセス速度が向上し、ファイルをよりすばやく開くことができます。



効率よくディスクデフラグを実行するには

- ディスクデフラグを開始する前に、効率よくチェックディスクを実行するには(43ページ)の手順1~2を実行しておく、効率よくディスクデフラグを実行することができます。
- ディスクデフラグを実行するハードディスクドライブの容量およびファイル数などによって、ディスクデフラグにかかる時間の長さは変わります。

1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグ」をクリックします。

「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

2 ディスクデフラグを実行するボリュームをクリックして選択し、[分析]をクリックします。



分析が始まります。

3 分析の結果に応じて、[最適化]をクリックします。

ディスクデフラグが始まります。

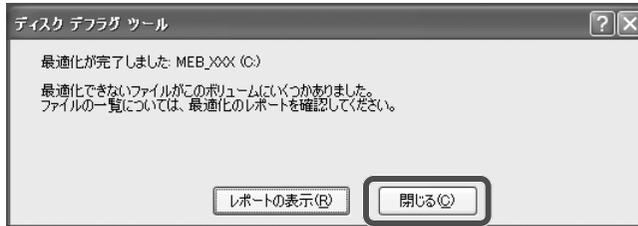
ディスクデフラグには時間がかかります。最適化完了のメッセージが出るまでお待ちください。



ご参考

「このボリュームを最適化する必要はありません。」と表示されたときは、[閉じる]をクリックして「ディスクデフラグツール」画面を閉じます。

4 [閉じる]をクリックします。



より詳しい情報を知りたいときは[レポートの表示]をクリックします。断片化率や、最適化されなかったファイルなどが表示されます。

5 画面右上の をクリックして「ディスクデフラグツール」画面を閉じます。



ハードディスクの空き容量がわからない



マイコンピュータで確認できます

1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。

2 ハードディスクのアイコンにマウスポインタを移動します。
空き領域(容量)と合計サイズが表示されます。



もっと詳しく知りたいときは

ハードディスクのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



(WindowsXP Professionalの場合は、画面が異なります。)

空き容量を確認したら、[OK]をクリックします。



ファイルを保存していないのに、ハードディスクの容量が減っていく



ディスククリーンアップを実行してください

Windowsを操作していくうちに、処理を早くするための一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成され、ハードディスクの空き容量が減少していきます。定期的にディスククリーンアップを実行し、ハードディスクを掃除するようにしてください。

- 1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
- 2 ハードディスクのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 [ディスクのクリーンアップ]をクリックします。



(WindowsXP Professionalの場合は、画面が異なります。)

- 4 削除するファイルのチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。削除するファイルの内容は、「説明」欄に表示されます。ファイルを削除する前によく読み、削除してもよいか確認してください。



- 5 [OK]をクリックします。
「これらの操作を実行しますか?」と表示されます。
- 6 [はい]をクリックします。
ディスククリーンアップが実行されます。

7 [OK]をクリックしてハードディスクのプロパティ画面を閉じます。

8 画面右上の  をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。



ディスククリーンアップの詳細オプション

手順4の画面の「詳細オプション」タブの「Windowsコンポーネント」、「インストールされているプログラム」、「システムの復元」、それぞれの項目の[クリーンアップ]をクリックすると、ハードディスクの空き容量を増加させることができます。



「システムの復元」に使用するディスク領域を減らしてください

「システムの復元」機能は、トラブルが発生したときにシステムを復元できるように、自動的にバックアップファイルを作成します。このファイルはパソコンをお使いになるにつれて容量が大きくなるため、ハードディスクの空き容量が減っていきます。

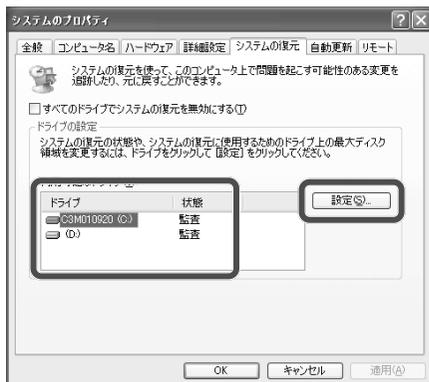
空き容量の減りが気になるときは、以下の手順で、システムの復元に使用するディスク領域を減らしてください。

1 [スタート]をクリックします。

2 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 「システムの復元」タブをクリックします。

4 「利用可能なドライブ」から、ディスク領域を減らすドライブをクリックして選択し、「設定」をクリックします。



5 「使用するディスク領域」のつまみを左にドラッグします。



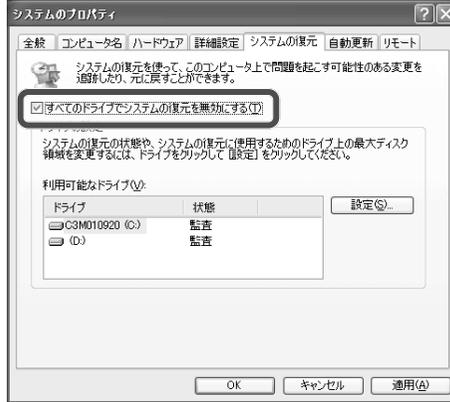
6 [OK]をクリックして「ドライブの設定」画面を閉じます。

7 [OK]をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。

 **ご参考**

「システムの復元」を無効にすることもできます

ハードディスクの空き容量があまりに少ないときは、一時的な対処法として、手順**4**の画面で「すべてのドライブでシステムの復元を無効にする」にチェックマークを付けて無効にすることもできます。ただし、通常は無効にしないことをお勧めします。





パソコンから「カリカリ」、または「カチャカチャ」音がしているが大丈夫？



ハードディスクへ読み込み/書き込み中です

ハードディスクへアクセス(読み込み、または書き込み)中に、ハードディスクから「カリカリ」、または「カチャカチャ」と音が鳴ることがあります。また、ハードディスクへアクセス中は、パソコンのハードディスクランプが点灯します。

ハードディスクへのアクセスは、作業中のファイルを読み込み、または書き込みする以外に、Windowsが自動的にハードディスクへアクセスする場合があります。ハードディスクへアクセス中は、パソコンの電源を切ったり衝撃を加えないでください。



ご参考

ハードディスクへ読み込み/書き込みを行っていない場合でも「カチャカチャ」と音がする場合があります。これは内部のヘッドロック機構が動作する音であり故障ではありません。

また、まれにハードディスクの読み込み/書き込み時に「カンカン」などの少し大きな音がすることがありますが、これはヘッドが位置補正を行う際にストッパーに当たるときの音で故障ではありません。



ディスクデフラグを実行してください

ファイルが大きすぎて1か所に保存できない場合、ファイルは断片化され、ハードディスク上の任意の空き領域に保存されます。断片化されたファイルを使用することはできますが、ハードディスクのアクセス速度は遅くなってしまいます。

断片化されたファイルが多くなると、ハードディスクにアクセスする速度が遅くなるので、その分アクセスする時間や回数が多くなり、「カリカリ」、または「カチャカチャ」音が耳につくようになります。

定期的にディスクデフラグを実行して、断片化されたファイルが少なくなるようにしましょう。(P.45ページ)



あまりにも上記の音が大きくなったり、おかしい音がする場合は

この状態でパソコンを使い続けると、ハードディスクが破損する恐れがあります。大切なデータのバックアップをとり、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。



こんな場合は故障ではありません

以下の場合、パソコン起動時にフロッピーディスクドライブが動作し「ガガガ…」という音が鳴りますが、故障ではありません。

- ウイルスチェックのアプリケーションソフトを常駐設定にし、フロッピーディスクドライブをチェックする設定にしているとき。



ハードディスクへのデータの書き込みや読み取りができない



ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください

ファイル名には、規則があり、付けた名前によっては、ファイルを書き込むことができないことがあります。



ハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください

ハードディスクの空き容量が残り少なくなってくるとファイルを開くことができないことがあります。これは、Windows もファイルを開く操作をするときに、作業用にハードディスクの空き容量を必要とするためです。このような場合は、バックアップを取ってから、必要度が低いファイルを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。



何もしていないのにハードディスクのアクセスランプが点灯する



アプリケーションソフトが原因の場合があります

何も操作をしていないときにハードディスクのアクセスランプが点灯することがあるのは、自動起動するソフトウェアなどが原因で起こります。故障ではありませんので、ご安心してご使用ください。



ディスプレイに何も表示されない



外部ディスプレイを接続しているときは

外部ディスプレイを接続してからパソコンの電源を入れると、外部ディスプレイに画面表示される機種もあります。

内蔵ディスプレイに表示させたいときは、表示させるディスプレイを切り替えてください。画面の表示先の切り替え方法は、機種により異なります。詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



外部ディスプレイを接続していない状態でも、何も表示されないときは

パソコンの電源が入っているか確認してください

- 電源ランプが点灯しているか確認し、ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
- バッテリーで動作させているときは、バッテリーランプが点灯しているか確認し、バッテリーパックが正しくセットされているか、充電されているかを確認してください。

省電力機能が働いていないか確認してください

省電力機能の設定によっては、一定時間が過ぎると自動的に電源が切れる場合があります。もう一度、パソコンの電源が入っているか確認してください。

- スタンバイになっている場合は、キーボードのいずれかのキーを押すと復帰します。
- 休止状態になっている場合は、電源ボタンを押すと復帰します。

内蔵ディスプレイがオフになっていないか確認してください

[Fn] + [F11] () で内蔵ディスプレイのオン/オフを切り替えます。内蔵ディスプレイをオンにしてください。

周辺機器を外してください

パソコンに接続している周辺機器を外して、再起動してください。周辺機器に問題がある可能性があります。

バッテリーパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください

電源ランプ(バッテリーランプ)が点灯している場合は、強制的に電源を切り、再起動してください

以下の方法で強制的に電源を切り、再度電源を入れてください。

ご注意

- 強制的に電源を切る場合は、ハードディスクランプが点灯していないことを確認してください。
 - 強制的に電源を切ったあとパソコンを起動すると、英語メッセージの青い画面が表示されて、Windowsは自動的にハードディスクのエラー検査を行います。検査の結果、問題がなければ、Windowsがそのまま起動します。
- 電源ボタンを4秒以上押し続けます。
 - 電源ボタンで電源が切れない場合、お使いのパソコンにリセットスイッチがあるときは、リセットスイッチを押します。

強制的に電源を切る方法は、お使いのパソコンによって異なります。

詳しくは、取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらにあるキーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブルを参照してください。



セーフモードで起動すると、内蔵ディスプレイに表示されるときは

1 パソコンをセーフモードで起動します。(☞31ページ)

2 オプションの「不良セクタをスキャンし、回復する」にチェックマークを付けてチェックディスクを実行します。(☞23ページ)

3 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

4 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

5 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

6 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

7 「ディスプレイアダプタ」と「モニタ」をそれぞれダブルクリックし、デバイスが正しく表示されているか、**!** マークや **×** マークが付いていないかを確認します。

×マークが付いている場合は

デバイス名を右クリックし、「有効」をクリックします。

×マークが消えます。

画面右上の  をクリックして開いている画面を閉じます。

! マークが付いている場合や、まちがったデバイス名が表示されている場合は

デバイス名を右クリックし、「削除」をクリックします。

確認画面で[OK]をクリックしたあと、パソコンを再起動します。

ドライバが自動的に再セットアップされます。



セットアップユーティリティのすべての設定を初期値に戻してください

セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



パソコンの電源を入れた直後のロゴ画面が表示されないときは

上記の方法をすべて行っても改善されない場合は、内蔵ディスプレイが故障している可能性があります。

お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。点検・修理をご依頼ください。



内蔵ディスプレイから外部ディスプレイに画面表示先を切り替えたい



画面の表示先の切り替え方法は、パソコンにより異なります

内蔵ディスプレイだけでなく、市販の外部ディスプレイに画面を表示させることができます。切り替え方法は、お使いのパソコンにより異なります。詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる



バッテリー切れになっていませんか

ACアダプタを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリーパックから供給されます。「バッテリー低下の警告」や「バッテリー消耗の警告」が表示されてもそのまま使い続けていると、バッテリーの残量がなくなり電源が切れてしまいます。

バッテリーを充電するか、ACアダプタを接続してから、再度パソコンの電源を入れてください。



バッテリーパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください

バッテリーパックが正しく接続されていないときや、バッテリーの残量が充分でないと画面が表示されない場合があります。

バッテリーを充電するか、ACアダプタを接続してから、再度パソコンの電源を入れてください。



ディスプレイの省電力機能が働いていないか確認してください

「電源オプションのプロパティ」画面で、「モニタの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」のそれぞれの項目で、設定している時間を超えて操作しない状態が続くと、画面が消えます。

このときは、以下の操作でスタンバイ／休止状態から復帰させると、画面は表示されます。

- スタンバイ : キーボードのいずれかのキーを押します。
- 休止状態 : 電源ボタンを押します。

消費電力の節約について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



「電源オプションのプロパティ」画面は、以下の手順で表示させます。

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「電源オプション」をクリックします。



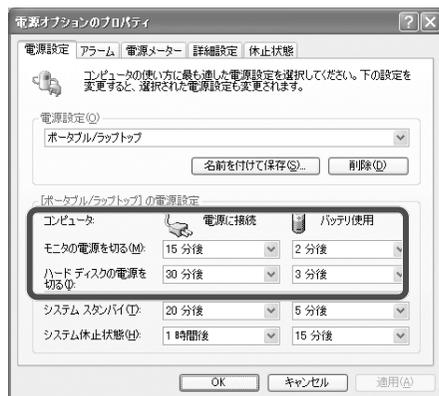
ディスプレイ(モニタ)やハードディスクの電源を切るまでの時間を変更したい



「電源オプションのプロパティ」画面で設定してください

モニタやハードディスクの電源を切るまでの時間は、「電源オプションのプロパティ」画面で設定できます。

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「電源オプション」をクリックします。
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。



- 5 [OK]をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。
- 6 画面右上の  をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。



画面の表示や色がおかしい



設定可能な解像度と色数は、お使いのパソコンによって異なります

通常はご購入時の設定のままお使いください。

設定を変更した後、画面の表示や色がおかしくなった場合は、設定可能な解像度と色数を確認して、設定し直してください。

ディスプレイの解像度や色を変える方法については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



Windowsを再起動してください

ゲームソフトなど、一時的に画面の解像度や表示色を変更して使用するアプリケーションソフトを使用した後は、そのアプリケーションソフトを終了しても元に戻らない場合があります。

Windowsを再起動してください。



ドライバ・ユーティリティを再インストールしてください

ディスプレイアダプタ、モニタのドライバ・ユーティリティを再インストールしてください。それでもおかしい場合は、内蔵ディスプレイが故障している可能性があります。

お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。点検・修理をご依頼ください。



デスクトップやスタートメニューの表示がおかしい



他のユーザーアカウントでログオンしていないか確認してください

マルチユーザー機能(※次ページ)を使っていて、誤って他のユーザーアカウントでログオンした可能性があります。現在のユーザーアカウントは、スタートメニューの最上部に表示されています。

誤って他のユーザーアカウントでログオンしたときは、以下の手順でログオンし直してください。

1 [スタート]をクリックし、「ログオフ」をクリックします。

2 [ログオフ]をクリックします。



3 正しいユーザー名をクリックしてログオンします。



💡 マルチユーザー機能とは?

家族でパソコンを共有しているとき、家族それぞれにユーザーアカウントを作成しておく、画面デザインやデスクトップの設定などがユーザー単位で保存される機能です。マルチユーザー機能を使えば、ユーザーが変わっても、各種の設定を、手動で自分用に再設定する必要がなくなります。

また、子供用に、アカウントに制限を加えること(制限付きアカウント)で、イタズラ防止にもなります。

ユーザーアカウントの作成は、コントロールパネルの「ユーザーアカウント」から行います。



表示されるハードディスクの容量が、カタログや取扱説明書の表記より小さい



表記方法の違いで表示値が異なります

カタログや取扱説明書では、ハードディスク業界の慣習に従って、

1 GB(ギガバイト) = 1000 MB(メガバイト)

として換算した値が記載されています。

一方、Windowsのエクプローラなどでは、ソフトウェア業界の慣習に従って、

1 GB(ギガバイト) = 1024 MB(メガバイト)

として換算した値が表示されます。

こうした表記方法の違いにより、ハードディスクの容量の表示値が異なるわけです。

もちろん、これは表記上だけの問題で、実際のハードディスクの容量が増減しているわけではありません。



画面の文字が小さくて見にくいので大きくしたい



Windowsの文字の大きさを変更するときは

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「画面」をクリックします。



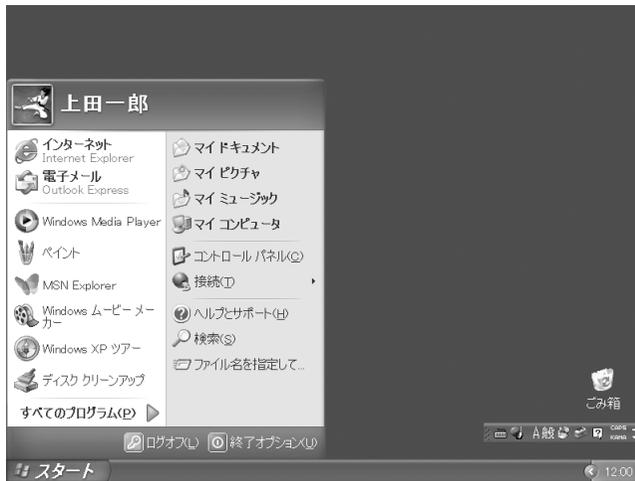
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

- 4 「デザイン」タブをクリックし、「フォントサイズ」の▼をクリックして「大きいフォント」または「特大フォント」を選択します。



- 5 [OK]をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。
画面の文字が大きくなって見やすくなります。

6 画面右上の  をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。



上の図は、「特大フォント」にしたときの画面です。



長時間使用していると、パソコン本体が熱くなる



バッテリーを充電していませんか？

バッテリー充電中に、バッテリーパックや、その周辺、バッテリーパックを取り付けた箇所の上部分が熱くなることがありますが、故障ではありません。



製品の品質上、特に問題はありませんので、そのままお使いください

パソコンを長時間使用していると、本体が熱くなることがあります。これは他のほとんどのパソコンと同じように、CPUやハードディスクなどが動作中に発する熱を、本体のキャビネットを通して外に放出する設計になっているためです。



かなり熱いと感じたときは

まず、パソコン本体内の放熱を妨げていないか確認してください。パソコンをじゅうたんや布団の上に置いたり、パソコンの周りに物を置いたりすると、通風孔がふさがれ、放熱が正常に行われなくなり、故障の原因にもなります。

いったん電源を切り、パソコン本体を冷ましてください。



触ってられないほど熱くなったときは

お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。



- ・冷却ファンの音が大きい
- ・電源を切ってもファンが回っている



省電力機能が働いていないか確認してください

電源が切れているのではなく、省電力機能が働いているだけかもしれません。以下の手順で、スタンバイ／休止状態から復帰させてみてください。

- ・スタンバイ：キーボードのいずれかのキーを押します。
- ・休止状態：電源ボタンを押します。



冷却ファンは、パソコン本体の内部の熱を逃すためのものです

高速でファンが回転するため、多少の風切音はします。ご了承ください。



お使いのパソコンによっては、電源を切っても熱が冷めるまで回り続けます

パソコン本体の内部温度が一定の温度に下がるまで冷却ファンは回転を続け、一定の温度に下がると止まります。



ファンが回ると画面が動かなくなるときは

お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください。点検・修理をご依頼ください。



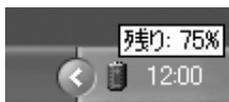
・バッテリーの使用時間が以前より短くなった ・バッテリー残量表示と実際との差が大きい



バッテリーの残量は確認できます

タスクバーの ()の上にマウスポインタを移動します。
バッテリーの残量がパーセント表示されます。

- : バッテリーパックを使って動作しているとき
- : ACアダプタを使って動作しているとき(バッテリーは充電中のとき)
- : ACアダプタを使って動作しているとき(バッテリーは満充電のとき)
このときはバッテリーが満充電なので残量は表示されません。



()をダブルクリックして、「バッテリーメーター」画面で確認することもできます。



残量を確認したら、画面右上の をクリックして「バッテリーメーター」画面を閉じます。



バッテリーの残量表示について

バッテリーの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。

タスクバーにバッテリー/AC電源のインジケータが表示されていないときは
タスクバーにバッテリー/AC電源のインジケータ(小さいアイコン)が表示されない(160 Pページ)を参照してください。



バッテリーパックを初期化してください

バッテリーの使用時間が短くなったと感じるときや、バッテリーの残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときは、バッテリーパックを初期化してください。

初期化のしかたはお使いのパソコンによって異なります。バッテリーパックの初期化について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



ご参考

バッテリーパックは消耗品です。充放電をくり返すうちにバッテリーが劣化し、使用時間が短くなってきます。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーパックをお買い求めいただき、交換してください。バッテリーパックの交換について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



使用しないときはACアダプタを抜き、バッテリーパックを取り外したほうがいい？



短期間なら取り付けたままの状態で大丈夫です

短期間であれば、ACアダプタを抜いたり、バッテリーパックを取り外したりする必要はありません。

バッテリーパックの寿命は、充放電の回数で決まりますので、寿命を延ばすためには、充放電の回数を減らすことが大切です。

バッテリーパックは、パソコンの電源を切っていれば放電しないと思われがちですが、ACアダプタを抜いた状態では常に自己放電しています。そのため、短期間であれば、パソコンにバッテリーパックを取り付け、ACアダプタを接続しておいたほうがバッテリーパックの寿命が長くなります。



- 音が出ない
- 音が大きすぎる



音量調節の連動について

音量調節つまみ、キーボード操作での音量調節、再生ソフトおよびWindowsでの音量調節は連動していない場合があります。調節してもお好みの音量にならない場合は、他の方法でも調節してみてください。



ヘッドホンを接続していないか確認してください

ヘッドホンが接続されていると、内蔵スピーカから音が出ません。



パソコン本体の音量調節つまみ、またはキーボードのキーで調節してください

パソコン本体に音量調節つまみがある場合は、つまみを回して音量を調節してください。パソコン本体に音量調節つまみがない場合は、キーボードのキーで調節します。**[Fn]** キーを押しながらファンクションキーの **[F3]** () または **[F4]** () キーを押します。

[Fn] + **[F3]** (): 音量を下げます。

[Fn] + **[F4]** (): 音量を上げます。

詳しくは取扱説明書(別冊)を参照してください。



再生ソフトで調節してください

Windows Media Player 8の場合:

Windows Media Playerの「音量」つまみを左右にドラッグして調節します。

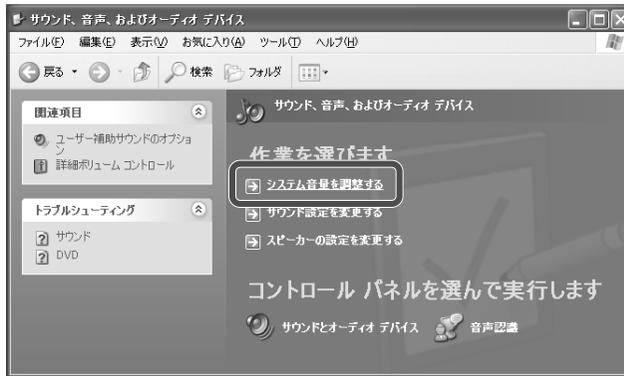


「音量」つまみ

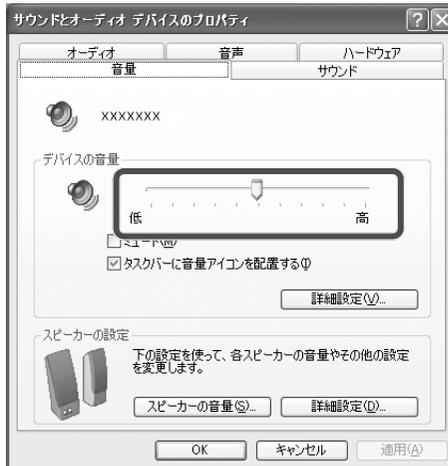


Windowsで調節してください

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「システム音量を調整する」をクリックします。



- 4 「デバイスの音量」のつまみを左右にドラッグして音量を調節します。

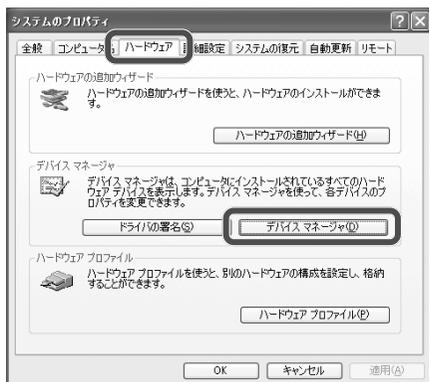


- 5 [OK]をクリックして「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面を閉じます。
- 6 画面右上の [X] をクリックして「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」画面を閉じます。

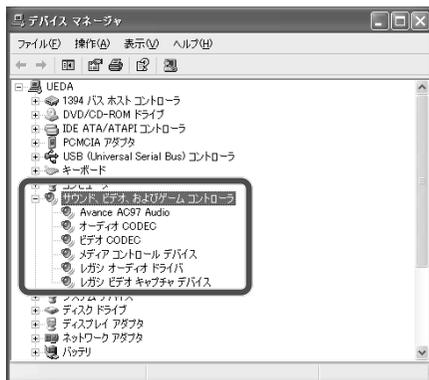


サウンドドライバが正常に動作しているか確認してください

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。



- 5 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をダブルクリックし、サウンドドライバが正しく表示されているか、! マークや×マークが付いていないかを確認します。



×マークが付いている場合は

サウンドドライバ名を右クリックし、「有効」をクリックします。

×マークが消えます。

画面右上の  をクリックして開いている画面を閉じます。

! マークが付いている場合や、まちがったサウンドドライバ名が表示されている場合は

サウンドドライバ名を右クリックし、「削除」をクリックします。

確認画面で[OK]をクリックしたあと、パソコンを再起動します。

サウンドドライバを再インストールしても音が出ない場合は、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。



セットアップユーティリティのすべての設定を初期値に戻してください

セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



音楽ファイルによってはWindows Media Player以外のアプリケーションソフトで再生する必要があります

たとえば、拡張子が「ra」の音楽ファイルはRealAudioファイルで、RealPlayerという再生ソフトが必要です。詳しくは、再生ソフトの説明書やオンラインヘルプ、Readme(お読みください)ファイルで確認してください。



ヘッドホンを接続して音が出ているか確認してください

ヘッドホンから音が出ている場合は、スピーカが故障している可能性があります。お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。

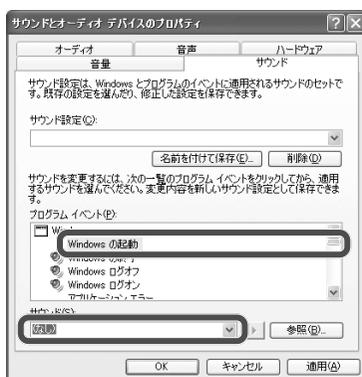


Windowsの起動音を消したい／変えたい／小さくしたい



「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」で変更してください

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「サウンド設定を変更する」をクリックします。
「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「Windowsの起動」をクリックして選択し、「サウンド」から「(なし)」を選択します。



- 5 [OK]をクリックして「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面を閉じます。
- 6 画面右上の をクリックして「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」画面を閉じます。
これで、Windowsの起動音が鳴らなくなります。

参考

- Windowsの起動音を変えるときは、手順4の画面で「サウンド」から好みの音を選択します。 をクリックすると、実際の音が聞けます。
- Windowsの起動音を小さくするときは、手順4の画面で「音量」タブをクリックし、「デバイスの音量」のつまみを左にドラッグします。



スピーカから「キーン」という音が出る (ハウリング)



音量を下げてください

音が出ない・音が大きすぎる(68ページ)を参照してください。



マイクを消音設定にしてください

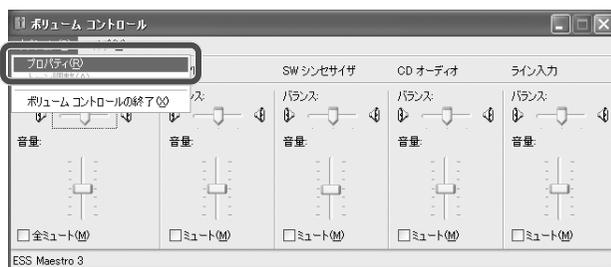
内蔵マイクが入力状態に設定されているときに音楽などを大きな音で再生すると、スピーカからの音に反応してハウリングを起こし、「キーン」という音が出ることがあります。このようなときは、次の手順に従って、マイクを消音設定にしてください。

1 タスクバーの をダブルクリックします。

音量を調節する画面が表示されます。

画面の名前や設定項目は、お使いのパソコンによって異なります。

2 メニューバーの「オプション」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



(機種によって画面が異なることがあります)

3 「音量の調整」欄の「再生」をクリックして選択します。



4 「表示するコントロール」欄の「マイク」をクリックしてチェックマークを付けます。



5 [OK]をクリックして「プロパティ」画面を閉じます。

6 「マイク」の「ミュート」をクリックしてチェックマークを付けます。



(機種によって画面が異なることがあります)

7 画面右上の  をクリックして画面を閉じます。



外部マイクを接続しているときは

マイクの位置や向きを調節し、スピーカから離してハウリングが起これないようにしてください。



定期的に「デスクトップクリーンアップウィザード」画面が表示される



デスクトップのクリーンアップ機能をオフにしてください

デスクトップのクリーンアップ機能は、一定期間使用していないデスクトップ上のファイルやショートカットを、自動的に片づけてくれる機能です。

ご購入時の設定がオンになっているため、タスクバーに、クリーンアップを促す表示が定期的に出ます。

表示させたくないときは、以下の操作で設定をオフにしてください。

1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。

「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「画面」をクリックします。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 「デスクトップ」タブをクリックし、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。



「デスクトップ項目」画面が表示されます。

- 5** 「60日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する」をクリックしてチェックマークを外します。



- 6** [OK]をクリックして「デスクトップ項目」画面を閉じます。
- 7** [OK]をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。
- 8** 画面右上の **×** をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。
これで、デスクトップのクリーンアップ機能がオフになりました。



・パソコンの動作が遅いように感じる ・もっと快適にパソコンを動かしたい



「パフォーマンス優先」にすると、負荷が減って、少し快適に使えます

Windows XPの画面デザインにこだわりがないなら、「パフォーマンスオプション」で「パフォーマンス優先」にしましょう。視覚効果がシステムに与える負荷が軽くなるので、そのぶんパソコンが少し快適に使えます。

1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

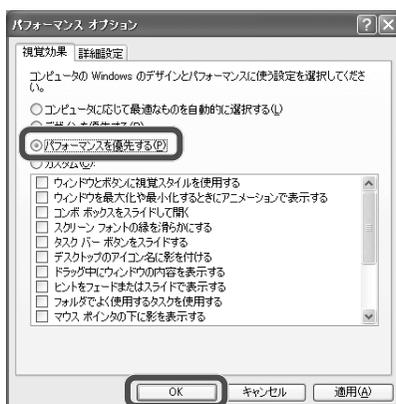
2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「視覚効果を調整する」をクリックします。

「パフォーマンスオプション」画面が表示されます。

4 「パフォーマンスを優先する」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。



- 5 画面右上の **X** をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。
画面デザインが変わります。

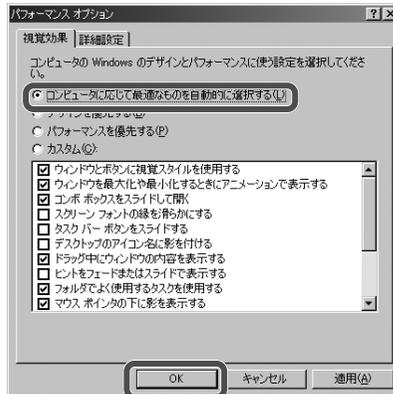


元の画面デザインに戻すときは

[スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「システム」アイコンをダブルクリックし、「詳細設定」タブ上の「パフォーマンス」欄で[設定]をクリックします。

「パフォーマンスオプション」画面が表示されるので、「コンピュータに応じて最適なものを自動的に選択する」を自動的に選択する」を選び、[OK]をクリックすると、元の画面デザインに戻ります。





新しいコントロールパネルが使いにくいので表示を変更したい



クラシック表示に切り替えてください

Windows XPで、コントロールパネルの画面構成は大きく変わりました。Windows 98やWindows Me搭載のパソコンから買い替えられた場合には、「どうも使いにくい」と感じる方もいらっしゃるでしょう。そういう方は、以下の手順でクラシック表示に切り替えて、使い慣れたコントロールパネルを使ってください。

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「コントロールパネル」欄の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。



従来形式のコントロールパネルが表示されます。



元に戻すときは

手順2で「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックすると、元の画面デザインに戻ります。



新しいスタートメニューが使いにくいので表示を変更したい



クラシック表示に切り替えてください

Windows XPでは、スタートメニューの表示が変更されています。新しいスタートメニューが使いにくい場合は、画面の表示形式をWindows Me, Windows 98などに変更できます。

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

- 2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックします。



4 「[スタート]メニュー」タブをクリックします。

5 「クラシック[スタート]メニュー」をクリックし、「適用」をクリックします。



6 さらに細かい変更をする場合は「カスタマイズ」ボタンをクリックし、詳細を設定して「OK」をクリックします。

7 「OK」をクリックして「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」画面を閉じます。

8 画面右上の をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。



新しい画面のテーマが使いにくいので表示を変更したい



クラシック表示に切り替えてください

Windows XPでは、画面のテーマの表示が変更されています。新しい画面のテーマが使いにくい場合は、画面の表示形式をWindows MeやWindows 98などのように変更できます。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

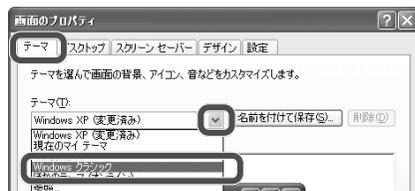
2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「テーマを変更する」をクリックします。



4 「テーマ」タブをクリックし、「テーマ」欄の▼をクリックして、「Windows クラシック」をクリックします。

「サンプル」欄にプレビューが表示されます。



5 [OK]をクリックします。
「お待ちください」のメッセージが表示された後、テーマが切り替わります。

6 画面右上の ✕ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。



- ・フロッピーディスクに保存できない
- ・「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしても、ディスクの内容が表示されない



フロッピーディスクをDOS/V用にフォーマット(初期化)してください

他のOS用にフォーマット(初期化)されているフロッピーディスクは使えません。DOS/V用にフォーマット(初期化)してからお使いください。フォーマット(初期化)の方法は、取扱説明書(別冊)を参照してください。



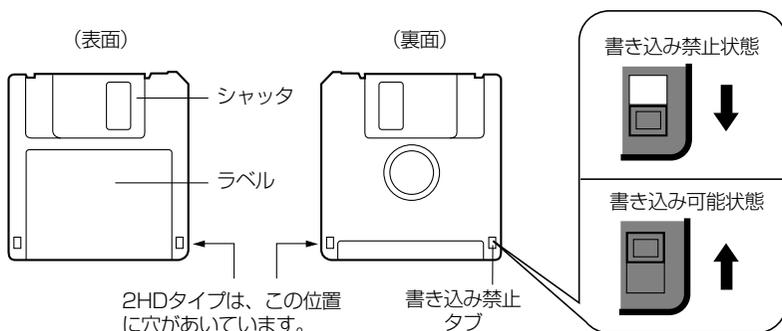
フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っているか確認してください

フロッピーディスクが入っていない場合は、フロッピーディスクドライブに入れてください。それでもディスクの内容が表示されないときは、いったんディスクを取り出して、もう一度ドライブに入れてください。



フロッピーディスクのライトプロテクト(書き込み禁止)を解除してください

書き込み禁止タブが開いている場合は、ライトプロテクト(書き込み禁止)状態です。書き込み禁止タブをスライドさせて閉め、書き込み可能な状態にしてください。



フロッピーディスクの空き容量を確認してください

フロッピーディスクの空き容量が足りないときは、不要なファイルを削除するか、別のフロッピーディスクを使ってください。フロッピーディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。



ご参考

アプリケーションソフトによっては、保存の際にデータ保護のため一時的にファイルサイズの倍の空き容量を必要とするものがあります。



外付けフロッピーディスクドライブを使っているときは、接続を確認してください

- 外付けのフロッピーディスクドライブをお使いの場合は、ケーブルが正しくコネクタに接続されているかどうか、確認してください。
USBタイプの外付けフロッピーディスクドライブを、USBハブ経由で使っている場合は、USBハブとの接続や、USBハブの電源が正しく接続されているかどうか確認してください。
- 外付けフロッピーディスクドライブのドライバをパソコンにインストールしているか確認してください。
ドライバのインストール方法は、ドライブの説明書を参照してください。または、メーカーにお問い合わせください。



ドライブ名やファイル名の指定に誤りがないか確認してください

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」でプログラムを実行するときなどは、ドライブ名やファイル名の指定に誤りがないか確認してください。



フロッピーディスクに異常がある可能性があります

フロッピーディスクがフォーマットされていないか、壊れている可能性があります。フォーマットするか、別のフロッピーディスクをセットして使用できるか確認してください。



フロッピーディスクドライブの書き込みヘッドをクリーニングしてください

市販のクリーニングキットを使用して、フロッピーディスクドライブのヘッドをクリーニングすることをお勧めします。



CD・DVDドライブでのデータの読み取りやファイルの再生ができない／CD-R/RWに書き込めない



CD・DVDドライブの接続を確認してください

外付けのCD・DVDドライブを使用している場合は、パソコンに正しく接続されているか確認してください。



ディスクが正しくセットされているか確認してください

ディスクは、ラベル面を上にしてカチッと音がするまでセットしてください。



ドライブ名やファイル名の指定に誤りがないか確認してください

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」でプログラムを実行するときなどは、ドライブ名やファイル名の指定に誤りがないか確認してください。



ディスクに汚れや傷がないか確認してください

再生しようとしているディスクに汚れや傷がある場合、正しく再生できないことがあります。



ディスクやファイルの種類を確認してください

再生しようとしているディスクは、パソコンのディスクドライブで使用できる種類のディスクか確認してください。たとえば、CDドライブでは、DVDディスクは、再生できません。使用可能なディスクの種類については、取扱説明書(別冊)を参照してください。また、パソコンにインストールされているアプリケーションソフトで再生できるファイル形式か確認してください。再生するために専用のソフトウェアのインストールが必要な場合があります。



CDやDVDをセットしても自動再生しない

お使いのパソコンのドライブや使用できるディスクの種類は、取扱説明書(別冊)を参照してください。



CDやDVDの自動再生を選択しているかどうか確認してください

次の手順でドライブのプロパティを確認します。

- 1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
- 2 CDドライブ/DVDドライブのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「自動再生」タブをクリックします。
- 4 コンテンツ(CDやDVDの内容)の種類に応じて、「動作」欄から実行する動作を選択します。
「動作を毎回選択する」設定にもできます。



上の画面は、音楽CDをセットすると自動的に再生するように設定した一例です。

- 5 [OK]をクリックしてCDドライブ/DVDドライブのプロパティ画面を閉じます。
- 6 画面右上の をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。



DVDビデオディスクを再生できない



パソコンがDVDドライブを内蔵しているか確認してください

DVDビデオディスクを再生するためには、パソコンがDVDドライブを内蔵し、DVDビデオディスクの再生に対応しているソフトウェアがインストールされている必要があります。お使いのパソコンのドライブや使用できるディスクの種類は、取扱説明書(別冊)を参照してください。



CD-R/RWディスクはどのようなものを購入すればいい?



取扱説明書記載の推奨ディスクをお使いください

使用できるディスクの種類については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



CD-R/RWドライブで作成した音楽CDが、自宅や車のCDプレーヤーで再生できない



CDプレーヤーがCD-R/RWの再生に対応していない可能性があります

パソコンのCD-R/RWドライブと一般のCDプレーヤーは、データの読み取り方が異なるため、完全な互換性があるわけではありません。また、通常のCDプレーヤーはCD-RWを再生できません。

お使いのCDプレーヤーがCD-R/RWの再生に対応しているかどうかは、CDプレーヤーの説明書を参照してください。



CDやDVDが取り出せなくなった



外付けCDドライブ／外付けDVDドライブの電源がオフになっていないか確認してください

CDドライブ／DVDドライブに電源が入っていないと、ドライブは動作しません。ドライブの電源をオンにして、CDドライブ／DVDドライブを動作できる状態にしてください。



CDドライブ／DVDドライブがパソコン本体に内蔵されているときは

パソコンの電源を入れてください。ドライブのみを動作させることはできません。



CD-R/RWライティングソフトなど、ドライブを制御するソフトウェアを起動していないか確認してください

CD-R/RWライティングソフトの種類によっては、ドライブを制御しているアプリケーションソフトがあり、アプリケーションソフトを終了しないと、ドライブ内にあるディスクが取り出せないことがあります。この場合は、アプリケーションソフトを終了するか、アプリケーションソフトのメニューからディスクを取り出してください。



どうしても取り出せないときは強制的にトレイを開けます

パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先のとがったもので押してください。

詳しくは、取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらを参照してください。

外付けドライブの場合は、外付けドライブの説明書を参照してください。



ご注意

通常はこの方法で開けないでください。



増設機器や周辺機器の機能が働かない



機器が正しく取り付けられているか確認してください

周辺機器の説明書を参照して正しく接続されているか確認してください。



周辺機器がWindows XPに対応しているか確認してください

周辺機器の説明書を参照してWindows XPでの使用に対応しているか確認してください。



拡張した機器に必要なデバイスドライバが組み込まれているか確認してください

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

5 **!** マークや×マークが付いていないかを確認します。

×マークが付いている場合は

機器名を右クリックし、「有効」をクリックします。

×マークが消えます。

画面右上の  をクリックして開いている画面を閉じます。

! マークが付いている場合や、まちがった機器名が表示されている場合は

機器名を右クリックし、「削除」をクリックします。

周辺機器の説明書を参照してデバイスドライバを再インストールしてください。



接続した通信機器が正常に動作しない



省電力機能が働いていないか確認してください

Windowsの電源オプションで「システムスタンバイ」と「システム休止状態」が「なし」になっているか確認してください。それでも通信できないときは、「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定してください。消費電力を節約する設定について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



「電源オプションのプロパティ」画面は、以下の手順で表示させます。

- 1** [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2** 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3** 「電源オプション」をクリックします。



プリンタから印刷できない



お使いのパソコンに対応したプリンタをお使いください

Windows XPに対応しているプリンタをお使いください。

対応していないプリンタでも、プリンタドライバ(プリンタを使用できるようにするためのソフトウェア)を更新すれば使用可能になるものもあります。詳しくは、プリンタメーカーのホームページをご覧ください。



プリンタの用紙や、トナー、インクの残量を確認してください

プリンタの説明書に従って、用紙やトナー、インクを補充してください。



プリンタを印刷可能な状態(オンライン)にしてください

プリンタの説明書に従って、プリンタを印刷可能な状態(オンライン)に設定してください。



プリンタの電源を確認してください

- プリンタの電源が入っていない場合は、プリンタの説明書に従って、電源を入れてください。
- プリンタの電源を入れた後で、パソコンの電源を入れてください。
- Windowsを再起動してください。



接続ケーブルを確認してください

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルで接続してください

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。

また、長すぎるケーブルを使うと、信号がプリンタにうまく届かないことがあります。できるだけ2m以内のケーブルをお使いください。

接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしている可能性があります

取扱説明書(別冊)のプリンタとの接続についての説明と、プリンタの説明書を確認して、パソコンとプリンタを接続し直してください。



プリンタを接続しているコネクタを確認してください

USBコネクタに接続している場合

- 他の周辺機器を外し、プリンタのみで使用してください。他の周辺機器とプリンタが競合している場合があります。
- マウスなどの別のUSB機器を接続して、USBコネクタが正常に動作しているか確認してください。USBコネクタが動作していない場合は、USBのドライバを再インストールしてください。(P.97ページ)
- パソコンの電源を入れる前に、USBケーブルを差ししてみてください。
- Windowsを起動した状態で、USBケーブルを差し直してみてください。

プリンタコネクタに接続している場合

- 他の周辺機器を外してください。
- 別のプリンタを接続して、プリンタコネクタが正常に動作しているか確認してください。
- セットアップユーティリティで、プリンタコネクタの設定が無効になっていないか確認してください。
セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



プリンタドライバを確認してください

使用したいプリンタのプリンタドライバをインストールしてください。新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバをインストールする必要があります。詳しくは、プリンタの説明書を参照してください。

また、すでにインストール済みの場合には、そのプリンタドライバのメーカー名およびプリンタ名が、お使いのプリンタと合っているかどうか確認してください。



対応OS

ドライバをインストールするときは、メーカー名および機種名の他に、お使いのパソコンのOS(Windows XP)に対応しているかも確認してください。

プリンタドライバの設定を確認してください

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。詳しくは、プリンタの説明書を参照してください。



ご注意

プリンタは、製品により使用方法が異なります。プリンタの説明書をよく読んでご使用ください。不明な点がある場合は、プリンタのメーカーにお問い合わせください。



- 正しく印刷できない
- プリンタから意味不明の文字が印字される



接続ケーブルやプリンタコネクタを確認してください

プリンタをプリンタコネクタに接続して使用しているときに、意味不明の文字が印刷される場合があります。

- 接続ケーブルを確認してください(☞91ページ)を参照してください。
- プリンタコネクタに接続している場合(☞前ページ)を参照してください。



テスト印刷をしてください

テスト印刷機能を使ってプリンタのテストを行ってください。テスト印刷が正しくできないときは、プリンタの故障が考えられますので、プリンタのメーカーにご相談ください。ただし、テスト印刷できないプリンタもあります。

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「プリンタとFAX」をクリックします。
- 4 テスト印刷するプリンタのアイコンを選び、「プリンタのタスク」欄の「プリンタのプロパティの設定」をクリックします。
- 5 [テストページの印刷]をクリックします。



テスト印刷が始まります。

- 6 正しくテスト印刷された場合は、確認画面で[OK]をクリックします。
正しく印刷されなかった場合は[トラブルシューティング]をクリックし、画面に表示されるメッセージに従って問題を解決してください

7 [OK]をクリックしてプリンタのプロパティ画面を閉じます。

8 画面右上の  をクリックして「プリンタとFAX」画面を閉じます。



使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」に設定されていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」に設定されていないと、プリンタから印刷されなかったり、予期しない内容が印字されることがあります。

このようなときは、以下の手順でプリンタの設定を行ってください。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

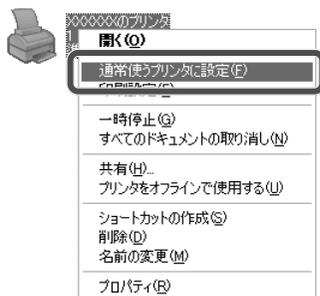
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「プリンタとFAX」をクリックします。

4 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。



5 画面右上の  をクリックして「プリンタとFAX」画面を閉じます。

これで設定が終了しました。

テスト印刷を行い、正常に印刷されるか確認してください。(☞前ページ)



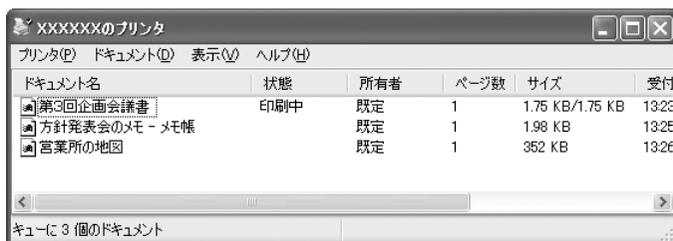
希望する用紙サイズが選択できない

- プリンタが印刷したい用紙サイズに対応しているか、プリンタの説明書で確認してください。
- 使用しているアプリケーションソフトの「ページ設定」などの用紙設定に関するメニューから、用紙サイズを確認して、設定し直してください。設定が変更できない場合は、プリンタを接続してから設定してください。
- 設定を変更したり接続を確認した場合は、Windowsを再起動してください。
- プリンタドライバを再インストールしてください。(☞92ページ)



印刷を中止したいときは

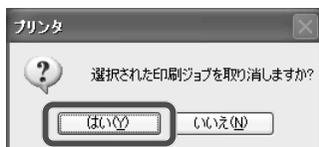
- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「プリンタとFAX」をクリックします。
- 4 印刷しているプリンタのアイコンをダブルクリックします。
印刷待ちになっているドキュメントの一覧が表示されます。



- 5 一覧から、印刷を中止したいドキュメントをクリックして選択します。
- 6 メニューバーの「ドキュメント」をクリックし、「キャンセル」をクリックします。



- 7 確認画面で、[はい]をクリックします。



印刷が中止されます。ただし、すでに印刷が始まっているときは中止できない場合があります。

- 8 画面右上の をクリックしてプリンタの画面を閉じます。
- 9 画面右上の をクリックして「プリンタとFAX」画面を閉じます。



ご参考

印刷待ちになっているドキュメントの一覧画面は、タスクバーの をダブルクリックしても表示されます。



今まで使っていた周辺機器をWindows XPでも使用できますか？



周辺機器がWindows XPでも使用できるか確認してください

今まで使用してきたTA(ターミナルアダプタ)などの周辺機器がWindows XPでも使用できるかは、その周辺機器の製造元に問い合わせてください。もし、Windows XPでの使用に対応していれば、周辺機器の製造元よりWindows XP対応ドライバが提供されている場合があります。詳細は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。



USBコネクタに接続した周辺機器が動作しない



お使いのパソコンに対応したUSB対応周辺機器をお使いください

Windows XPに対応しているUSB対応周辺機器をお使いください。
対応していない周辺機器でも、ドライバ(周辺機器を使用できるようにするためのソフトウェア)を更新すれば使用可能になるものもあります。詳しくは、周辺機器メーカーのホームページをご覧ください。



USBコネクタの設定を確認してください

USBコネクタに接続した周辺機器が動作しない場合は、セットアップユーティリティでUSBコネクタが有効になっているか確認する必要があります。USBコネクタが無効になっている場合は、有効になるように設定を変更してください。セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



周辺機器のドライバをインストールしてください

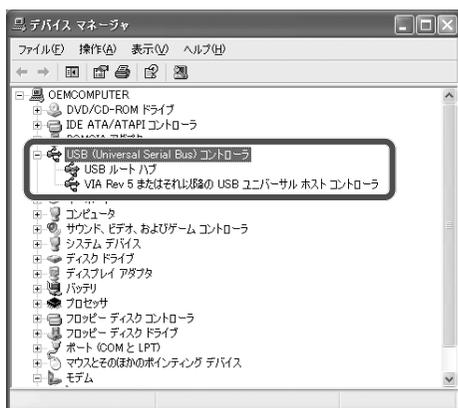
接続する周辺機器によっては、ドライバをインストールする必要があります。詳しくは、周辺機器の説明書を参照していただくか、または周辺機器メーカーに直接お問い合わせください。



USBコネクタが正常に動作しているか確認してください

次の手順に従って、USBコネクタが正常に動作しているか確認してください。

- 1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 5 「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックし、USBデバイスが正しく表示されているか、**!** マークや×マークが付いていないかを確認します。



×マークが付いている場合は

USBデバイス名を右クリックし、「有効」をクリックします。
×マークが消えます。
画面右上の  をクリックして開いている画面を閉じます。

! マークが付いている場合や、まちがったUSBデバイス名が表示されている場合は

USBデバイス名を右クリックし、「削除」をクリックします。
確認画面で[OK]をクリックしたあと、パソコンを再起動します。
USBドライバが自動的に再セットアップされます。



Mebiusで使えない周辺機器の可能性がります

他の種類のパソコン用製品の可能性があります。周辺機器の説明書を参照していただくか、または周辺機器メーカーに直接お問い合わせください。インターネットをご活用のお客様は、下記のメビウスサポートページの周辺機器接続情報もご確認ください。

<http://support.sharp.co.jp/mebius/>



デジタルカメラの画像をパソコンで読みとりたい



デジタルカメラのメモ리카ードをパソコンで読みとるには

スマートメディア、コンパクトフラッシュカードやSDカードなど、デジタルカメラで使われているメモ리카ードのタイプのスロットが、お使いのパソコンに装備されている場合は、メモ리카ードをそのタイプのカードスロットに差し込みます。パソコンでメモ리카ードに保存された画像を読みとることができます。

デジタルカメラで使われているメモ리카ードのスロットが、お使いのパソコンに装備されていない場合は、市販のPCカード型アダプタかカードリーダーが必要となります。アダプタやカードリーダーの種類については、お使いのデジタルカメラの説明書を参照してください。

- 1** メモ리카ードをPCカード型アダプタに装着します。
- 2** メモ리카ードを装着したPCカード型アダプタを、パソコンのPCカードスロットに差し込みます。
パソコンでメモ리카ードに保存された画像を読みとることができます。



パソコンにケーブルをつないで読みとるには

デジタルカメラとパソコンをケーブルで接続して画像を読みとることもできます。必要となるケーブルの種類やアプリケーションソフトは、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの説明書を参照してください。



デジタルカメラの画像を加工したい／ホームページで公開したい

デジタルカメラの画像を加工したり、ホームページで公開したりするには、画像編集用のアプリケーションソフトで画像を編集する必要があります。

お使いのパソコンによっては、画像編集用のアプリケーションソフトがインストールされている場合があります。詳しくは、ソフトウェアガイド(画面で見るマニュアル)を参照してください。

画像編集用のアプリケーションソフトがインストールされていない場合は、様々な種類のものが市販されていますので、ご自分の用途にあったものをお選びください。また、お使いのパソコンによっては、市販品の画像編集アプリケーションソフトが動作しない場合があります。ご購入の前に確認の上、販売店や製造元にご相談ください。



外部ディスプレイに何も表示されない／ 表示される画面が乱れる



外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください



外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください

外部ディスプレイの説明書を参照して、正しく接続されているか確認してください。



表示先の設定を確認してください

[Fn] + [F5] (☺) キーを数回押し、表示先が内蔵ディスプレイになっていないか確認してください。

[Fn] + [F5] (☺) キーで表示先を切り替えると、まれに画面が正常に表示されないことがあります。再度 [Fn] + [F5] (☺) キーで表示先を元に戻し、Windows XPのコントロールパネルの「デスクトップの表示とテーマ」の「画面」で表示先を変えてください。外部ディスプレイへの表示について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



画面の領域の設定を確認してください

画面の領域の設定が外部ディスプレイの解像度より大きくなっていないか確認してください。



ラジオやテレビなどから離して使用してください

ラジオやテレビなど強い磁界が発生するものから、十分離して設置してください。電源からノイズが発生することがありますので、ラジオやテレビなどと別のコンセントに接続してください。



外部ディスプレイに画面が切り替わらない

ソフトウェアにより画面の表示先が切り替わらないことがあります。

動画の再生中やゲームソフトの起動時は、[Fn] + [F5] (☺) キーで画面の表示先が切り替わらないことがあります。そのときは動画やゲームソフトを終了してください。



別の切り替え方法を実行してください

Windows XPのコントロールパネルの「デスクトップの表示とテーマ」の「画面」で、表示先を切り替えてください。外部ディスプレイへの表示について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



ネットワーク(LAN)に接続できない



LANケーブルが抜けていないか確認してください

LANジャックにLANケーブルのコネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。
ネットワーク機器の接続や構成について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



LANケーブルの選択

2台のパソコンを直接ケーブルで接続する場合(自宅のデスクトップパソコンとノートパソコンを接続するときなど)は、クロスケーブルで接続します。

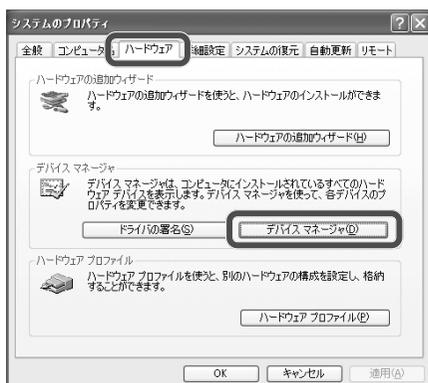
ハブを経由してパソコンを接続する場合(会社のLANにノートパソコンを接続するときなど)は、ストレートケーブルで接続します。

LANケーブルの種類については、販売店などでご確認ください。

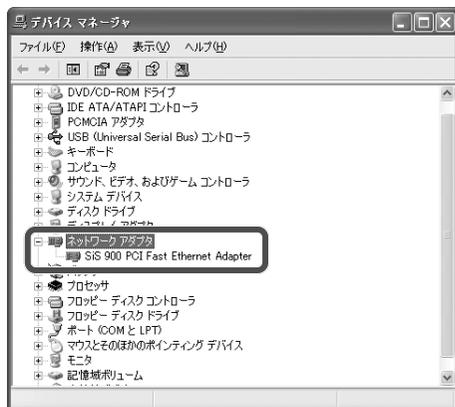


LANジャック(内蔵)や、PCカードスロットに接続したLANカードが正常に動作しているか確認してください

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。



- 5 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、ネットワークアダプタ名が正しく表示されているか、**!** マークや×マークが付いていないかを確認します。



×マークが付いている場合は

ネットワークアダプタ名を右クリックし、「有効」をクリックします。

×マークが消えます。

画面右上の  をクリックして開いている画面を閉じます。

! マークが付いている場合や、まちがったネットワークアダプタ名が表示されている場合は

ネットワークアダプタ名を右クリックし、「削除」をクリックします。

確認画面で[OK]をクリックしたあと、パソコンを再起動します。

お使いのパソコンにLANジャックが搭載されている場合は、ネットワークアダプタのドライバが自動的に再セットアップされます。

LANカードをお使いの場合は、ネットワークアダプタのドライバを再インストールしてください。詳しくは、LANカードの説明書を参照してください。

対応OS

ドライバをインストールするときは、メーカー名と機種名のほかに、お使いのパソコンのOS(Windows XP)に対応しているかも周辺機器のメーカーに確認してください。



ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります

ネットワークの設定を確かめてください。詳しくは、取扱説明書(別冊)の故障かな?と思ったらにある通信に関するトラブルを参照してください。



「ネットワークセットアップウィザード」でLAN接続の再設定をしてください

ネットワークの設定は、職場などのネットワーク環境に合わせて行う必要があります。ネットワーク機器の接続や構成について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。また、設定内容については、必ずネットワーク管理者に確認するようにしてください。

1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

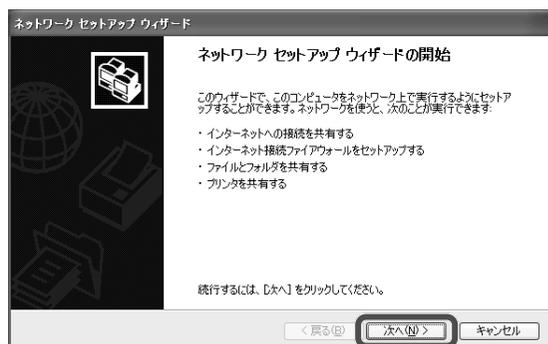
2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

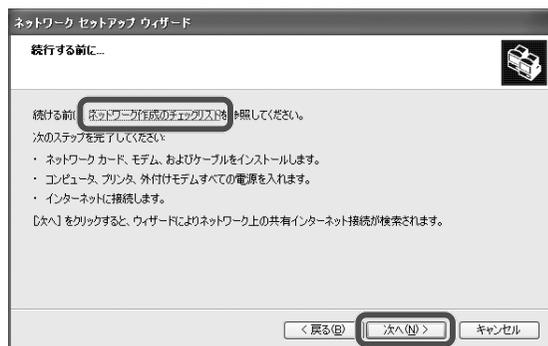
3 「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」をクリックします。

「ネットワークセットアップウィザード」画面が表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

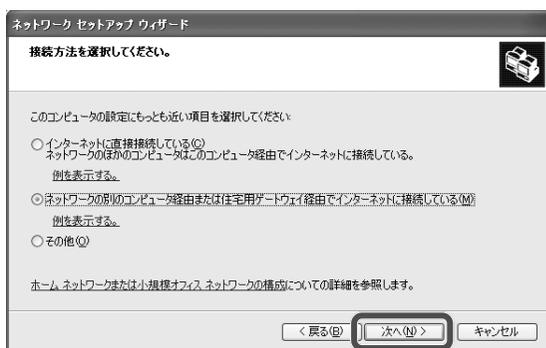


5 「ネットワーク作成のチェックリスト」をクリックして内容を確認し、「次へ」をクリックします。



ネットワーク上の共有インターネット接続が自動的に検索されます。

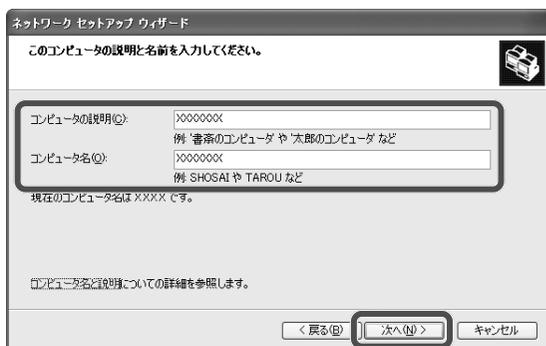
6 接続方法をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。



パソコンに複数の接続設定があるときは、どの設定をネットワークに用いるか判断する必要があります。

詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

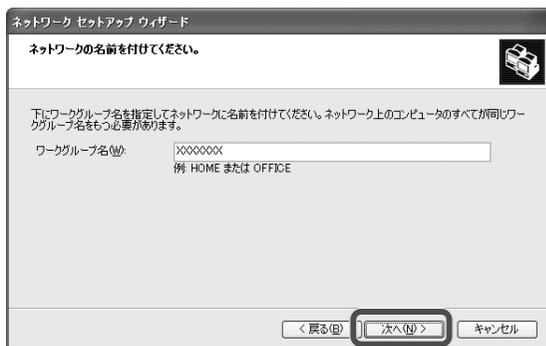
7 「コンピュータの説明」と「コンピュータ名」を入力し、[次へ]をクリックします。



コンピュータの説明: 必要に応じて補足説明を入力します。

コンピュータ名: 他のパソコンとは異なる名前をつけます。

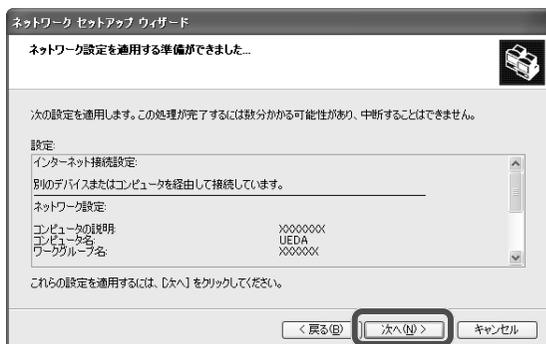
8 ネットワークの名前を入力し、[次へ]をクリックします。



ワークグループで使用している名前(他のパソコンと同じ名前)を入力します。

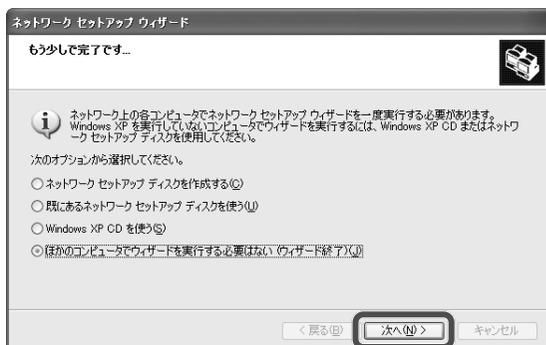
詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

9 設定の内容を確認し、[次へ]をクリックします。



しばらくお待ちください。

10 必要に応じていずれかを選び、[次へ]をクリックします。

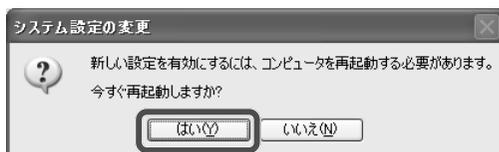


上図の例では、ウィザードを終了しています。

11 [完了]をクリックします。

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されます。

12 [はい]をクリックします。



これで、LANが利用できるようになりました。



- ・マウスポインタが思いどおりに動かない
- ・マウスポインタの感度がよすぎる



指先やパッド型ポインティングデバイス、マウスが汚れている可能性があります

指先やパッド型ポインティングデバイスに、水分(汗)や汚れが付いていたり、マウスのボールが汚れていると、正常に動作しません。水分(汗)や汚れを拭き取ってから操作してください。



静電気が起こっている可能性があります

パッド型ポインティングデバイスは静電気に弱いため、静電気を帯びた手で操作すると正常に動作しないことがあります。

操作する前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃しておいてください。



パッド型ポインティングデバイスの2カ所以上を、同時に触らないでください

パッド型ポインティングデバイスの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。



アプリケーションソフトの処理中は、反応しないことがあります

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理動作をしているため、ポインティングデバイスの操作は受け付けられません。故障ではありませんので、処理が終わるまでお待ちください。

しばらく待っても操作ができないときは

アプリケーションソフトに異常が発生して動かなくなった可能性があります(フリーズ)。

この場合は **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面を表示させます。問題のあるアプリケーションソフトを選んで[タスクの終了]をクリックし、強制終了させてください。(☞31ページ)



市販のマウスをお使いのときは、ドライバを確認してください

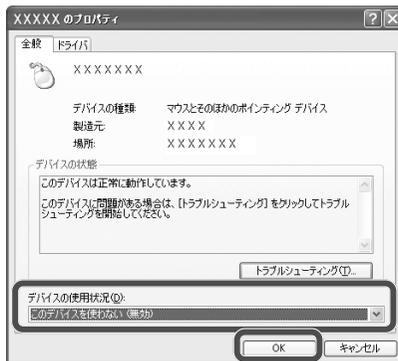
マウスのメーカーのホームページからお使いのマウス用のドライバ・ユーティリティをダウンロードし、ドライバ・ユーティリティを最新のバージョンに更新してください。



パッド型ポインティングデバイスとマウスの両方を有効にしているか確認してください

パッド型ポインティングデバイスに手が触れていると、マウスを動かしてもポインタがスムーズに動かないことがあります。使用しないポインティングデバイスは無効にしてください。

- 1 「[スタート]」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 5 「マウスとそのほかのポインティングデバイス」をダブルクリックし、無効にするポインティングデバイス名をダブルクリックします。
- 6 「デバイスの使用状況」の  をクリックして「このデバイスを使わない(無効)」を選択し、[OK]をクリックします。



- 7 画面右上の  をクリックして「デバイスマネージャ」画面を閉じます。
- 8 [OK]をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。
- 9 画面右上の  をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。



ご参考

お使いの機種によっては、ポインティングデバイスを無効にできないものがあります。



文字を入力していると、突然カーソルが移動してしまう



タッピング機能をオフにしてください

文字を入力しているとき、無意識のうちに指がパッド型ポインティングデバイスに触れて、カーソルが移動しているのかもしれませんが。

長文を入力するときなどは、以下の手順でタッピング機能をオフにしてください。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「マウス」をクリックします。

「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

4 「マウスのプロパティ」画面で「タップ」、または「タッピング」機能を使用しないように設定します。

「マウスのプロパティ」画面での設定方法は、お使いの機種やポインティングデバイス、マウスによって異なります。



たとえば、左の画面の場合は、次のように操作します。

- 「タッピング」タブをクリックし、「タッピング」をクリックしてチェックマークを外します。

また、画面が異なる場合は、次のように操作すると設定できることがあります。

- 「タップ」タブをクリックし、「タップにてクリック」と「タップしてドラッグ」をクリックしてチェックマークを外します。

5 [OK]をクリックして「マウスのプロパティ」画面を閉じます。

6 画面右上の をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。



ダブルクリックしにくい



ダブルクリックの速度を調節してください

ダブルクリックできない原因として、1回目と2回目のクリックの間で、マウスポインタがほんの少し動いてしまっている場合があります。マウスポインタを動かさずに、そのままの位置でクリックするようにしてください。

ダブルクリックの速度を調節するときは、以下の手順で設定を変更してください。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

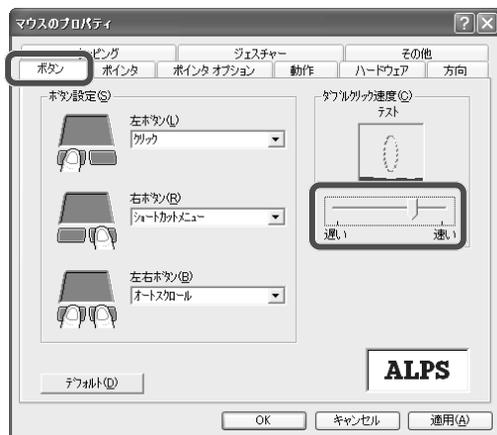
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「マウス」をクリックします。

「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

4 「マウスのプロパティ」画面でダブルクリックの速度を設定します。

「マウスのプロパティ」画面での設定方法は、お使いの機種やポインティングデバイス、マウスによって異なります。



たとえば、左の画面の場合は、次のように操作します。

- 「ボタン」タブをクリックし、「ダブルクリック速度」のつまみをドラッグして好みの速度に調節します。

また、画面が異なる場合は、次のように操作すると設定できることがあります。

- 「ボタン」タブをクリックし、「ダブルクリックの速度」のつまみをドラッグして好みの速度に調節します。

5 [OK]をクリックして「マウスのプロパティ」画面を閉じます。

6 画面右上の をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。



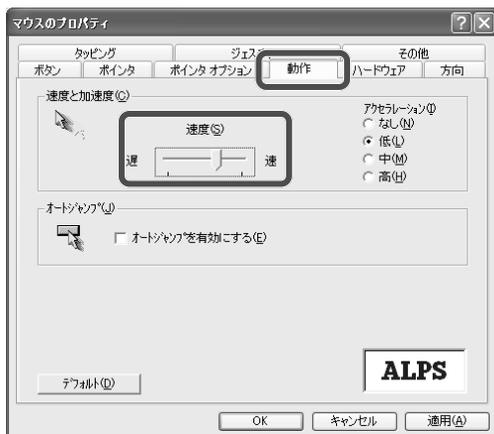
マウスポインタの動きが遅い／速い



ポインタの速度を調節してください

ポインタの動く速度を調節するときは、以下の手順で設定を変更してください。

- 1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「マウス」をクリックします。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「マウスのプロパティ」画面でポインタの速度を設定します。
「マウスのプロパティ」画面での設定方法は、お使いの機種やポインティングデバイス、マウスによって異なります。



たとえば、左の画面の場合は、次のように操作します。

- 「動作」タブをクリックし、「速度と加速度」のつまみをドラッグして好みの速度に調節します。

また、画面が異なる場合は、次のように操作すると設定できることがあります。

- 「ポインタオプション」タブをクリックし、「速度」のつまみをドラッグして好みの速度に調節します。

- 5 [OK]をクリックして「マウスのプロパティ」画面を閉じます。
- 6 画面右上の **X** をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。



キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない



アプリケーションソフトを終了してください

使用中のアプリケーションソフトを終了してください。詳しくは、アプリケーションソフトを終了してください(☞31ページ)を参照してください。



アプリケーションソフトを終了しても、画面が動かなくなって電源が切れないときは

Windowsを強制終了して再起動してください。詳しくは、アプリケーションソフトを終了しても、画面が動かなくなって電源が切れないときは(☞32ページ)を参照してください。



変な文字が表示されたり、文字の向きがおかしい



表示文字コードが誤って選択されている可能性があります (ホームページ閲覧時)

ホームページが文字化けしている場合は、表示文字コードの設定を変更してみてください。Internet Explorer 起動後にメニューバーの「表示」をクリックし、「エンコード」-「日本語(自動選択)」をクリックします。ただし、表示しているホームページによっては、文字化けが直らないこともあります。



送受信したメールが文字化けしているときは

メールが文字化けしている(☞150ページ)を参照してください。



画面の文字が小さくて見にくいので大きくしたい



Windowsの文字の大きさを変更するときは

画面の文字が小さくて見にくいので大きくしたい(☞62ページ)を参照してください。



Microsoft Internet Explorerで表示するホームページの文字の大きさを変更するときは

Microsoft Internet Explorer 起動後に、メニューバーの「表示」をクリックし、「文字のサイズ」をクリックして、サブメニューから文字の大きさを選択します。

ただし、ホームページを提供する側で、文字の大きさを指定している場合や、画像ファイル内の文字の大きさは変更できません。



キーボードで押したとおりの文字が入力できない(刻印されているのとは異なる文字が表示される)



Caps Lockランプが点灯していないか確認してください

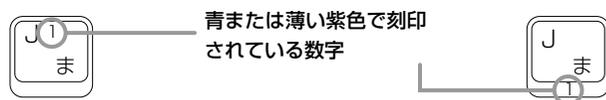
Caps Lockランプが点灯している間は、**Shift** キーを押していないときでも大文字が入力されます。

元に戻すには、**Shift** + **Caps Lock** キーを押して、Caps Lockランプを消します。
Caps Lockランプの位置については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



Num Lockランプが点灯していないか確認してください

Num Lockランプが点灯している間は、青または薄い紫色で刻印されている数字や記号が入力されます。



元に戻すには、**Fn** + **Insert** (**NumLk**) キーを押して、Num Lockランプを消します。
Num Lockランプの位置については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



入力モードを確認してください

入力モードには日本語入力と英字入力があります。モードを切り替えたいときは、**Alt** + **半角/全角** (漢字) キーを押してください。



IME2002の言語バー表示

英字入力モードのときは、言語バーのアイコンが **A** になり、日本語入力モードのときは **あ** になっています。

日本語は、かなでもローマ字でも入力できます。かな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、**Crtl** + **英数** キー、または **Alt** + **カタカナひらがな** (ローマ字) キーを押してください。

IME2002の場合



ローマ字入力状態のときには、右端の記号が **CAPS KANA** になり、かな入力状態のときには **CAPS KANA** になります。



キーボードの種類が「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」に設定されていない可能性があります

キーボードの刻印どおりに入力できない場合、キーボードの種類が「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」以外、たとえば「101/102 英語キーボード」に設定されていることがあります。下記の手順に従って、キーボードの種類を「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」に変更してください。

1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

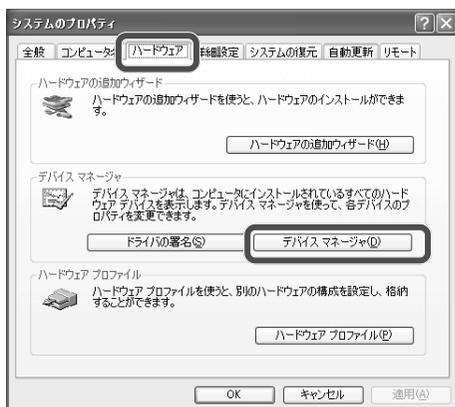
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。



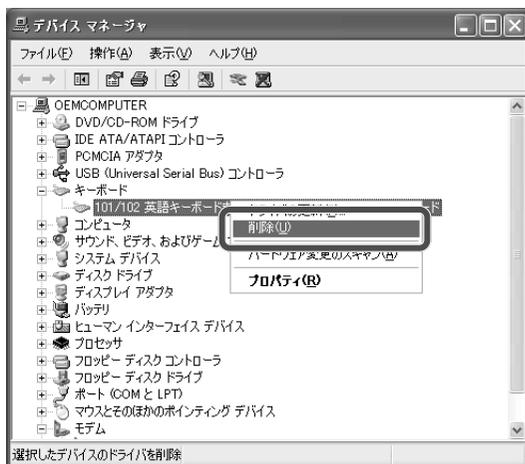
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。



5 「キーボード」をダブルクリックします。

- 6** 「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」以外のものが表示されているときは、キーボードデバイスを右クリックし、「削除」をクリックします。



「警告: システムからこのデバイスを削除しようとしています。」と表示されます。

- 7** [OK]をクリックします。

「ハードウェアの削除を完了するには、コンピュータを再起動しなければなりません。今コンピュータを再起動しますか?」と表示されます。

- 8** [はい]をクリックします。

再起動後に、「新しいデバイスのインストールが完了しました。……新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されます。

- 9** [はい]をクリックします。

再起動後に新しいハードウェアとして、「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」がインストールされます。

ここまでの操作で、キーボードの刻印どおりに入力できるか確認してください。問題が解決しないときは、下記の説明を参照してください。

手順9で「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」がインストールされなかったときは

以下の手順で手動設定する必要があります。

- 1** [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

- 2** 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

- 3** 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

- 4** 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

5 「キーボード」をダブルクリックします。

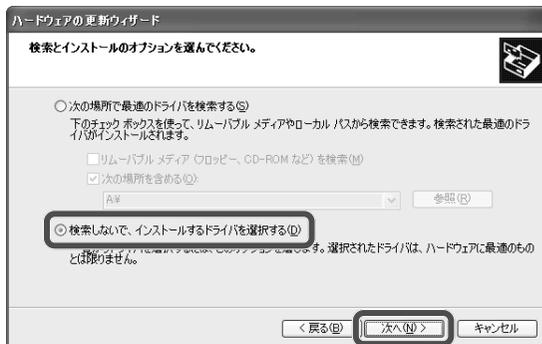
6 キーボードデバイスを右クリックし、「ドライバの更新」をクリックします。



しばらくすると、「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。

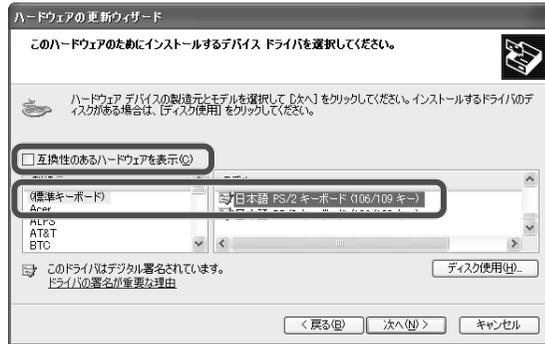
7 「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。

8 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。



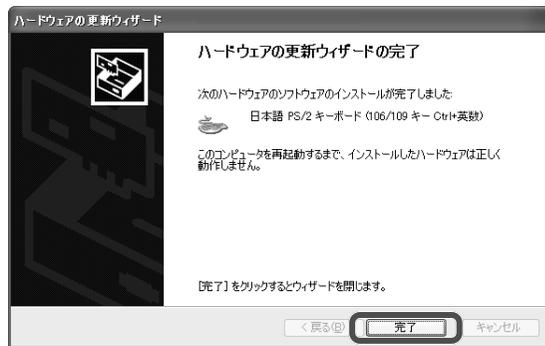
9 「互換性のあるハードウェアを表示」をクリックしてチェックマークを外し、以下の内容をクリックして選択します。

- 製造元: (標準キーボード)
- モデル: 日本語PS/2キーボード(106/109キー)



10 [次へ]をクリックします。
ドライバファイルのコピーが始まります。

11 [完了]をクリックします。



「ハードウェア設定が変更されました。これらの変更を有効にするためにはコンピュータを再起動しなければなりません。今コンピュータを再起動しますか?」と表示されます。

12 [はい]をクリックします。
パソコンが再起動します。
これで、設定は終了です。



システムの復元を実行してください

詳しくは、システムの復元を実行してください(☎35ページ)を参照してください。



システムファイルの破損が原因の場合があります

上記の方法をすべて行っても改善されない場合は、システムファイルの破損が原因の場合があります。取扱説明書(別冊)を参照し、付属のプロダクトリカバリCD-ROMを使って、ご購入時の状態に戻してください。(再インストール)それでも修復しない場合は、お客様サポートシステムのご案内(別冊)をご覧ください、点検・修理をご依頼ください。



外付けテンキーボード使用後に、パソコン側の **NumLk** キーが無効になったら

セットアップユーティリティで、「keyboard NumLock」(または「internal NumLock」)の設定を無効にしているか確認してください。セットアップユーティリティについて詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。

それでも改善されないときは、キーボードのドライバを再インストールしてください。



記号や絵文字を入力したい



文字一覧から入力できます

利用できる文字の一覧を表示させて、入力したい文字を指定できます。

- 1  (IME2002の言語バー)の  (IMEパッド)をクリックし、「文字一覧」をクリックします。



「文字一覧」画面が表示されます。

- 2 「半角英字」の右の  をクリックして、好みの文字の種類を選びます。
選んだ種類で利用できる文字の一覧が表示されます。



- 3 入力したい文字をクリックします。
選んだ文字が入力されます。

- 4 画面右上の  をクリックして「文字一覧」画面を閉じます。



変換して選ぶことができる文字もあります

○(まる)や×(ばつ)などの一般的な記号や、ギリシャ文字などは、日本語から変換して入力することもできます。

入力例:

- ～:「から」と入力する。
- :「まる」と入力する。
- α:「あるふぁ」と入力する。
- :「やじるし」と入力する。
- 〒:「ゆうびん」と入力する。
- ▲:「さんかく」と入力する。



ご参考

「きごう」と入力して変換すると、変換候補に記号の一覧が表示されます。



ホームページのアドレス(URL)でよく使われる「~」(チルダ)を入力するには

「~」(チルダ)記号は、半角英字モードで入力します。全角の「~」(から)とは異なりますのでご注意ください。

- 1 **Alt** + **半角/全角** (漢字)キーを押して、日本語入力から英字入力に切り替えます。



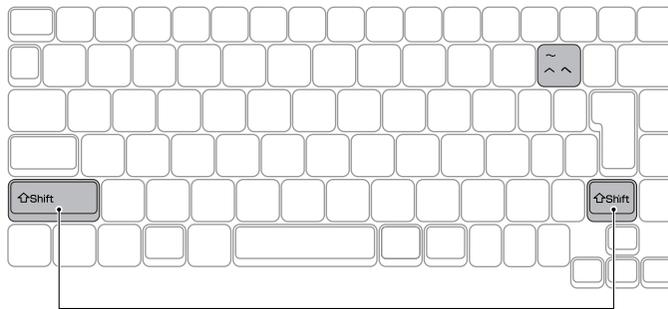
IME2002の言語バー表示

あ:日本語入力ができる状態

A:英字入力ができる状態

- 2 **Shift** + **^** (~)キーを押します。

「~」(チルダ)が入力されます。



どちらかの **Shift** キーを押します

(機種によってキーの配列は異なります。)



メールアドレスによく使われる「-」(アンダーバー)を入力するには

「-」(アンダーバー)記号は、半角英字モードで入力します。「-」(ハイフン)とは異なりますのでご注意ください。

1 **Alt** + **半角/全角** (漢字)キーを押して、日本語入力から英字入力に切り替えます。



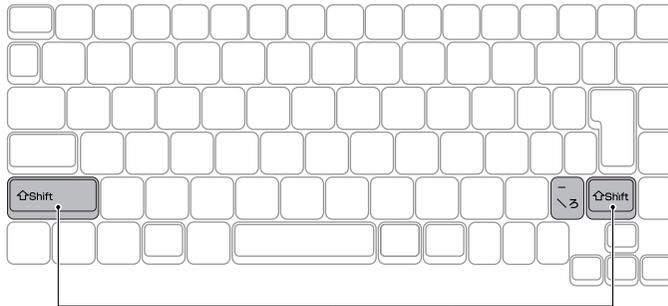
IME2002の言語バー表示

あ:日本語入力ができる状態

A:英字入力ができる状態

2 **Shift** + **ろ** (-)キーを押します。

「-」(アンダーバー)が入力されます。



どちらかの **Shift** キーを押します

(機種によってキーの配列は異なります。)

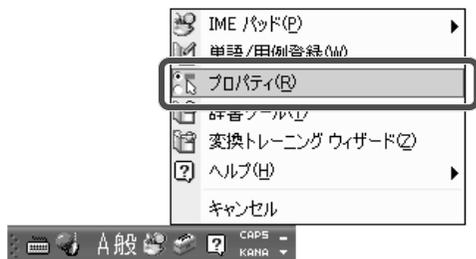


メールでよく使われる顔文字「(^_^;)」を入力したい



「話し言葉・顔文字辞書」を使えば入力できます

- 1  (IME2002の言語バー)の  (ツール)をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



「Microsoft IMEスタンダードのプロパティ」画面が表示されます。

- 2 「辞書／学習」タブをクリックします。
- 3 「システム辞書」欄の「Microsoft IME話し言葉・顔文字辞書」をクリックしてチェックマークを付けます。



- 4 [OK]をクリックして「Microsoft IMEスタンダードのプロパティ」画面を閉じます。
- 5 メールソフトなどで「かお」「かおもじ」「にこにこ」「あせ」などと入力して変換します。

文字の表示や入力がうまくできない

6 変換ウィンドウから好みの顔文字を選んで確定します。



ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない



入力モードを確認してください

キーボードで押したとおりの文字が入力できない(☞112ページ)を参照してください。



Num Lockランプが点灯していないか確認してください

Num Lockランプが点灯している間は、青または薄い紫色で刻印されている数字や記号が入力されます。



青または薄い紫色で刻印
されている数字



元に戻すには、**Fn** + **Insert** (**NumLk**)キーを押して、Num Lockランプを消します。
Num Lockランプの位置については、取扱説明書(別冊)を参照してください。



難しい漢字を入力したい



文字一覧から入力できます

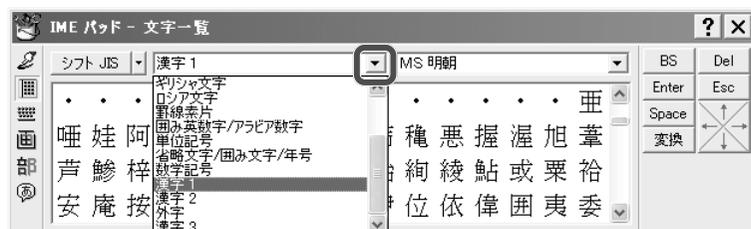
利用できる文字の一覧を表示させて、入力したい文字を指定できます。

- 1 (IME2002の言語バー)の (IMEパッド)をクリックし、「文字一覧」をクリックします。



「文字一覧」画面が表示されます。

- 2 「半角英字」の右の をクリックして、好みの文字の種類を選びます。
選んだ種類で利用できる文字の一覧が表示されます。
漢字を入力するときは、「漢字1」などを選びます。



- 3 入力したい文字をクリックします。
選んだ文字が入力されます。
- 4 画面右上の をクリックして「文字一覧」画面を閉じます。

文字の表示や入力がうまくできない



部首を手書きして、候補を表示させることもできます

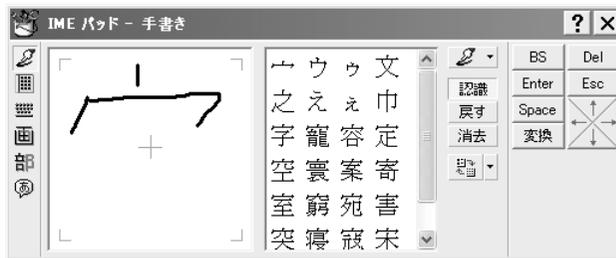
入力したい文字の部首だけがわかっているときは、部首をポインティングデバイスで手書き入力して、当てはまる文字を表示させることもできます。

- 1  (IME2002の言語バー)の  (IMEパッド)をクリックし、「手書き」をクリックします。



「手書き」画面が表示されます。

- 2 文字入力部分でマウスポインタをドラッグして、手書きで入力したい文字の部首を書きます。
書き損じたときは、[消去]をクリックしてやり直してください。



手書きした部首に当てはまる文字の一覧が表示されます。

- 3 入力したい文字をクリックします。
選んだ文字が入力されます。

- 4 画面右上の  をクリックして「手書き」画面を閉じます。

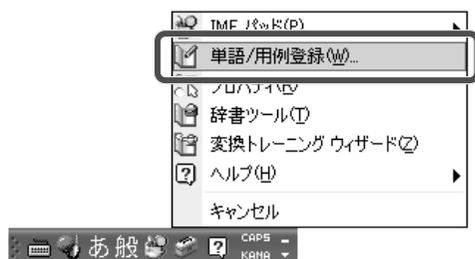


よく使う単語を簡単に入力したい



日本語入力システム(MS-IME)の単語/用例登録機能を使います

- 1  (IME2002の言語バー)の  (ツール)をクリックし、「単語/用例登録」をクリックします。



「単語/用例の登録」画面が表示されます。

- 2 単語の「読み」と「語句」を入力し、「登録」をクリックします。



- 3 [閉じる]をクリックして「単語/用例の登録」画面を閉じます。



登録した単語を入力するときは

「読み」で登録した文字列をキーボードで入力して変換すると、「語句」で登録した文字列が変換候補に表示されるので、選択して入力できます。

「読み」を「あどれす」、「語句」を<http://support.sharp.co.jp/mebius/>と登録した場合、以下ようになります。



パソコンにない文字を入力したい



外字エディタで作成して入力してください

パソコンにない文字やロゴは、Windows付属の「外字エディタ」で作成して、入力することができます。

外字エディタを起動するには、[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「外字エディタ」をクリックします。(「コードの選択」画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックします)

外字エディタの使いかたは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「トピックの検索」をクリックして表示されるオンラインヘルプを参照してください。



インターネットに接続中、いきなり接続が切断されてしまう



通信条件を確認してください

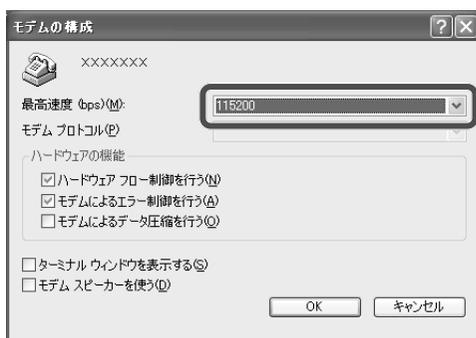
プロバイダなどの通信相手との通信条件(最高通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度の設定を下げてください。

以下の手順で最高通信速度を変更します。

- 1 [スタート]をクリックし、「接続」-「すべての接続の表示」をクリックします。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 2 プロバイダのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
プロバイダのプロパティ画面が表示されます。
- 3 [構成]をクリックします。



- 4 「最高速度」から通信速度を選択します。



ご参考

「ハードウェアの機能」欄で、「ハードウェアフロー制御を行う」と「モデムによるエラー制御を行う」にチェックマークが付いていることを確認してください。

- 5 [OK]をクリックして「モデムの構成」画面を閉じます。

6 [OK]をクリックしてプロバイダのプロパティ画面を閉じます。

7 画面右上の  をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。



ご購入時の設定では、約20分で自動的に切断されます

ダイヤルアップ接続の場合、ご購入時の設定では約20分間アクセスしないと自動的に接続が切断されるようになっています。



パソコンやモデムのケーブルの近くに、テレビやラジオなどを置かないでください

テレビやラジオなどは、パソコンから遠ざけて使ってください。

パソコンやケーブルの近くにテレビやラジオなどがあると、パソコンと電話回線を接続するモデムケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。



省電力機能をオフにしてください

詳しくは、スクリーンセーバーと省電力機能をオフにしてください( 21ページ)を参照してください。



常駐アプリケーションソフトを減らしてください

Windowsの起動と同時に自動起動し、タスクトレイに常駐するアプリケーションソフトの数を減らしてください。( 28ページ)



キャッチホンを利用していませんか？

NTT東日本、またはNTT西日本のキャッチホンサービスを利用していると、別の電話がかかってきたとき、通信が中断します。キャッチホンIIを利用すると、その心配がなくなります。詳しくは、ご契約の電話会社(NTT東日本、またはNTT西日本など)にお問い合わせください。



メールソフトの設定を確認してください

メールソフトがメールの送受信後、自動的に切断するように設定されている場合は、ホームページを見ている途中で切断されることがあります。

Microsoft Outlook Express 6の場合:

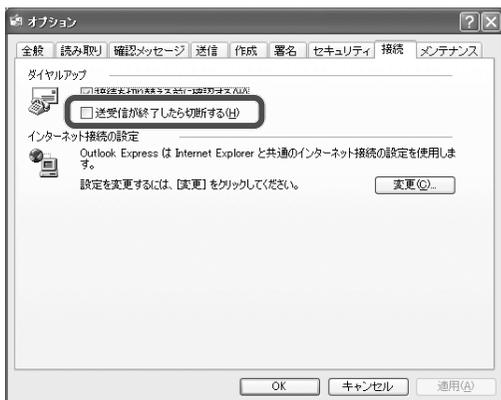
- 1 Microsoft Outlook Express起動後に、メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックします。



- 2 「接続」タブをクリックします。

- 3 「ダイヤルアップ」の「送受信が終了したら切断する」にチェックマークが付いていないか確認します。

チェックマークが付いている場合は、クリックしてチェックマークを外します。



- 4 [OK]をクリックして「オプション」画面を閉じます。



内蔵モデムで通信ができない



正しく接続されているか確認してください。

電話回線がモデムジャックに正しく接続されているか確認してください
電話回線との接続について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。



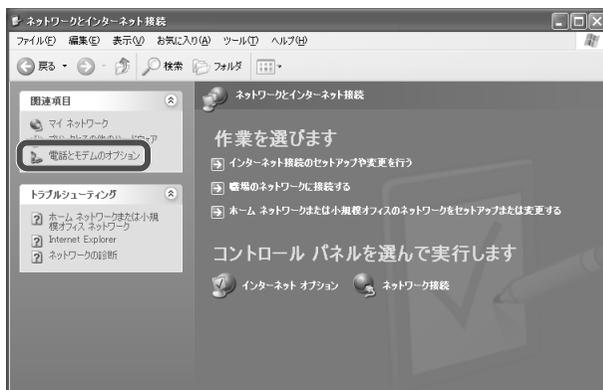
電話回線の種類の設定を確認してください

電話回線には、ダイヤル回線とプッシュ回線の2種類の回線があります。
Windows や通信ソフトで電話回線の設定が、お使いの電話回線の種類と一致しているか確認してください。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「関連項目」欄の「電話とモデムのオプション」をクリックします。



4 ダイヤル元の所在地をクリックして選択し、「編集」をクリックします。



5 「ダイヤル方法」で、「トーン」か「パルス」のいずれかをクリックして選択します。

ダイヤルしたときに受話器から聞こえる音で、ダイヤル方法がわかります。

- ブッシュ回線のとき: トーン「ピッポッパ」
- ダイヤル回線のとき: パルス「ジジジ…」または「タタタ…」

わからない場合は、市内通話をご契約の電話会社 (NTT東日本、またはNTT西日本など) にお問い合わせください。



6 [OK]をクリックして「所在地の編集」画面を閉じます。

7 [OK]をクリックして「電話とモデムのオプション」画面を閉じます。

8 画面右上の [X] をクリックして「ネットワークとインターネット接続」画面を閉じます。



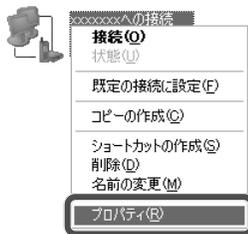
ダイヤルアップの設定内容を確認してください

ダイヤルアップの設定内容が間違っている可能性があります。ダイヤルアップの設定内容を確認してください。

1 [スタート]をクリックし、「接続」—「すべての接続の表示」をクリックします。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 プロバイダのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



3 以下の設定を確認します。

- プロバイダのアクセスポイントの電話番号が正しいか(プロバイダよりの資料を参照)
- 国番号/地域番号が「日本」になっているか
- ダイヤル情報を使うのチェックマークが付いているか



4 [OK]をクリックしてプロバイダのプロパティ画面を閉じます。

5 画面右上の をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。



外線発信番号を確認してください

詳しくは、外線発信番号の必要な電話回線を使っているときは、外線発信番号を入力してください(☞138ページ)を参照してください。



ネットワーク関連の設定(ネームサーバアドレスなど)が正しいか確認してください

プロバイダよりの資料を参照して、接続する際に設定するサーバー名などが正しいか確認してください。



ユーザ名やパスワードが正しいか確認してください

プロバイダよりの資料を参照して、接続する際に入力するユーザ名やパスワードが正しいか確認してください。



通信ソフトウェアのCOMポートが正しく設定されているか確認してください

詳しくは、通信ソフトウェアのヘルプ、または説明書を参照してください。



省電力機能が働いていないか確認してください

Windowsの電源オプションのプロパティで「システムスタンバイ」が「なし」になっているか確認してください。詳しくは、スクリーンセーバーと省電力機能をオフにしてください(☞21ページ)を参照してください。



ホームテレホンやビジネスホンに接続していませんか？

ホームテレホン、ビジネスホン、ボタン電話、キーテレホンなど多機能電話のジャックに、内蔵モデムを接続することはできません。切替機を用いて電話とモデムを切り替える必要があります。切替機については、多機能電話のメーカーにお問い合わせください。



構内交換機(PBX)に接続していませんか？

構内交換機(PBX)にはデジタル回線のものがあり、その場合は内蔵モデムが使えません。PBXの保守部門やサービス会社に問い合わせ、一般電話回線と同等であることを確認してください。



キャッチホンを利用していませんか？

NTT東日本、またはNTT西日本のキャッチホンサービスを利用していると、別の電話がかかってきたとき、通信が中断します。キャッチホンIIを利用すると、その心配がなくなります。詳しくは、ご契約の電話会社(NTT東日本、またはNTT西日本など)にお問い合わせください。



内蔵モデムでの通信速度が遅い



開いているアプリケーションソフトの数をできるだけ減らしてください

内蔵モデムでの通信は、CPUに負荷がかかることがあります。このようなときは、同時に実行するアプリケーションソフトの数を減らすことで、通信状態が改善される場合があります。

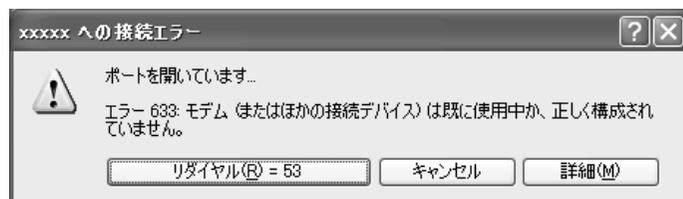


接続先や時間帯を変えてみてください

ご契約されているプロバイダによっては、午後10時以降や土曜日や日曜日などに回線が混み合い、十分な通信速度が得られない場合があります。このようなときは、近くの別のアクセスポイントに接続先を変更するか、接続する時間帯を変えてみてください。



「モデム(またはほかの接続デバイス)は既に使用中か、正しく構成されていません。」と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)



電話回線を使うアプリケーションソフトが他に起動しています

ファックス送受信ソフトなどの電話回線を使うアプリケーションソフトが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションソフトを終了させてから、接続の操作を行ってください。



「電話回線はビジーです。」と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)



回線が混雑しています

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、しばらく待ってから接続し直してください。また、同じ地域に複数のアクセスポイントを用意しているプロバイダであれば、他のアクセスポイントを試してみてください。それでも改善されなければ、プロバイダの説明書を参照していただくか、プロバイダにお問い合わせください。



アクセスポイントの電話番号を確認してください

接続先の電話番号を、もう一度確かめてください。

- 1 [スタート]をクリックし、「接続」-「すべての接続の表示」をクリックします。
- 2 プロバイダのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 プロバイダのアクセスポイントの電話番号が、「電話番号」に正しく入力されているか確認します。
- 4 [OK]をクリックしてプロバイダのプロパティ画面を閉じます。
- 5 画面右上の をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。



電話回線の種類の設定を確認してください

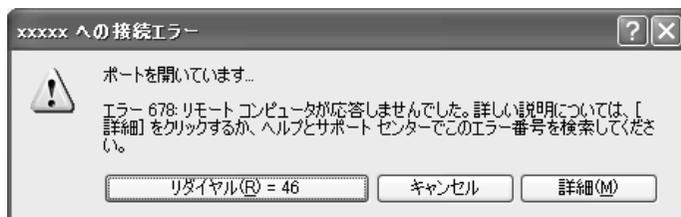
電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2種類の回線があります。

お使いの電話回線に合わせて設定を変更してください。

詳しくは、電話回線の種類の設定を確認してください(☞130ページ)を参照してください。



「リモートコンピュータが応答しませんでした...」 と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)

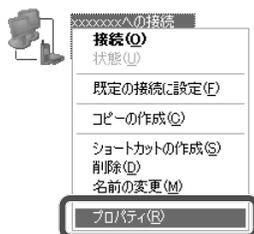


ダイヤルアップの設定内容を確認してください

プロバイダに接続するためには、正しい情報を入力する必要があります。ダイヤルアップの画面で正しく設定できているかを確認してください。

1 [スタート]をクリックし、「接続」-「すべての接続の表示」をクリックします。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 プロバイダのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



3 プロバイダのアクセスポイントの電話番号が「電話番号」に正しく入力されているか確認します。

「接続の方法」に、お使いのモデムが正しく表示されているかもあわせて確認してください。



4 「ネットワーク」タブをクリックします。

- 5 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄に「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」が表示されていることを確認します。



- 6 「設定」をクリックします。

- 7 項目に付いているチェックマークをすべて外し、[OK]をクリックします。
一部のプロバイダでは、設定が異なることがあります。詳しくは、プロバイダの説明書を参照していただくか、プロバイダにお問い合わせください。



- 8 「この接続は次の項目を使用します」の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックマークが付いていることを確認します。



- 9 [OK]をクリックしてプロバイダのプロパティ画面を閉じます。

- 10 画面右上の  をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。



接続しているアクセスポイントがお使いのモデムに対応しているか確認してください

アクセスポイントには、TA(ターミナル・アダプタ)などで接続するためのISDN回線用や、PHS電話機で接続するためのPIAFS専用などがあります。

アクセスポイントについては、ご契約されたプロバイダの資料を参照して、お使いのモデムに対応したアクセスポイントを選んでください。



外線発信番号の必要な電話回線を使っているときは、外線発信番号を入力してください

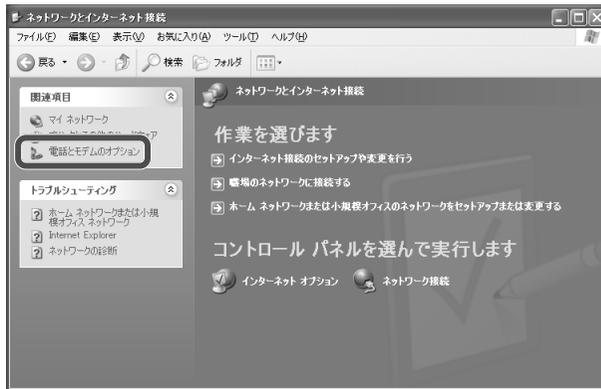
受話器をとったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。

発信音が聞こえない、または通常の実音(「ツー…」という長い音)以外の音が聞こえた場合は、外線発信番号が必要です。

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「関連項目」欄の「電話とモデムのオプション」をクリックします。



「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 「モデム」タブをクリックし、使用できるモデムをクリックして、「プロパティ」をクリックします。

- 5** 「モデム」タブをクリックし、「発信音を待ってからダイヤルする」をクリックしてチェックマークを外します。



(機種によって画面が異なることがあります)

- 6** [OK]をクリックしてモデムのプロパティ画面を閉じます。
- 7** 「ダイヤル情報」タブをクリックし、[編集]をクリックします。

- 8** 「ダイヤル情報」の「外線発信番号」に0,,を入力します。

- 0の後ろに入力するのは、コンマです。
コンマを追加することで、0を押してからダイヤルするまでの時間を設定することができます。
通常は1~3つ追加します。コンマ1つでどのくらいの待ち時間になるかは、モデムによって異なります。
- 外線発信番号が0以外のときはその番号を入力してください。



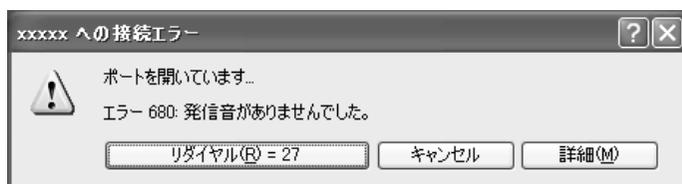
- 9** [OK]をクリックして「所在地の編集」画面を閉じます。

- 10** [OK]をクリックして「電話とモデムのオプション」画面を閉じます。

- 11 画面右上の  をクリックして「ネットワークとインターネット接続」画面を閉じます。
アプリケーションソフトによっては、上記の手順で設定できないことがあります。
お使いのアプリケーションソフトの説明書やオンラインヘルプを参照して、アプリケーション側で該当する項目を設定してください。



「発信音がありませんでした。」と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)



電話回線を正しく接続してください

モデムケーブルが抜けていたり、抜けかけていないかどうか、パソコン側と電話回線側の両方のジャックをもう一度確認してください。

また、長すぎる電話線を使うと信号がモデムにうまく届かないことがあります。正常に通信できない原因となりますので、できるだけ短い電話線を使うようにしてください。



分配器は使用しないでください

分配器を使用して電話回線を分配すると信号がモデムにうまく届かないことがあります。分配器を使わずに接続してください。



一般電話回線以外の回線とは接続しないでください

会社の構内電話やホームテレホンの種類によっては、モデムの接続を禁止しているものがあります。詳しくは、交換機の説明書を参照していただくか、交換機のメーカーにお問い合わせください。

一般電話回線以外の回線に接続すると、パソコンが正しく動作しない原因となるだけでなく、パソコンが破損する原因となります。

一般電話回線と性質の異なる回線には、絶対に接続しないでください。



一般電話回線について

- 一般電話回線とは、一般的に家庭などで使用している通常のNTT引込線のことを指します。
- ホームテレホンをお使いの場合は、NTT東日本やNTT西日本の公衆回線には直接つながっていません。会社などの構内電話(PBXとよばれるもの)と同様であるとお考えください。

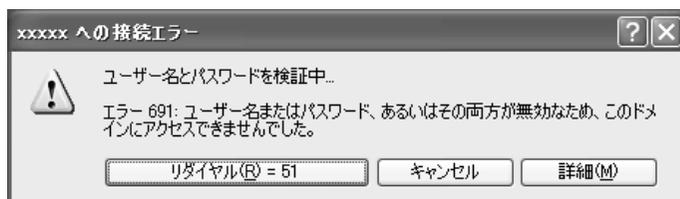


同時に電話を使っているときは、インターネットに接続できません

パソコンを電話と同じ回線に接続している場合、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。



「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした。」と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)



「ユーザー名」と「パスワード」を正しく入力してください

「ユーザー名」や「パスワード」を誤って入力している可能性があります。もう一度ユーザー名やパスワードを半角英数字で正しく入力してください。大文字と小文字、全角文字と半角文字をまちがえていないか、余分なスペースが入っていないか確認してください。



仮パスワードの期限を確認してください

プロバイダとオンラインなどで契約したとき発行された、仮パスワードの期限が切れているのかもしれません。

プロバイダから送られてきた資料をご確認ください。



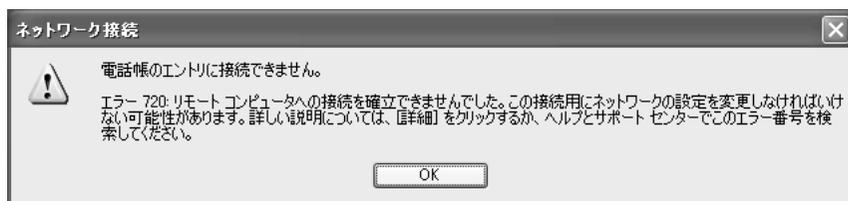
プロバイダ料金支払いに使っているクレジットカードの有効期限を確認してください

クレジットカードの有効期限が過ぎてしまっているために、プロバイダがアカウントを使用停止にしている可能性があります。

詳しくは、プロバイダにご確認ください。



「電話帳のエントリに接続できません...」と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)



TCP/IPの設定を確認してください

モデムを使ってダイヤルアップ接続をしているときに、このエラーメッセージが表示されることがあります。

プロバイダのプロパティ画面の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックマークが付いていない可能性があります。

ダイヤルアップの設定内容を確認してください(136ページ)の手順8を参照し、チェックマークを付けてください。



「リモートコンピュータのモデム(またはほかの接続デバイス)が壊れているため、接続できませんでした。」と表示された



(エラー番号は機種によって異なることがあります)



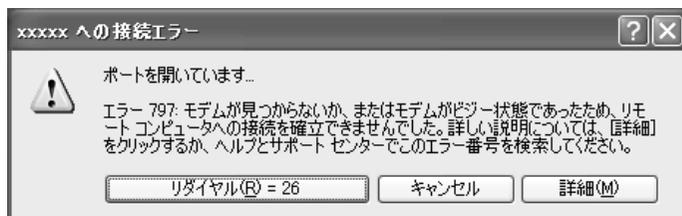
外線発信番号を入力していないか確認してください

「所在地の編集」画面の「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外通話の場合の外線発信番号」に、誤って数字を入力している可能性があります。

外線発信番号の必要な電話回線を使っているときは、外線発信番号を入力してください(138ページ)の手順8を参照し、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外通話の場合の外線発信番号」を空欄にしてください。



「モデムが見つからないか、またはモデムがビジー状態であったため、リモートコンピュータへの接続を確立できませんでした。...」と表示された

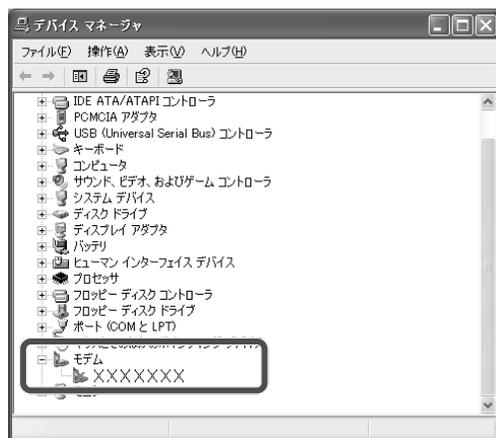


(エラー番号は機種によって異なることがあります)



デバイスマネージャのモデムの設定を確認してください

- 1** [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2** 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示されてください。
- 3** 「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4** 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 5** 「モデム」をダブルクリックし、モデム名が正しく表示されてるか、**!** マークや×マークが付いていないかを確認します。



× マークが付いている場合は

モデム名を右クリックし、「有効」をクリックします。

×マークが消えます。

画面右上の  をクリックして開いている画面を閉じます。

! マークが付いている場合や、まちがったモデム名が表示されている場合は

すべてのポート／モデム名を右クリックし、「削除」をクリックします。

確認画面で[OK]をクリックしたあと、パソコンを再起動します。



USBコネクタに接続したターミナルアダプタ (TA)が動作しない

USBコネクタに接続した周辺機器が動作しない(96ページ)を参照してください。

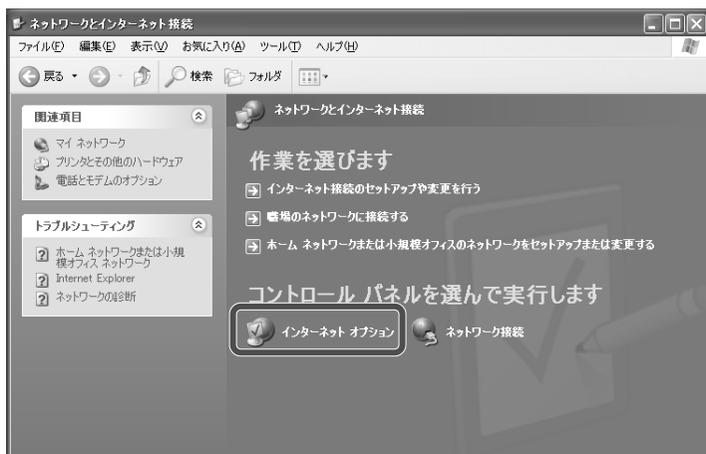


スタートメニューの「インターネット」をクリックしても、接続画面が表示されない



Microsoft Internet Explorerの接続設定を確認してください

- 1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
- 3 「インターネットオプション」をクリックします。



(WindowsXP Professionalの場合は、画面が異なります。)

「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

- 4 「接続」タブをクリックします。

- 5 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の中に、ダイヤルアップ接続で使用している接続名があり、接続名の後に(既定)と表示されていることを確認します。



- 6 「通常の接続でダイヤルする」をクリックして選択します。

複数のダイヤルアップ接続がある場合は

使用する接続名を選択してから [既定に設定] をクリックし、通常に使用するよう設定します。

ダイヤルアップ接続が何も無い場合は

プロバイダごとの設定を作成してください。詳しくは、プロバイダの説明書を参照してください。

- 7 [OK] をクリックして「インターネットのプロパティ」画面を閉じます。

- 8 画面右上の  をクリックして「ネットワークとインターネット接続」画面を閉じます。



メールを受信できない



電子メールの設定を確認してください

プロバイダから送られてきた設定案内を参照して、以下の設定を確認してください。

- ユーザー名
- パスワード
- 送受信メールサーバーのアドレス

Microsoft Outlook Express 6の設定を確認する場合:

- 1** Microsoft Outlook Express起動後に、メニューバーの「ツール」をクリックし、「アカウント」をクリックします。
「インターネットアカウント」画面が表示されます。
- 2** 確認したいアカウントをクリックして選び、「プロパティ」をクリックします。
- 3** 「サーバー」タブをクリックし、プロバイダから送られてきた設定案内を参照して、必要に応じて設定を修正します。
メールサーバーやアカウント、パスワードの情報がまちがいないか確認してください。
- 4** [OK]をクリックしてプロバイダのプロパティ画面を閉じます。
- 5** [閉じる]をクリックして「インターネットアカウント」画面を閉じます。



プロバイダのメールサーバーの状態によって、一時的にメールを受信できないことがあります

メールサーバーの障害や保守点検のため、メールを一時的に受信できないことがあります。いままでメールを受信できていたにもかかわらず、急にメールを受信できなくなってしまった場合には、以下の手順で問題を解決してください。また、はじめからメールを受信できない場合は、まず電子メールの設定を確認してください(☞上記)の内容を参照してください。

- 1** インターネット上のプロバイダのホームページを参照して、メールサーバーの障害が発生していたり、保守点検が行われていないかなどの障害情報を確認します。
詳しくは、プロバイダの資料を参照してください。
- 2** メールサーバーの障害や保守点検の情報がない場合は、しばらくたってから再度受信操作を行います。
深夜の一部時間帯などは混雑しているため、できれば数時間たってからメールを受信してみてください。
- 3** それでも受信できないときは、プロバイダにお問い合わせください。



メールを送信できない



電子メールの設定を確認してください

プロバイダから送られてきた設定案内を参照して、以下の設定を確認してください。(☞前ページ)

- ユーザー名
- パスワード
- 送受信メールサーバーのアドレス



プロバイダのメールサーバーの状態によって、一時的にメールを送信できないことがあります

メールサーバーの障害や保守点検のため、メールを一時的に送信できないことがあります。詳しくは、メールを受信できない(☞前ページ)を参照してください。



メールを送信する前に、メールを受信する操作を行わなければならないプロバイダもあります

プロバイダや無料メールサービスによっては、メールの悪用を防ぐため、メールを送信する前にメールを受信しなければならない場合があります。

送信したいメールを書き終わったら一度メールを受信して、数分(通常は3分)以内にメールを送信するようにしてください。



MAILER-DAEMONというアドレスからメールが届いた



メールの送信先のアドレスを確認してください

誤ったアドレスを指定してメールを送信すると、MAILER-DAEMONという差出人からエラーメールが返信されます。

送信先のメールアドレスを、正確に半角英数字で入力しているかどうか確認してください。



メールが文字化けしている



受信メールに半角のカタカナや特殊記号が使われている可能性があります

半角のカタカナや特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)が受信メールに含まれていると、文字化けの原因になることがあります。もし含まれている場合は、メールの送信元の相手に、このような文字を使用しないように依頼してください。



Microsoft Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき

メールの送信形式をテキスト形式にしてください。また、エンコード方法をMIME、エンコードなしに設定しておくことも必要です。(ご購入時の状態では、HTML メールを送るように設定されています。)

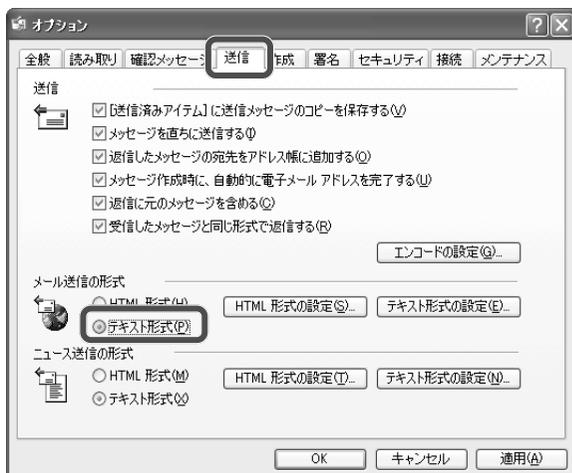
ご購入時の状態のままお使いになると、送信先の相手の電子メールソフトがHTML メールに対応していない場合、読みにくいメールになってしまいます。

1 Microsoft Outlook Express起動後に、メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックします。



「オプション」画面が表示されます。

- 2 「送信」タブをクリックし、「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックして選択します。



- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式の設定」をクリックします。
「テキスト形式の設定」画面が表示されます。

- 4 「メッセージ形式」を次のように設定してから、[OK]をクリックします。

- MIME / UUENCODE: 「MIME」を選ぶ
- エンコード方法: 「なし」を選ぶ
- 8 ビットの文字をヘッダーに使用する: チェックしない



- 5 「ニュース送信の形式」欄の「テキスト形式」をクリックして選択します。

- 6 「ニュース送信の形式」欄の「テキスト形式の設定」をクリックします。
「テキスト形式の設定」画面が表示されます。

- 7 「メッセージ形式」を次のように設定してから、[OK]をクリックします。

- MIME / UUENCODE: 「MIME」を選ぶ
- エンコード方法: 「なし」を選ぶ
- 8 ビットの文字をヘッダーに使用する: チェックしない

8 [OK]をクリックして「オプション」画面を閉じます。

これで、送信形式が変更されました。



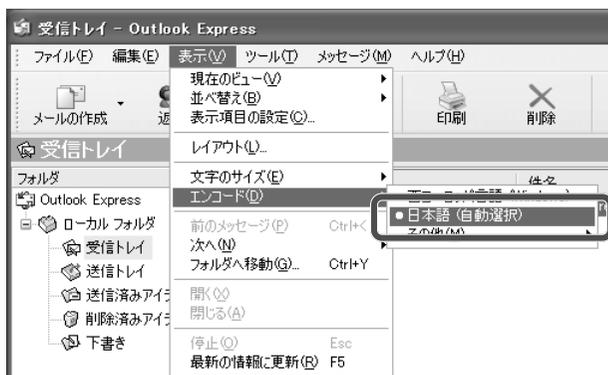
ご参考

メールを受信する側は、メールソフトの言語の設定を「日本語(自動判別)」にしておきましょう。

Microsoft Outlook Express 6の場合:

メニューバーの「表示」をクリックし、「エンコード」-「日本語(自動選択)」をクリックします。

また、送られてきたメールが文字化けしていたときには、送信する側に、現在使用中のメールソフトの設定を確認してもらってください。





メールに添付する画像ファイルを圧縮して送りたい



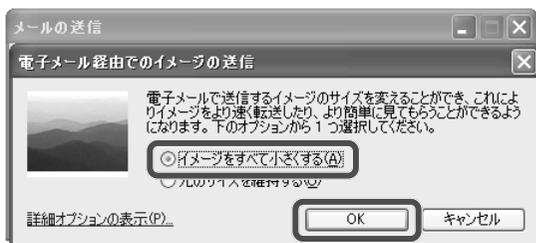
「ファイルとフォルダのタスク」で圧縮・送信してください

メールの添付ファイルは、圧縮して送るのがエチケットです。サイズの大きな画像ファイルをそのまま送ることは、通信費のムダになるだけでなく、ネットワークを混雑させる原因にもなります。以下の手順で画像ファイルを圧縮し、送信してください。

- 1 「マイピクチャ」フォルダで添付する画像ファイルをクリックして選択し、「ファイルとフォルダのタスク」欄の「このファイルを電子メールで送信する」をクリックします。



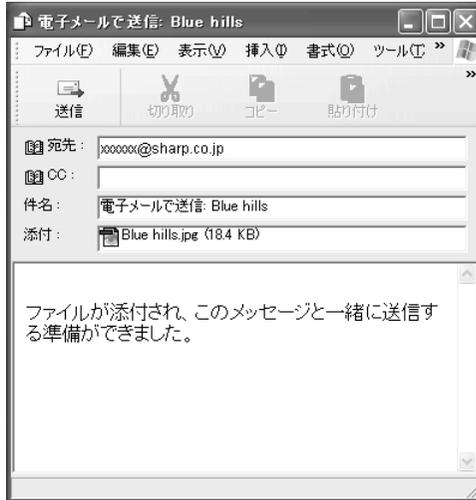
- 2 「イメージをすべて小さくする」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。



メールのやり取りができない

3 「宛先」やメール本文を入力し、必要に応じて「件名」を書き換えます。

メール本文は、「ファイルが添付され、このメッセージと一緒に送信する準備ができました。」の表示を削除してから入力します。



4 [送信]をクリックします。

メールが送信されます。



ご参考

画像ファイルは、JPEG形式で圧縮されます。手順2の画面で「詳細オプションの表示」をクリックすると、画像ファイルのサイズを選択できます。



「HTMLメールはやめて」といわれたが、どうすればいい?



メールの送信形式をテキスト形式にしてください

電子メールの基本は、誰もが読めるテキスト形式です。

Microsoft Outlook Expressの場合、ご購入時の状態ではHTMLメールを送るように設定されていますので、テキスト形式に設定し直してください。(150ページ)



HTMLメールとは?

ホームページの記述言語HTMLを利用したメールです。文字のサイズや色を変えたり、画像を挿入したりして、カラフルで楽しいメールが作れます。ただし、受け取る側のメールソフトがHTMLメールに対応していないときは、意味不明の記号やアルファベットが並び、読みにくいメールになります。

テキスト形式のメールでは、文字のサイズや書体を変えることはできませんが、どんなメールソフトでも読めるという安心感があります。

```

送信者 : Ueda Ichiro 宛先 : xxxxxxxx@xxxxxxxx.ne.jp
件名 : 転居のお知らせ

<html>
<head>
<title>転居のお知らせ</title>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html charset=iso-2022-
jp">
</head>
<body bgcolor="#FFFFFF">
<div align="center">
<table width="600" border="0" cellspacing="0" cellpadding="0">
<tr>
<td colspan="6"></td>
</tr>
<tr align="right">
<td bgcolor="#003366" colspan="6"><a href="#new"></a><a href="#rank"></a><a href="#info">」、「|」、「¥」



### 保存するファイルの属性が「読み取り専用」になっていないか確認してください

通常のアプリケーションソフトでは、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「プロパティ」をクリックすれば、属性を確認できます。

属性が「読み取り専用」になっている場合は、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「名前を付けて保存」または「別名で保存」で保存し直してください。

詳しくは、使用しているアプリケーションソフトの説明書またはヘルプを参照してください。また、ファイルのアイコンを右クリックして表示される「プロパティ」で、「読み取り専用」のチェックマークを外すと、上書き保存することもできるようになります。



## ファイルをどこに保存したらいいのかわからない



### 「マイドキュメント」フォルダに保存しましょう

作成したファイルは、見失わないように「マイドキュメント」フォルダの中に、件名ごとにフォルダを作成し、整理して保存しましょう。

デジタルカメラの写真などは「マイピクチャ」フォルダに、音楽CDから録音したMP3ファイルなどは「マイミュージック」フォルダに保存しておく、内容がすぐ確認できて便利です。また、ハードディスクの空き容量が少ない場合は、CD-R/RWやフロッピーディスクなどの外部記憶媒体などに保存してください。



## 長いファイル名を付けられない／表示できない



### ファイル名は半角英数字で215文字までです

Windowsでは、スペース(空白)を含めて半角英数字で215文字までの名前を付けられます。ただしアプリケーションソフトによっては、極端に長いファイル名を認識できない場合があります。極端に長いファイル名を付けることはできるだけ避けるようにしてください。



### 選択されていない状態では、長いファイル名は途中までしか表示されません

ファイル名を表示させたい場合は、ファイルをクリックして選択してください。完全なファイル名が表示されます。



## ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない



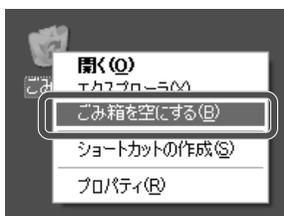
### ファイルをごみ箱に捨てるだけでは、ハードディスクの空き容量は増えません

不要なファイルをごみ箱に捨ててから、ごみ箱の中身を空にする必要があります。

#### ！ ご注意

以下の操作を行うと、ごみ箱に入れられているファイルがすべて削除され、復元できなくなります。必要なファイルが含まれていないかどうか、あらかじめ確認してください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックし、「ごみ箱を空にする」をクリックします。



- 2 確認メッセージで[はい]をクリックします。

ごみ箱に捨てられているファイルが、すべて完全に削除されます。



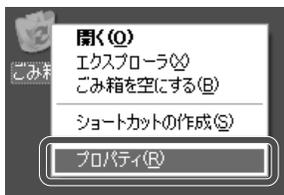
### ファイルをごみ箱に捨てると自動的に完全に削除するように設定することもできます

上記の操作で「ごみ箱を空にする」を毎回操作しなくても、不要なファイルをごみ箱に捨てるだけで、ファイルを削除するように設定することもできます。

#### ！ ご注意

以下の操作を行うと、ファイルはごみ箱に捨てた時点で完全に削除されて、復元できなくなります。必要なファイルを誤ってごみ箱に捨ててしまわないように、十分ご注意ください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



- 2** 「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」をクリックしてチェックマークを付けます。

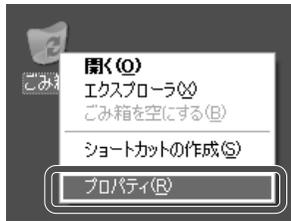


- 3** [OK]をクリックします。

これで、ファイルをごみ箱に捨てた時点で完全に削除するように設定されました。

## ファイルをごみ箱に捨てても、ごみ箱内で保存する設定に戻すには

- 1** 「ごみ箱」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



- 2** 「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」をクリックし、チェックマークを外します。



- 3** [OK]をクリックします。

これで、ファイルをごみ箱に捨てても、ごみ箱の容量を超えるまではごみ箱内で保存されるように設定されました。



## ごみ箱の中のファイルやフォルダを元の位置へ戻したい



ごみ箱の中へ移動したファイルやフォルダは、ドラッグ&ドロップをしても元の場所へ戻せますが、右クリックを使用することで、もっと簡単に元の位置へ戻すことができます。

- 1 「ごみ箱」アイコンをダブルクリックします。
- 2 元の位置に戻したいファイルやフォルダを右クリックし、「元に戻す」をクリックします。



## ファイル名の後ろに付く「.txt」「.bmp」などの文字は何ですか？



### ファイル名の後ろに付く「.txt」「.bmp」などの文字について

Windowsでは、ファイルの種類を区別するための文字が、ファイル名の最後に付いています。この文字を「拡張子」と呼びます。

主な拡張子としては、次のようなものがあります。

|                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| .txt           | テキストファイル                          |
| .doc           | テキストファイル、Microsoft Word形式の文書データ   |
| .xls           | Microsoft Excel形式の文書データ           |
| .htm .html     | インターネット上でよく使われている文書ファイル           |
| .bmp .jpg .gif | 画像データ                             |
| .chm .hlp      | ヘルプファイル                           |
| .wav .mp3      | 音声データ                             |
| .exe .com      | 実行可能プログラム                         |
| .dll           | ダイナミックリンクライブラリ(実行可能プログラムの一部)のファイル |



「.txt」「.xls」「.doc」など、一部の拡張子は、初期状態では表示されません。



### ファイルの拡張子をすべて表示させたいときは

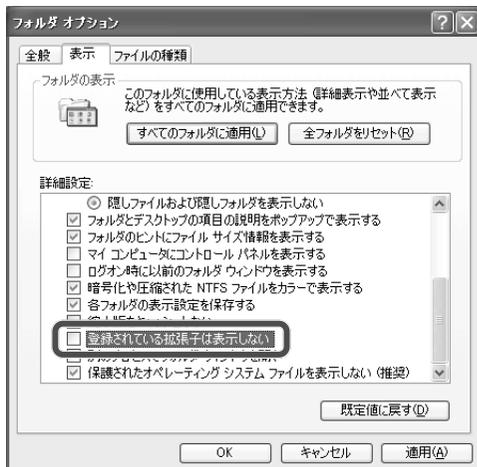
次の手順に従って設定を変更してください。

- 1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
- 2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「フォルダオプション」をクリックします。



- 3 「表示」タブをクリックします。
- 4 画面右下のスクロールバーを使って「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」を表示します。

- 5 「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」をクリックしてチェックマークを外します。



(Windows XP Professional の場合は、画面が異なります)

- 6 [OK]をクリックして「フォルダオプション」画面を閉じます。

- 7 画面右上の  をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。



## 隠しファイルやシステムファイルを表示させたいときは

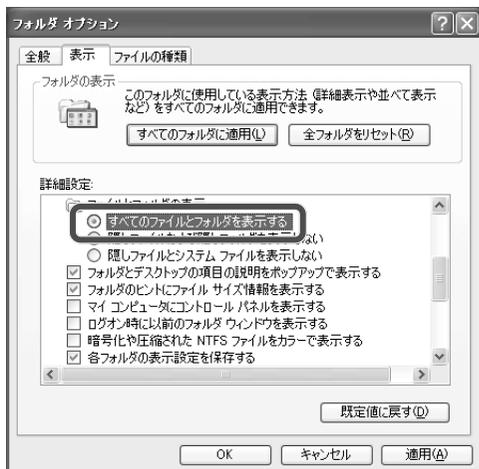
- 1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
- 2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「フォルダオプション」をクリックします。



- 3 「表示」タブをクリックします。

- 4 画面右下のスクロールバーを使って「詳細設定」の「すべてのファイルとフォルダを表示する」を表示します。

- 5** 「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」内の「すべてのファイルとフォルダを表示する」をクリックして選択します。



(Windows XP Professional の場合は、画面が異なります)

- 6** [OK] をクリックして「フォルダオプション」画面を閉じます。
- 7** 画面右上の  をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。



## バックアップが必要なデータはどれですか？



### ご自分で作成したデータは、定期的にバックアップしてください

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。

データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。

大切なデータは、日頃からこまめにバックアップするようにしてください。

お使いのパソコンのハードディスクには、Windows やアプリケーションソフトなどがインストールされている Cドライブの他に、何もデータが入っていない Dドライブが用意されています。大切なデータは、ひとまず Dドライブにバックアップしておきましょう。

Windowsの動作が不安定になるなどして再インストールする場合に、Cドライブの内容だけをご購入時の状態に復元すれば、Dドライブに保存されているデータは消さずに残すことができます。

#### ！ ご注意

- Dドライブへのバックアップは、あくまでも一時的な対処法です。ハードディスク自体が故障してしまったときはDドライブの内容も読み出せなくなります。CD-R/RWやフロッピーディスクなどの外部記憶媒体にもバックアップするようにしてください。
- ネットワークの設定などはファイルをコピーするだけではバックアップできません。必ずメモに控えておいてください。
- バックアップした後に、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータに戻して復元すると失われてしまいます。

## Dドライブにフォルダを作成する例:

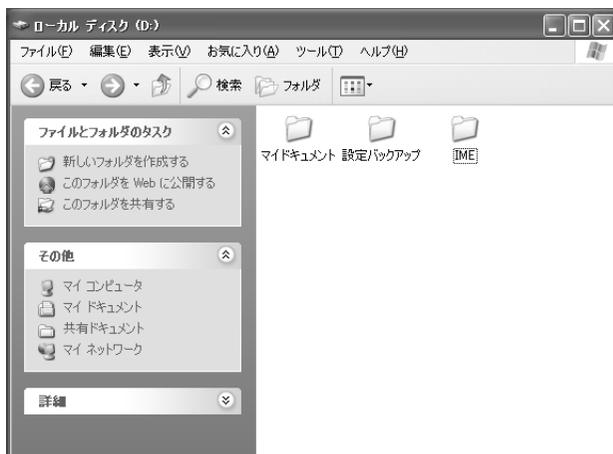
何のデータをバックアップしたかわかりやすく整理するために、バックアップする前にあらかじめフォルダを作成しておきましょう。

- 1 [スタート]をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。
- 2 ハードディスク(D:)のアイコンをダブルクリックします。
- 3 「ファイルとフォルダのタスク」欄の「新しいフォルダを作成する」をクリックします。



「新しいフォルダ」が作成されます。フォルダを作成した直後は、フォルダ名が青く反転されていて、名前を変更できる状態になっています。

- 4 「マイドキュメント」と入力して、フォルダ名を変更します。
- 5 手順3と手順4を繰り返して、以下のフォルダをそれぞれ作成します。
  - 設定バックアップ
  - IME



## ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主に「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。(アプリケーションソフトによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。) これらのデータをDドライブの「マイドキュメント」フォルダにコピーしてください。ドラッグアンドドロップでファイルをフォルダへ移動させると、コピーできます。



## 以下のデータをバックアップしておきましょう

バックアップのしかたについては、取扱説明書(別冊)を参照してください。

- 1 インターネットの設定やメールのデータをバックアップします。
- 2 ネットワークの設定をメモに控えます。
- 3 IMEのユーザー辞書をバックアップします。



## 市販のバックアップツールをお使いください

市販されているバックアップツールを使えば、ハードディスクの内容をまるごとバックアップしたり、ご自分で作成したデータだけをまとめてバックアップしたりできます。個別のファイルをひとつずつ選んでバックアップするのが不安な場合は、市販のバックアップツールをご利用いただくと便利です。

お使いのパソコンで動作するかどうかは、ご購入の前に、販売店やバックアップツールのメーカーにお問い合わせください。





## 取扱説明書を新たに購入できますか？



### 弊社製の説明書のみ購入することができます

弊社製の説明書の購入については、パソコン修理相談センターにお問い合わせください。パソコン修理相談センターについては、お客様サポートシステムのご案内(別冊)を参照してください。



## Mebiusを海外で使えますか？



### 使用できる機能に制限があります

Mebiusは国内専用モデルとして開発していますので、海外でのご使用につきましては機能上、制限があります。また、操作説明などのサポートは海外では行っておりません。



### 内蔵モデムの対応について

内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されています。海外ではご使用になれません。(海外対応の内蔵モデムを搭載している機種では、対応国での使用が可能です。)  
海外で使用するときは、現地で使える外付けモデムをご購入ください。詳しくは、現地の販売店やモデムのメーカーにお問い合わせください。



### 付属の電源コードとACアダプタの対応について

海外での使用については保証できません。製品の規格に定められた電圧の範囲で、現地の規格に適合した電源コード・変換プラグをご使用ください。ご購入の前に販売店や旅行代理店などにお問い合わせください。  
付属の電源コードの対応電圧は、ほとんどの機種の電源コードは耐圧125Vまでで、日本国内(100V地域)のみでの使用を想定しています。  
ACアダプタは、通常、耐圧100~240Vまでです(ACアダプタの裏面に印刷されています)。



# Windowsを更新(アップデート)したい



## Windowsを更新(アップデート)します

Windows を更新することで、トラブルを予防できます。また、マイクロソフト株式会社より提供されたソフトウェアをインストールすることで Windows の機能を拡張できる場合があります。

### ⚠️ ご注意

- 当社では、本操作を推奨するものではありません。  
重要な修正プログラムに関しては、メビウスサポートページにてお知らせします。  
Windowsの更新(アップデート)については、マイクロソフト株式会社へお問い合わせください。

**1** [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「Windows Update」をクリックします。

「Microsoft Windows Update」画面が表示されます。

### 💡 ご参考

「セキュリティ警告」画面は、移動先のホームページが安全であることを主張している場合に表示されます。移動先が信頼できる場合のみ[はい]をクリックしてください。[いいえ]をクリックすると、先に進むことはできません。



**2** 「更新をスキャンする」をクリックします。



更新するプログラムがあるときは、「お使いのコンピュータ用の重要な更新がXX個見つかりました。」と表示されます。

### 3 「更新の確認とインストール」をクリックします。

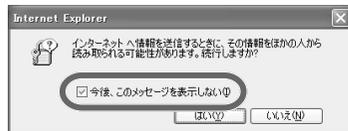


更新する項目が発見されたときは、更新内容が表示されます。

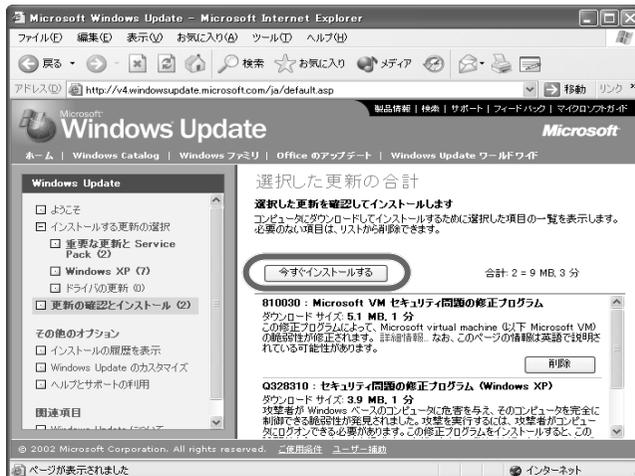


#### ご参考

以下の画面が表示されたときは、[はい]をクリックしてください。次回から個人情報を送信するときもこの画面は表示されなくなります。次回からも送信前に確認したい場合は、「今後、このメッセージを表示しない」を  にしてください。

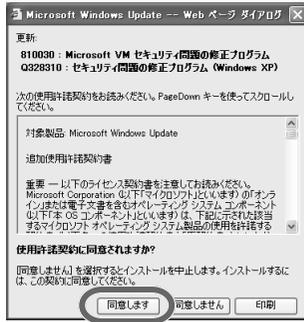


### 4 項目を確認して[今すぐインストールする]をクリックします。



使用許諾契約を確認する画面が表示されます。

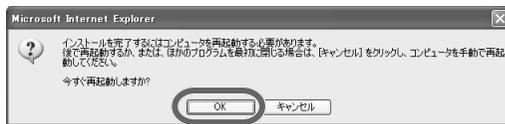
## 5 内容をよく読み、[同意します]をクリックします。



更新状況の画面が表示され、更新を開始します。

更新内容やインターネットの接続環境によって、更新時間は異なります。

## 6 [OK]をクリックします。



再起動が必要な場合は、パソコンを再起動すると、更新が完了します。



## ライセンス認証(プロダクトアクティベーション)は、必要ですか



### 必要ありません

お使いのパソコンは、製品の出荷時にライセンス認証を実行済みですので、改めて実行する必要はありません。ただし、ハードディスクやCPUなどの部品の交換をしたり、市販のWindows XPをインストールした場合には、ライセンス認証の操作が必要となることがあります。



## 古いパソコンからデータを移したい



### 「ファイルと設定の転送ウィザード」を使用してデータを移します

LANで接続されたパソコン間でWindows XPの「ファイルと設定の転送ウィザード」を使用すると、今まで使ってきたパソコンから新しく買ったパソコンへインターネットやメールの設定や作成したファイルなどを簡単に移すことができます。

#### 「ファイルと設定の転送ウィザード」を実行する前に

パソコン同士をLANを使って接続しておいてください。ネットワークの接続について詳しくは、取扱説明書(別冊)を参照してください。

#### ご注意

- 「ファイルと設定の転送ウィザード」を使用するためには、転送元と転送先のパソコンにフロッピーディスクドライブ、またはメモリーカードスロットなどが必要となります。
- Wordなどのアプリケーションソフトで作成したファイルも移すことができますが、ソフトウェア本体は、再インストールする必要があります。
- インストールするアプリケーションソフトがWindows XPでの動作に対応していなければ、インストールしても、使用できない場合があります。

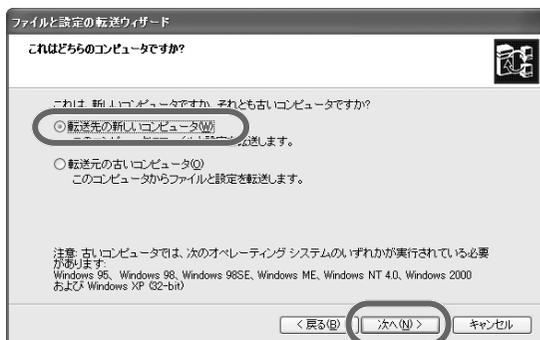
ここでは、「ファイルと設定の転送ウィザード」を使って次の設定やデータを移します。

- ダイヤルアップの設定
- Outlook Expressの電子メール
- Internet Explorerのお気に入り
- Outlook Expressのアドレス帳
- Internet Explorerの設定
- Outlook Expressのメールアカウント

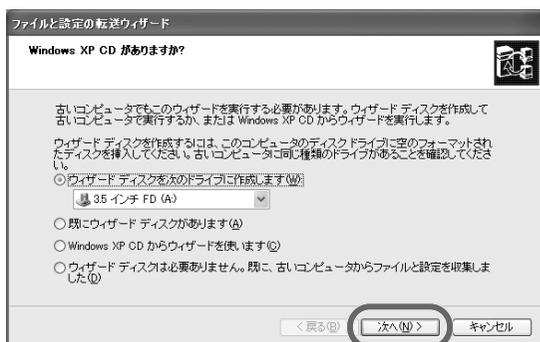
#### 転送先の新しいコンピュータでの操作

- 1** フロッピーディスク、またはメモリーカードをパソコンにセットします。
- 2** [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」—「アクセサリ」—「システムツール」—「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。  
「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。
- 3** [次へ]をクリックします。

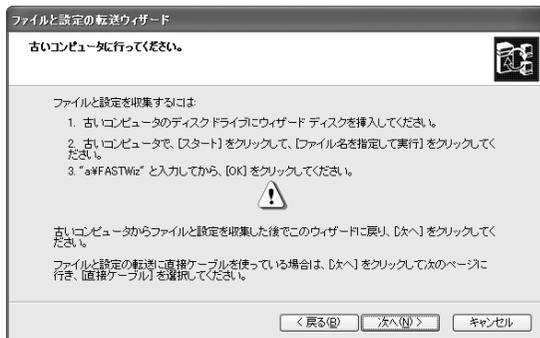
#### 4 「転送先の新しいコンピュータ」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。



#### 5 「ウィザードディスクを次のドライブに作成します」欄の をクリックして保存先を選択し、[次へ]をクリックします。



次の画面が表示されます。



#### 6 「フロッピーディスク、またはメモリーカードを取り出します。」 次の手順は、転送先の古いコンピュータで操作します。

## 転送元の古いコンピュータでの操作

- 1 転送元の古いコンピュータに作成したフロッピーディスク、またはメモリーカードをセットします。
- 2 [スタート]をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 フロッピーディスクを使用している場合は、「a:¥fastwiz.exe」と入力し、[OK]をクリックします。

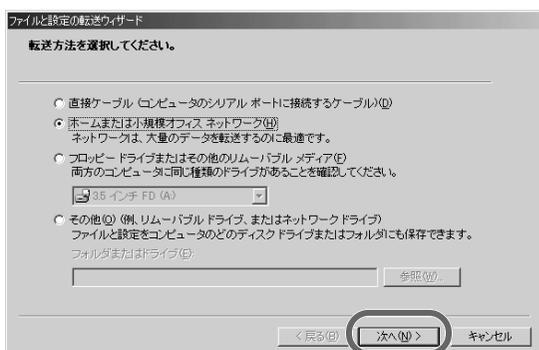


### ご参考

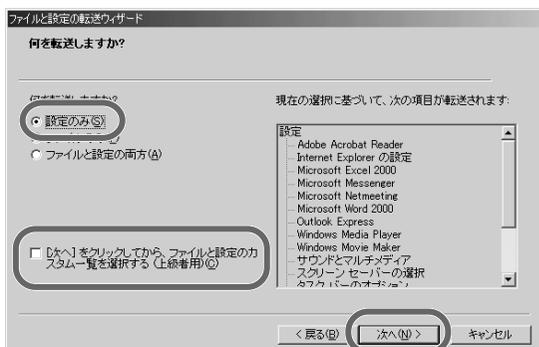
メモリーカードを使用している場合は、入力するドライブ名が異なります。例えば、メモリーカードがeドライブのときは、以下のように入力してください。

e:¥fastwiz.exe

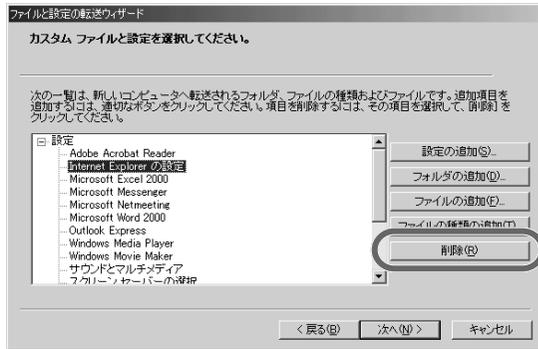
- 4 [次へ]をクリックします。
- 5 「転送元の古いコンピュータ」をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。
- 6 「ホームまたは小規模オフィスネットワーク」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



- 7 「設定のみ」をクリックし、「[次へ]をクリックしてから、ファイルと設定のカスタム一覧を選択する」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックします。

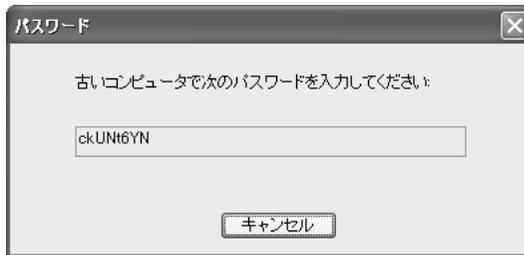


- 8** 転送しない設定をクリックして選択し、[削除]をクリックします。  
転送したい設定が表示されていることを確認します。

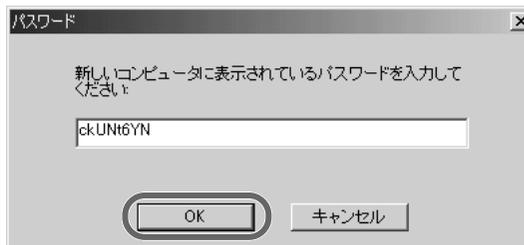


- 9** [次へ]をクリックします。

転送元の古いコンピュータと転送先の新しいコンピュータに「パスワード」画面が表示されます。



- 10** 転送先の新しいコンピュータに表示されたパスワードを転送元の古いコンピュータの「パスワード」画面に入力し、[OK]をクリックします。



- 11** 転送元の古いコンピュータの[完了]をクリックします。

- 12** フロッピーディスク、またはメモリーカードを取り出します。

転送先の新しいコンピュータでの操作

- 1** 転送先の新しいコンピュータの[完了]をクリックします。

- 2** [はい]をクリックします。

## トラブルを事前に防ぐには

### ▶ ハードディスクの空き容量を十分に確保しておきましょう

- ・ハードディスク(Cドライブ)の空き容量に注意しましょう  
Windowsがインストールされているハードディスク(Cドライブ)の空き容量を確認して、最低でも約100Mバイト以上は空いているように心がけましょう。  
ハードディスクの空き容量がわからない(☞47ページ)
- ・いらないファイルは削除しましょう  
ディスククリーンアップを実行してください(☞48ページ)  
ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない(☞181ページ)
- ・それでもハードディスク(Cドライブ)の空き容量が十分に確保できないときは  
他のハードディスク(Dドライブ、外付けハードディスク)や外部記憶媒体(フロッピーディスク、MO、CD-R/RWなど)を利用してください。

### ▶ ハードディスクを定期的に点検しましょう

- ・チェックディスクを実行しましょう  
パソコンを使っていくうちに、Windowsのシステム内でエラーが起こっていることがあります。重大なトラブルが発生するまえに、定期的(約1週間に1回)にチェックディスクを実行して早期発見、修復をしましょう。  
チェックディスクを実行してください(☞23ページ)
- ・ディスクデフラグを実行しましょう  
ハードディスクが最適化されアクセス速度が向上し、アクセス回数も少なくなるので、ハードディスクにかかる負担を減らすことができます。  
ディスクデフラグを実行してください(☞45ページ)

### ▶ 大切なデータはバックアップをとる習慣をつけましょう

万が一トラブルが起っても大切なデータが消えてしまわないように、作業の区切りや定期的に、他のハードディスク(Dドライブ、外付けハードディスク)や外部記憶媒体(フロッピーディスク、MO、CD-R/RWなど)にバックアップをとる習慣をつけましょう。  
バックアップが必要なデータはどれですか?(☞187ページ)

### ▶ Windowsを定期的に更新しましょう

Windowsは、セキュリティを考慮して開発されていますが、後になってセキュリティ上の弱点が発見される場合があります。この弱点はセキュリティホールと呼ばれ、そのままにしておくとウイルスに感染したり、不正にアクセスされる原因となります。Windows Updateを実行し、セキュリティホールを修正しましょう。  
Windowsを更新(アップデート)したい(☞192ページ)

# メビウス Q&A 困ったときはこれで解決



## ● メビウスホームページ

<http://www.sharp.co.jp/mebius/>

インターネットをご利用の方は、上記のホームページもご活用ください。  
「メビウスホームページ」では、商品情報やQ&A、周辺機器情報、  
ダウンロード情報など、役立つ情報を掲載しています。

## ● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・・

別冊の「お客様サポートシステムのご案内」をご覧ください。

## シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
情報システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地